

## IV-3 中学生、高校生の調査結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

区内に居住する中学生、区内の高等学校に通学する高校生に対して、生活実態や要望・意見などを把握し、平成 21 年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

#### (2) 調査内容

- ①家族について
- ②日常の活動・生活・居場所について
- ③将来の仕事・結婚・子育ての意識について
- ④心配、悩みのことについて
- ⑤社会道徳、交通道徳について
- ⑥性感染症・薬物について（高校生のみ）
- ⑦地域との交流について
- ⑧子どもの権利について

#### (3) 調査仕様

- |       |  |
|-------|--|
| ①調査地域 | 区内の中学校、高等学校  |
| ②調査対象 | 中学生：区内の中学校に通学する 2 年生（10 クラス）<br>高校生：練馬区に所在する高校に通学する 2 年生（10 クラス） |
| ③標本数  | 853 件（中学生 393 件 高校生 460 件）                                       |
| ④抽出方法 | 地域別に生徒数などを勘案し中学校 11 校、高校 5 校抽出                                   |
| ⑤調査方法 | 学校を經由して配布、回収   |
| ⑥調査期間 | 平成 21 年 1 月 26 日～2 月 9 日   |

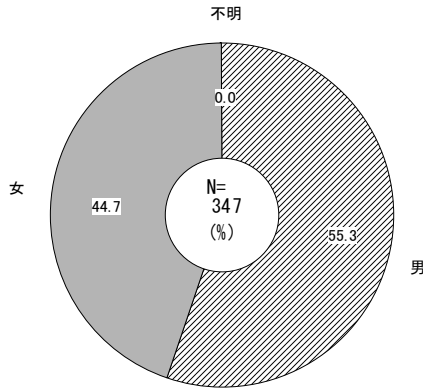
#### (4) 回収数・回収率

中学生	回収数：347 件	回収率：88.3%
高校生	回収数：426 件	回収率：92.6%

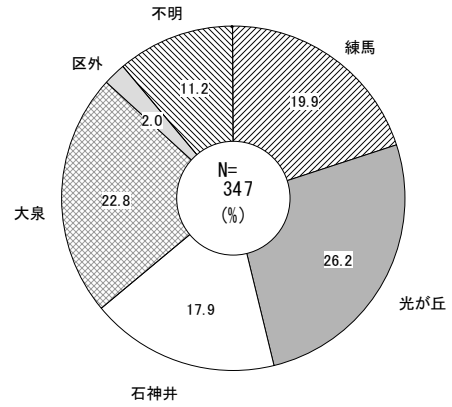
(5) 基本属性

①中学生

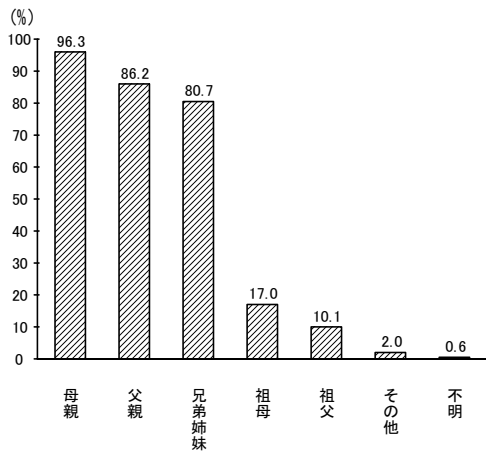
性別



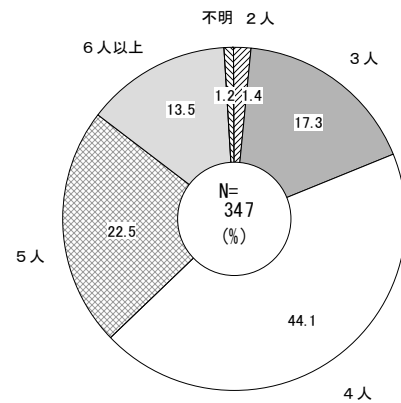
居住地区



家族構成

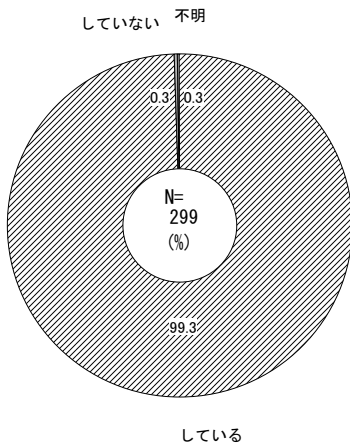


家族数

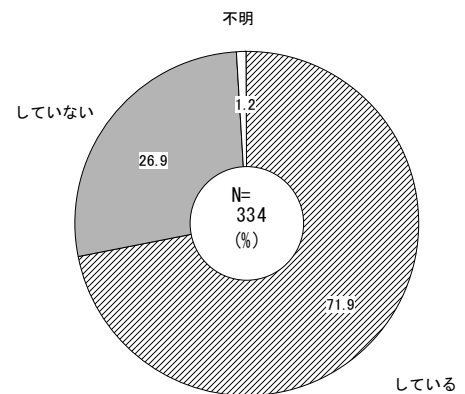


平均 4.4 人

就労の有無(父親)

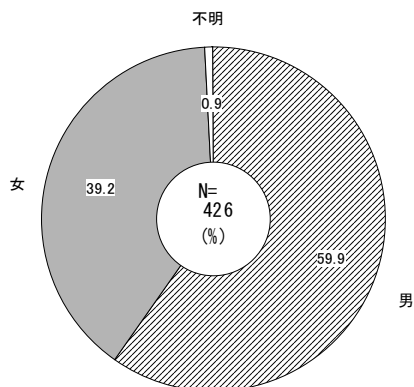


就労の有無(母親)

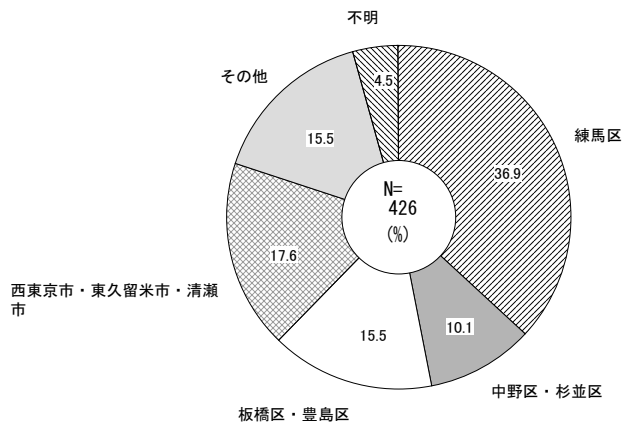


## ②高校生

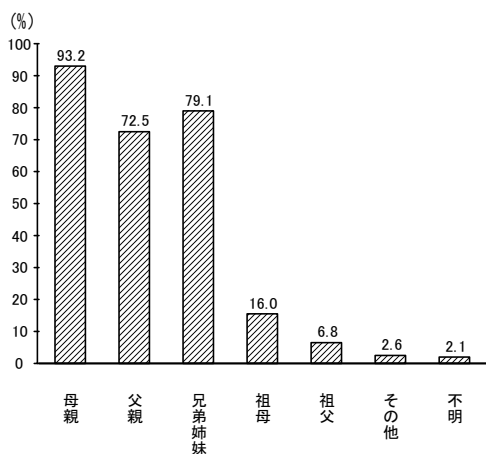
性別



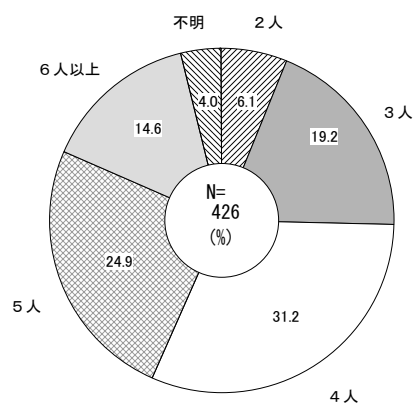
居住地



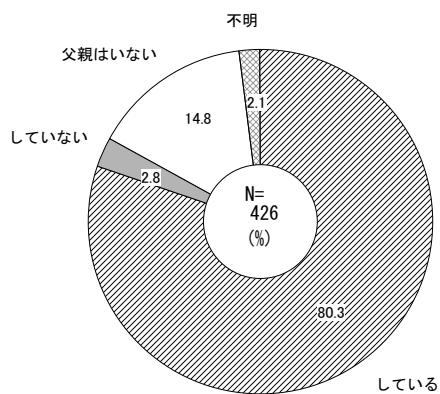
家族構成



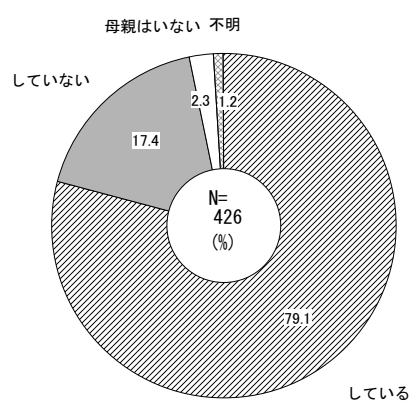
家族数



就労の有無(父親)



就労の有無(母親)



## ◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

## 2. 調査結果の概要

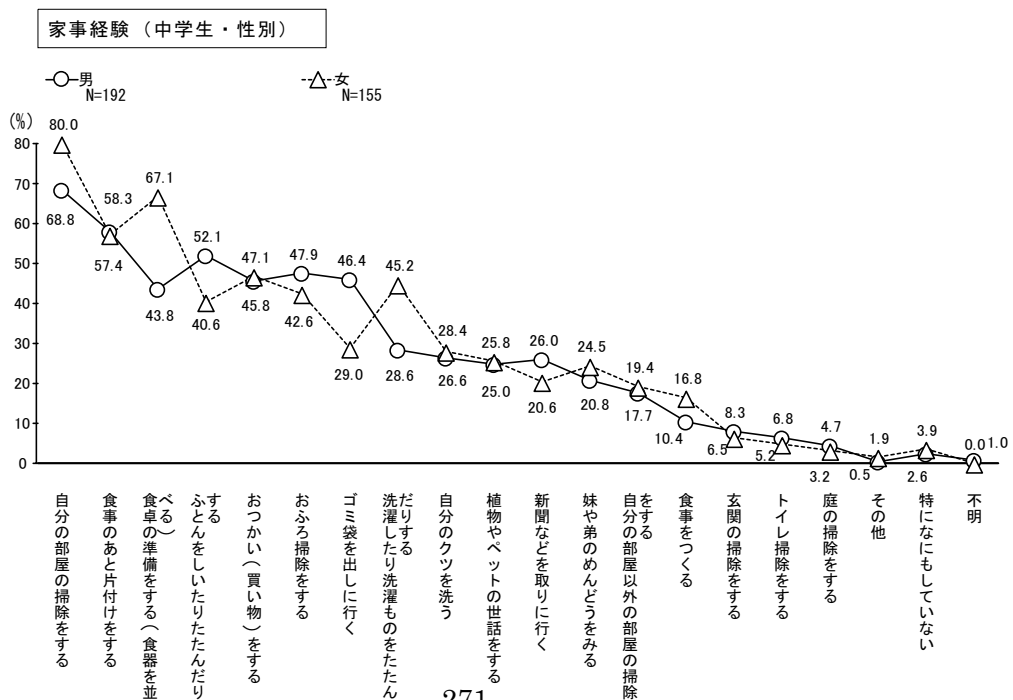
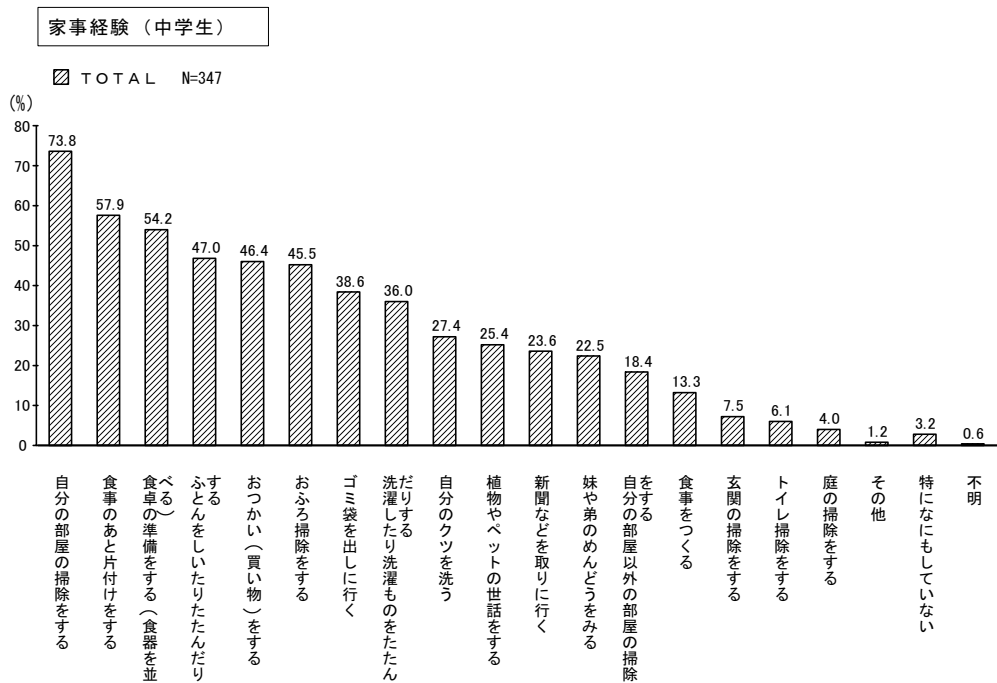
### (1) 日常の活動・生活・居場所について

**問3** あなたは、次のようなことを、自分でやっていますか。(複数回答)

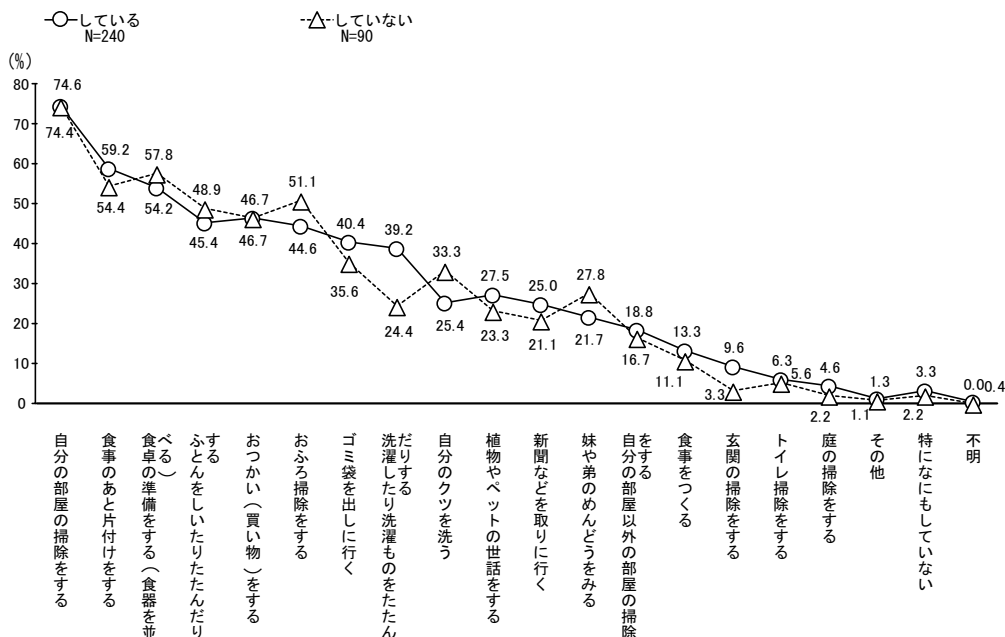
中学生に家事経験について聞いたところ、「自分の部屋の掃除」が73.8%で最も多くなっており、続いて「食事のあと片付けをする」が57.9%、「食卓の準備をする(食器を並べる)」が54.2%などとなっている。

性別で見ると、全体的には女子生徒の方が家事経験が多くなっており、特に「食卓の準備をする(食器を並べる)」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」は、男子生徒と比べて多くなっている。一方、「ゴミ袋を出しに行く」などについては男子生徒のほうが多くなっている。

母親の就労の有無別に見ると、全体的に同じ傾向となっているが、「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」などについては「(就労)している」の方が多くなっている。



家事経験（中学生・就労の有無（母親）別）

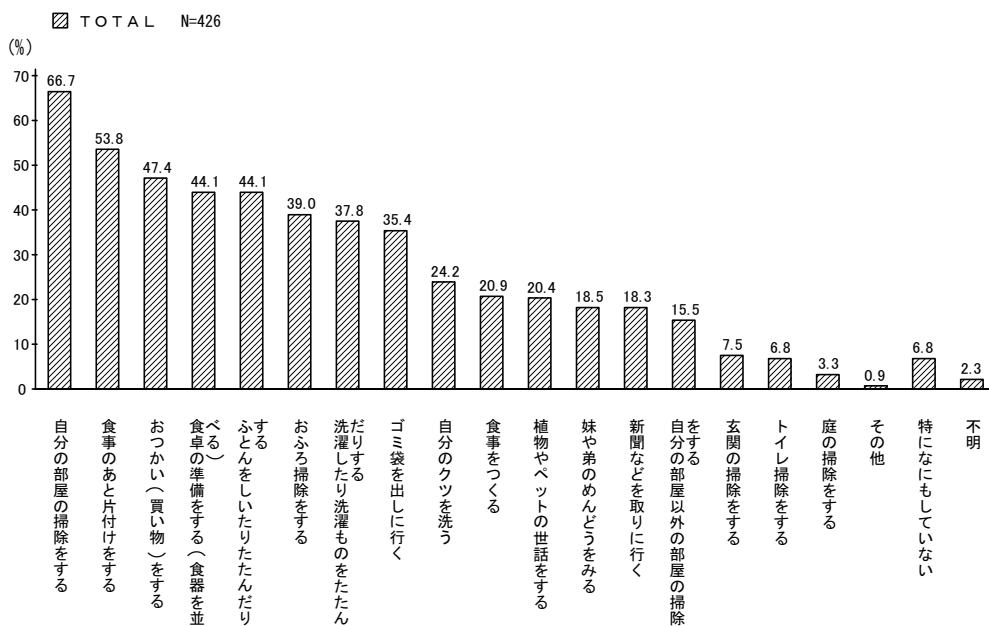


高校生に家事経験について聞いたところ、「自分の部屋の掃除」が66.7%で最も多く、続いて「食事のあと片付けをする」が53.8%、「おつかい（買い物）をする」が47.4%となっている。

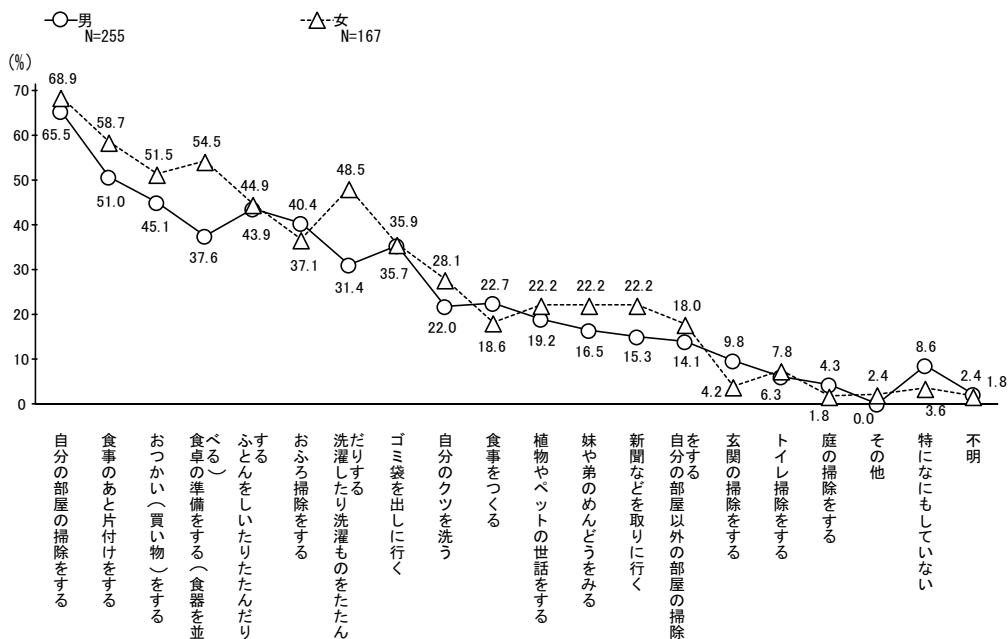
性別で見ると、全体的には女子生徒の方が家事経験が多く、特に「食卓の準備をする（食器を並べる）」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」は、男子生徒と比べて多くなっている。

母親の就労の有無別に見てみると、全体的には「(就労) している」方が家事経験が多く、「ふとんをしいたりたたんだりする」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」については特に多くなっている。

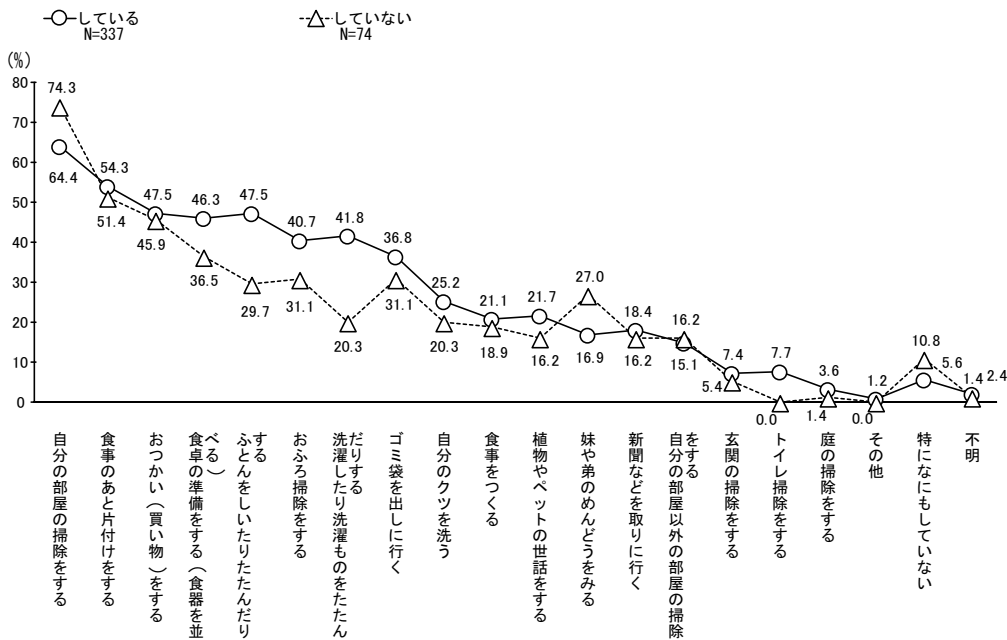
家事経験（高校生）



家事経験（高校生・性別）



家事経験（高校生・就労の有無（母親）別）



問4 あなたは、朝食をとっていますか。

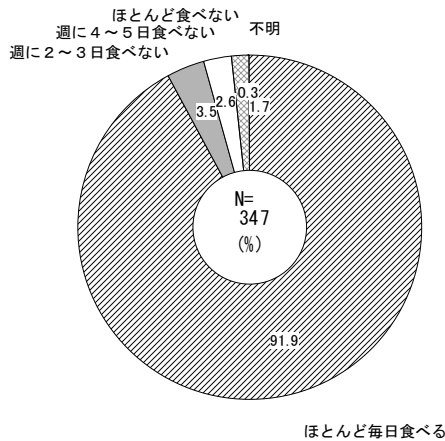
問4(1) 問4で「2~4」と答えた人へ、その理由は何ですか。

中学生の朝食摂取状況については、91.9%が「ほとんど毎日食べる」と回答している。一方、「週2~3日食べない」が3.5%となっており、全体の1割弱程度が朝食を食べていない状況にある。

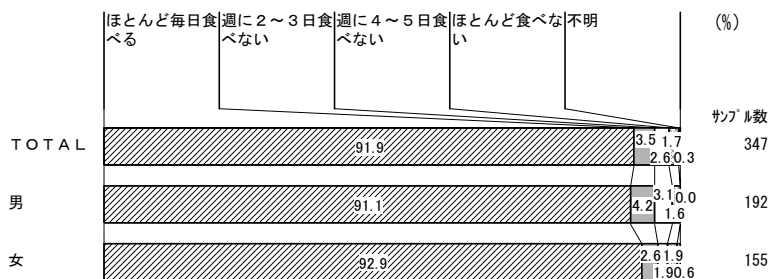
性別で見たと、いずれも9割を超えて摂取している

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「時間がないから」が70.4%で最も多く、続いて「食欲がないから」が18.5%となっている。

朝食摂取の有無(中学生)

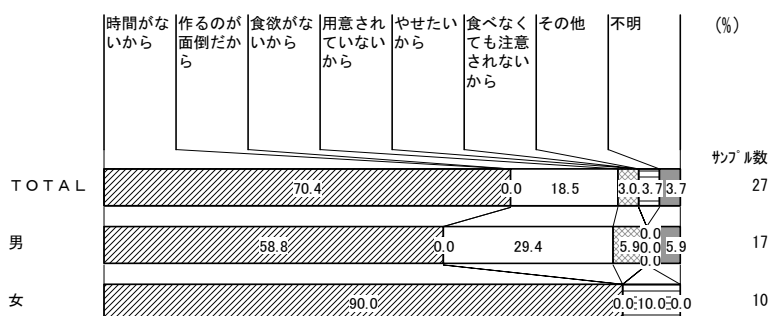


朝食摂取の有無(中学校・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

朝食摂取しない理由(中学生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

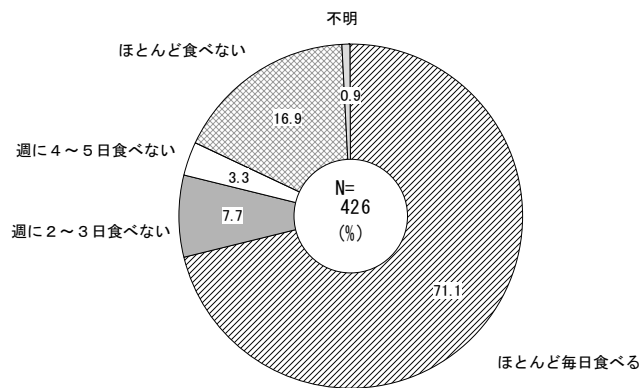


高校生の朝食摂取状況については、71.1%が「ほとんど毎日食べる」と回答している。一方、「週2～3日食べない」が7.7%、「週4～5日食べない」が3.3%、「ほとんど食べない」が16.9%となっており、全体の3割弱は朝食を食べていない。

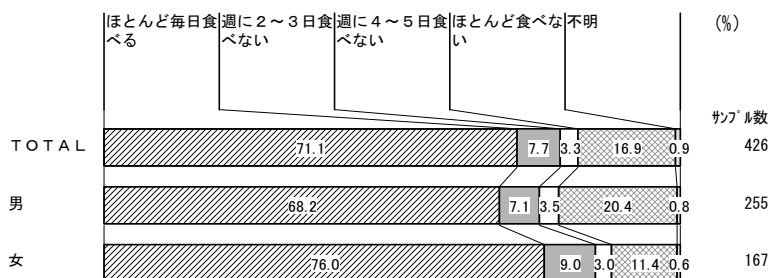
性別で見ると、いずれも「ほとんど毎日食べる」が多いが、男子生徒については「ほとんど食べない」も2割を占めている。

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「時間がないから」が67.2%で最も多く、続いて「食欲がないから」が18.5%となっている。

朝食摂取の有無(高校生)

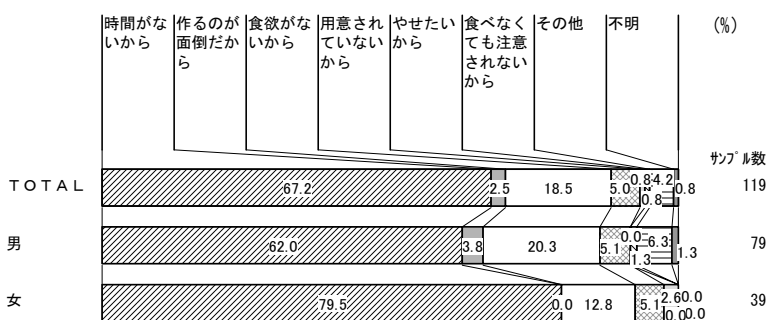


朝食摂取の有無(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

朝食摂取しない理由(高校生・性別)



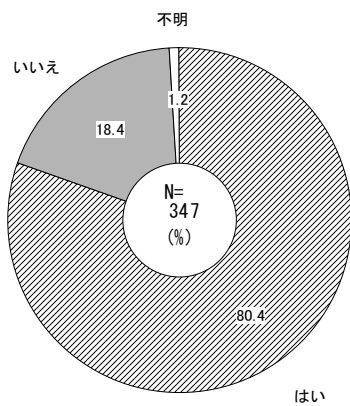
(注) 表側の「不明」は除く。

問5 あなたは、間食をしていますか。

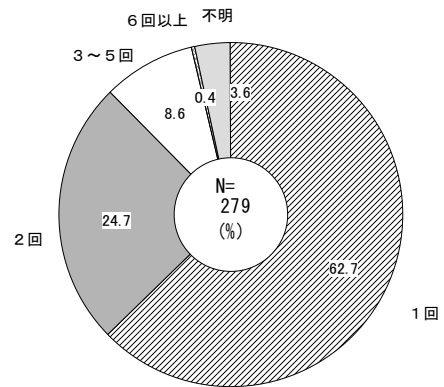
問5 (1) 問5で「1 はい」と答えた人へ、間食ではどのようなものを食べていますか。(3つまで)

間食の有無について中学生に聞いたところ、80.4%が「はい」と回答している。  
 性別で見ると、女子生徒の8割以上が間食しているが、男子生徒は「いいえ」がやや多くなっている。  
 そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均で1.5回であった。

間食の有無(中学生)

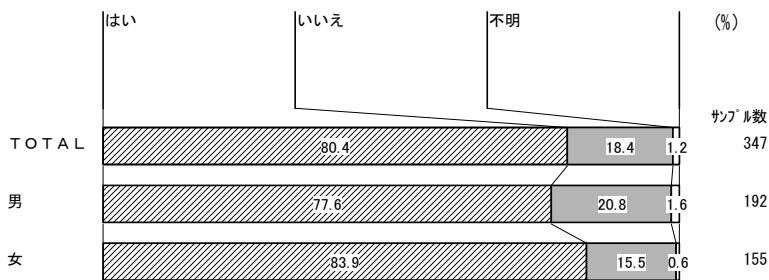


間食の回数(中学生)



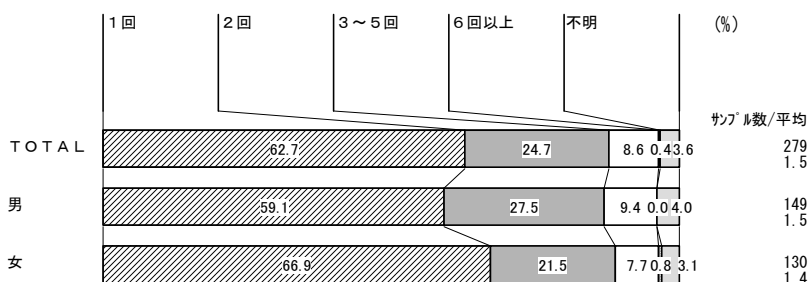
平均 1.5 回

間食の有無(中学生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

間食の回数(中学生・性別)

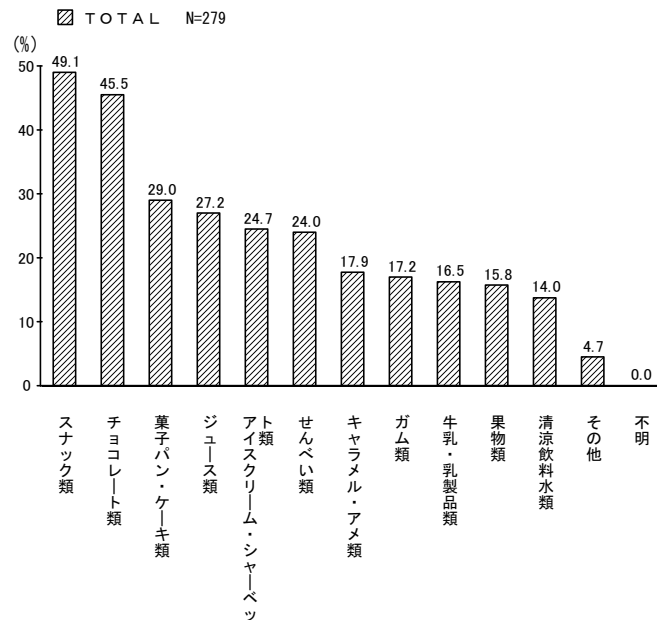


(注) 表側の「不明」は除く。

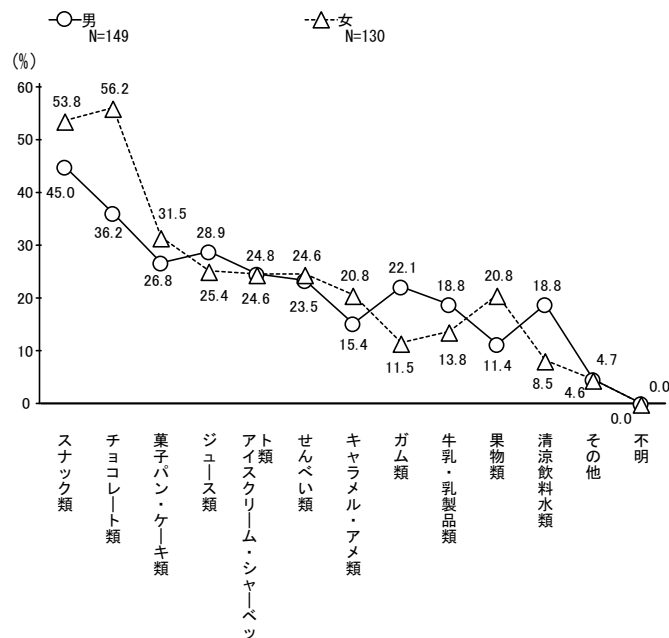
中学生が間食で食しているものについて見てみると、「スナック類」が49.1%で最も多く、続いて「チョコレート類」が45.5%、「菓子パン・ケーキ類」が29.0%となっている。

性別に見てみると、男女共に「スナック類」や「チョコレート」が多く、いずれも「女子生徒」が多くなっている。

間食で食しているもの（中学生）

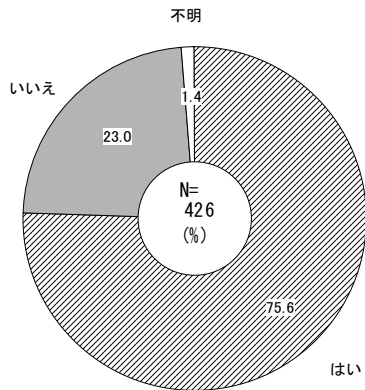


間食で食しているもの（中学生・性別）

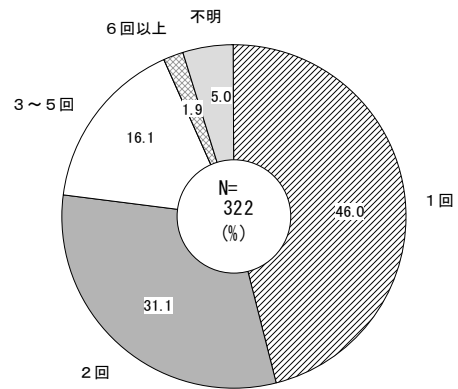


間食の有無について高校生に聞いたところ、75.6%が「はい」と回答している。  
 性別で見ると、女子生徒の8割以上が間食しているが、男子生徒は「いいえ」がやや多くなっている。  
 そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均で1.9回であった。

間食の有無(高校生)

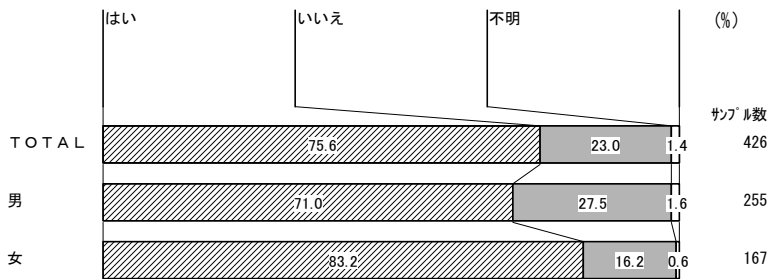


間食の回数(高校生)



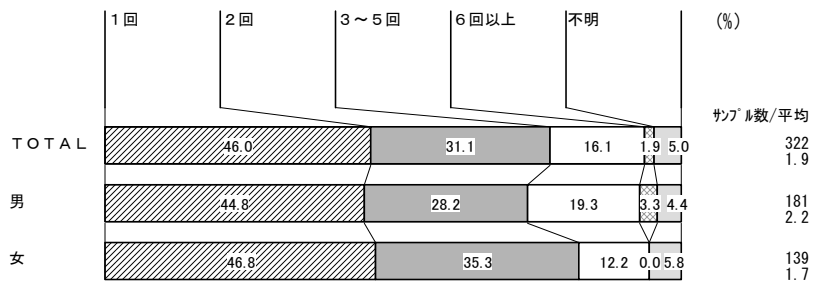
平均 1.9 回

間食の有無(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

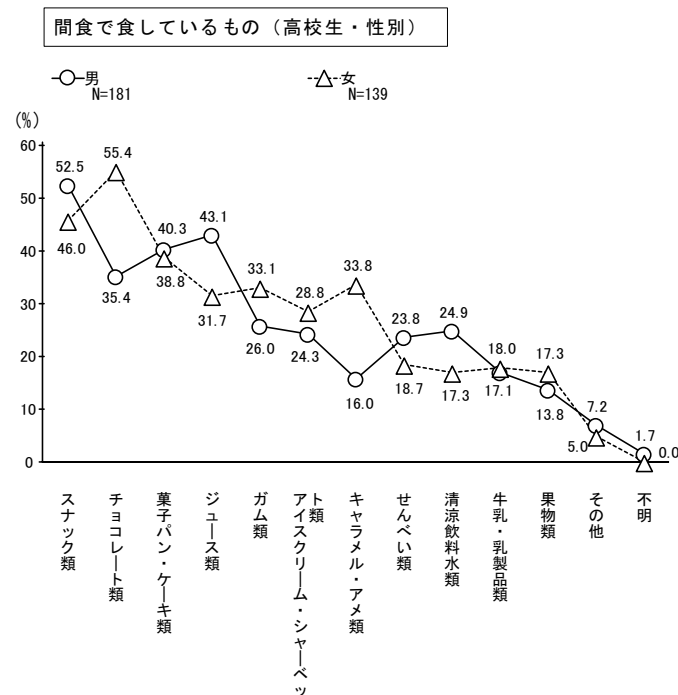
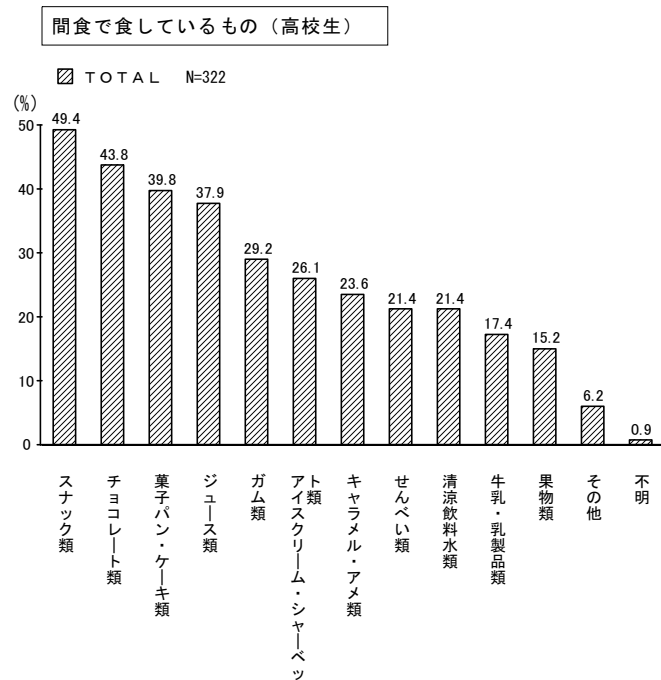
間食の回数(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

高校生が間食で食しているものについて見てみると、「スナック類」が49.4%で最も多く、続いて「チョコレート類」が43.8%、「菓子パン・ケーキ類」が39.8%となっている。

性別に見てみると、「男子生徒」は「スナック類」、「女子生徒」は「チョコレート」が最も多く、「男子生徒」は「ジュース類」、「女子生徒」は「スナック類」や「キャラメル、アメ類」もやや多くなっている。

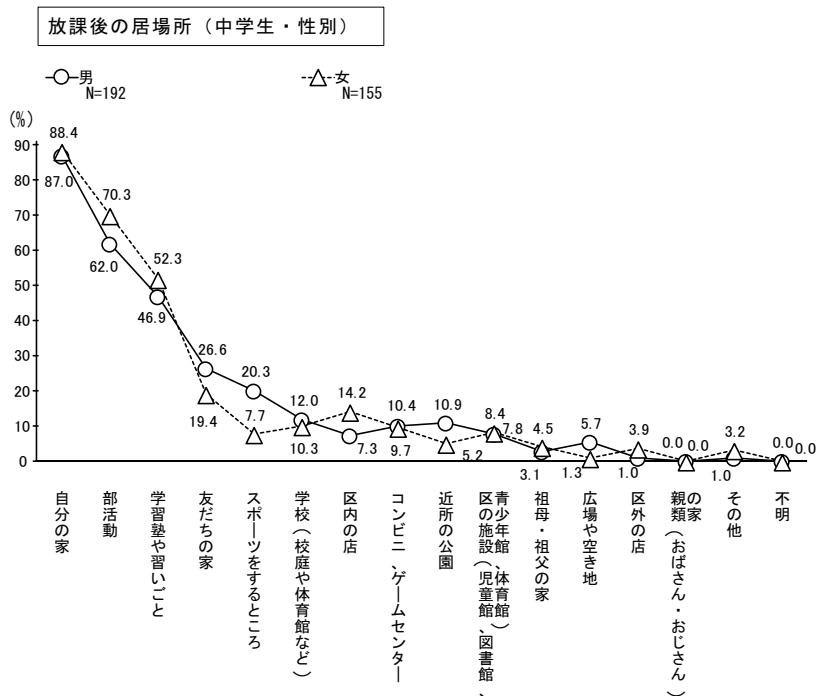
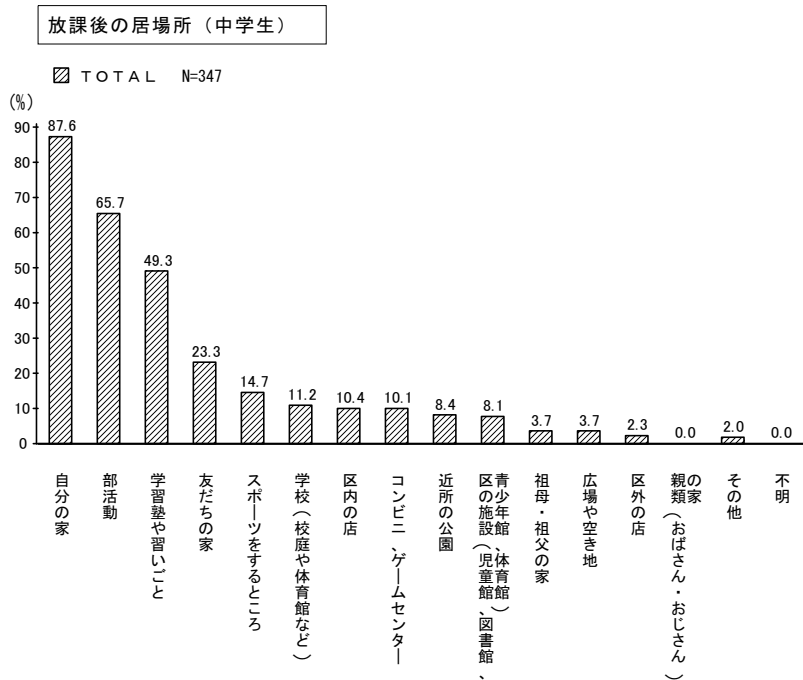


問6 あなたは平日、学校が終わってから、どこにすることが多いですか。(5つまで)

問6(1) 問6で「10 区の施設(児童館、図書館、青少年館、体育館)」「11 学習塾や習いごと」「12 アルバイト・仕事先(高校生のみ)」「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。

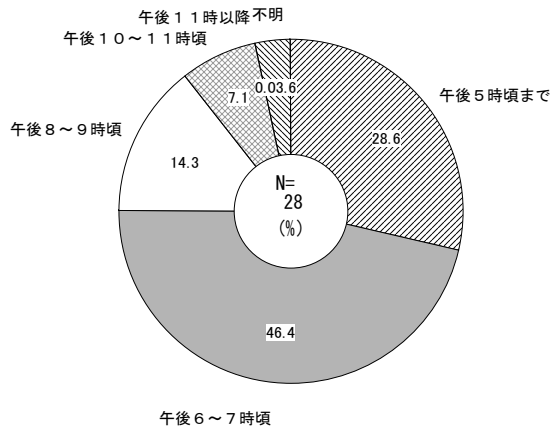
平日の放課後の居場所について中学生に聞いたところ、「自分の家」が87.6%で最も多く、続いて「部活動」が65.7%、「学習塾や習いごと」が49.3%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「スポーツをするところ」については男子生徒が多くなっている。

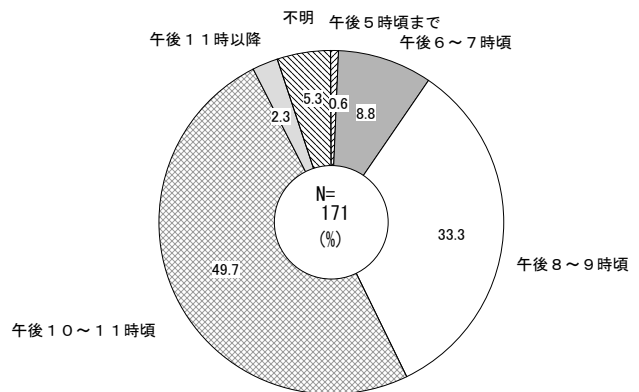


中学生の『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時が多くなっている。

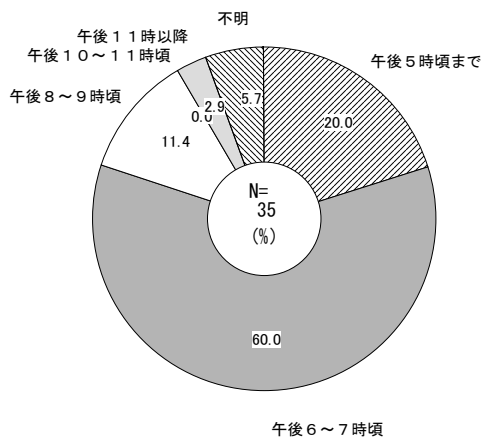
区の施設で過ごした後の帰宅時間(中学生)



学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(中学生)

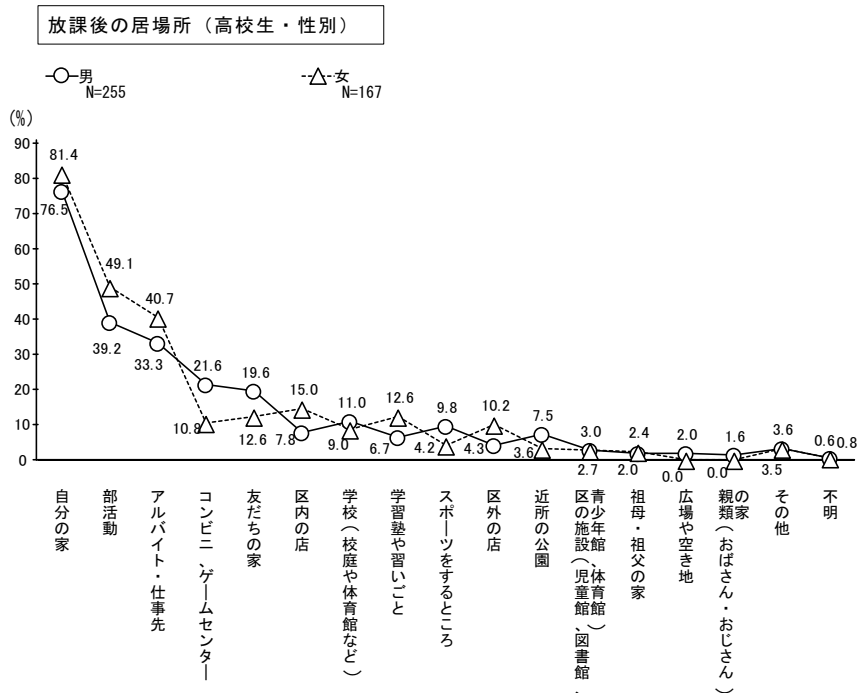
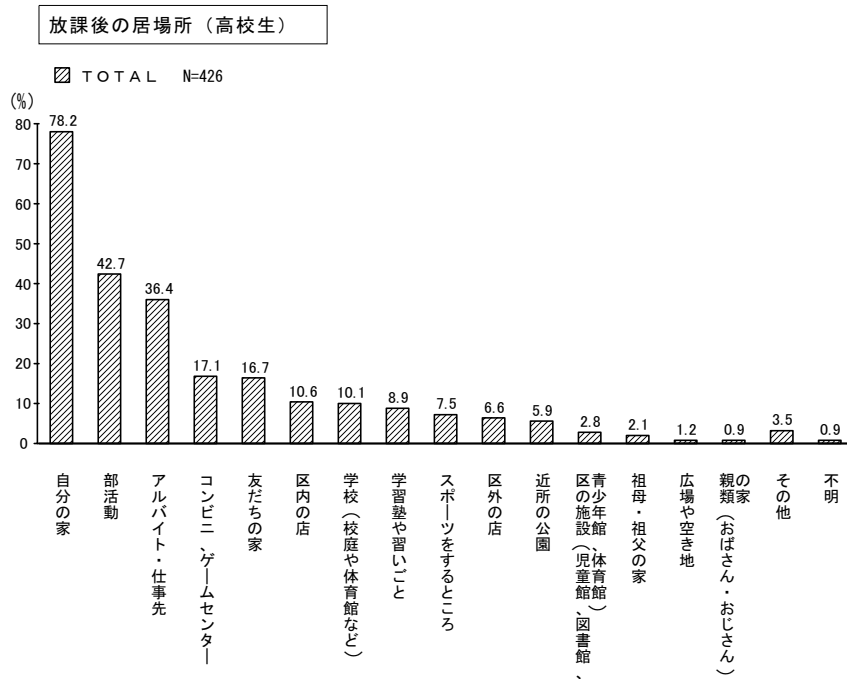


コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(中学生)



平日の放課後の居場所について高校生に聞いたところ、「自分の家」が78.2%で最も多く、続いて「部活動」が42.7%、「アルバイト・仕事先」が36.4%となっている。

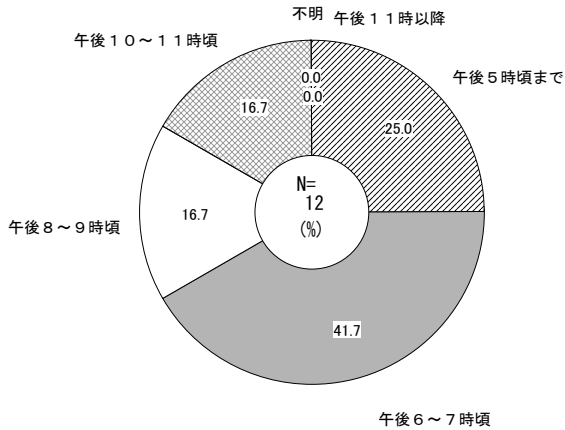
性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「コンビニ、ゲームセンター」「友だちの家」については男子生徒がやや多くなっている。



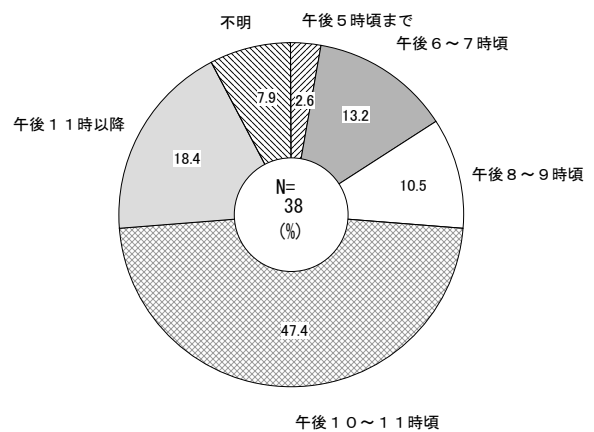


『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、『アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時、または午後8～9時が多くなっている。

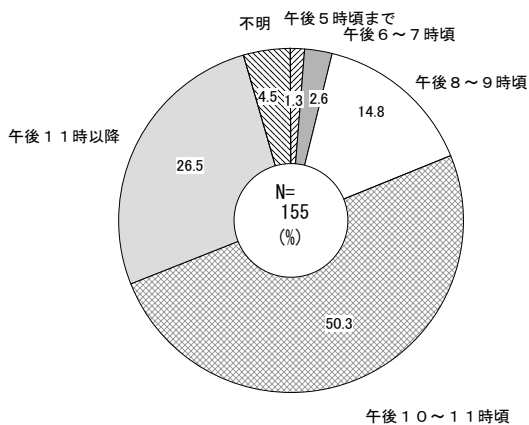
区の施設で過ごした後の帰宅時間(高校生)



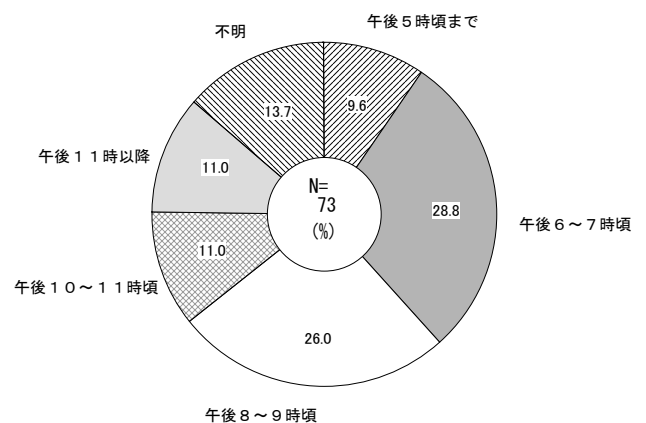
学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(高校生)



アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間(高校生)



コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(高校生)



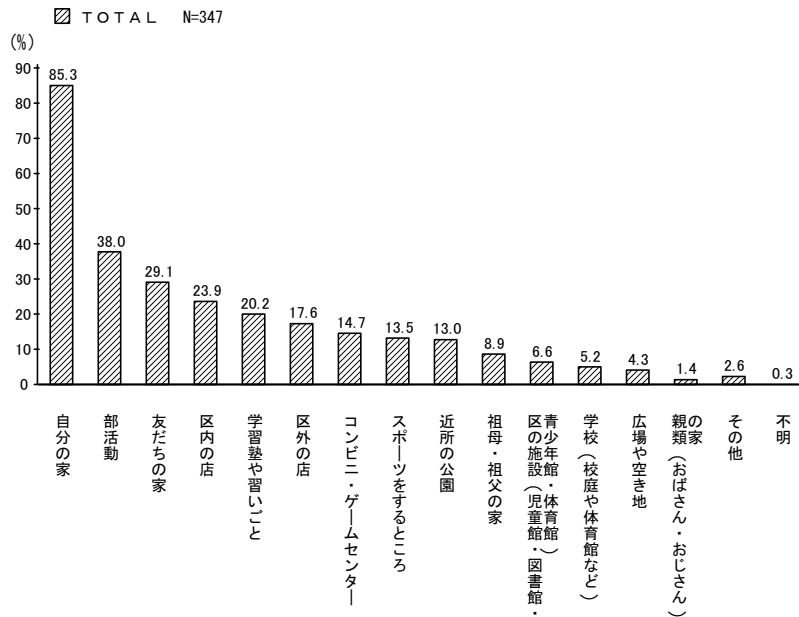
問7 あなたは学校が休みの日、どこにすることが多いですか。(5つまで)

問7(1) 問7で「10 区の施設(児童館、図書館、青少年館、体育館)」「11 学習塾や習いごと」「12 アルバイト・仕事先(高校生のみ)」「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。

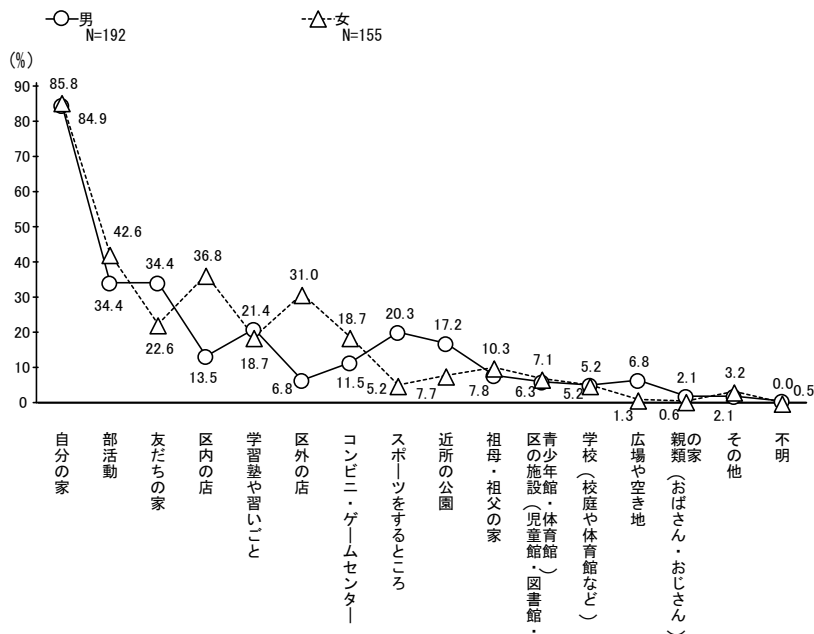
休日の放課後の居場所について中学生に聞いたところ、「自分の家」が85.3%で最も多く、続いて「部活動」が38.0%、「友だちの家」が29.1%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「スポーツをするところ」については男子生徒、「区内の店」や「区外の店」については女子生徒が多くなっている。

休日の居場所(中学生)

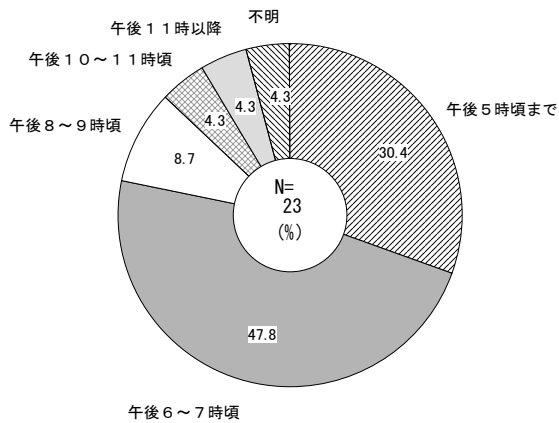


休日の居場所(中学生・性別)

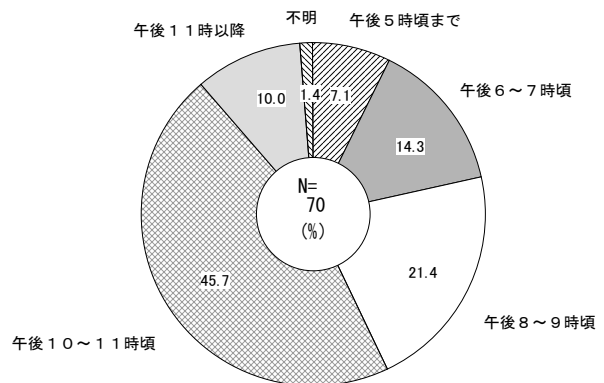


中学生の『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時が多くなっている。

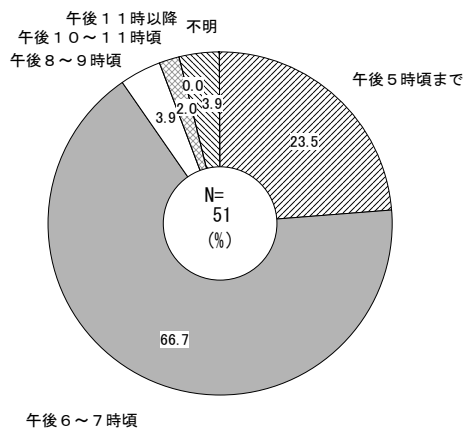
区の施設で過ごした後の帰宅時間(中学生)



学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(中学生)

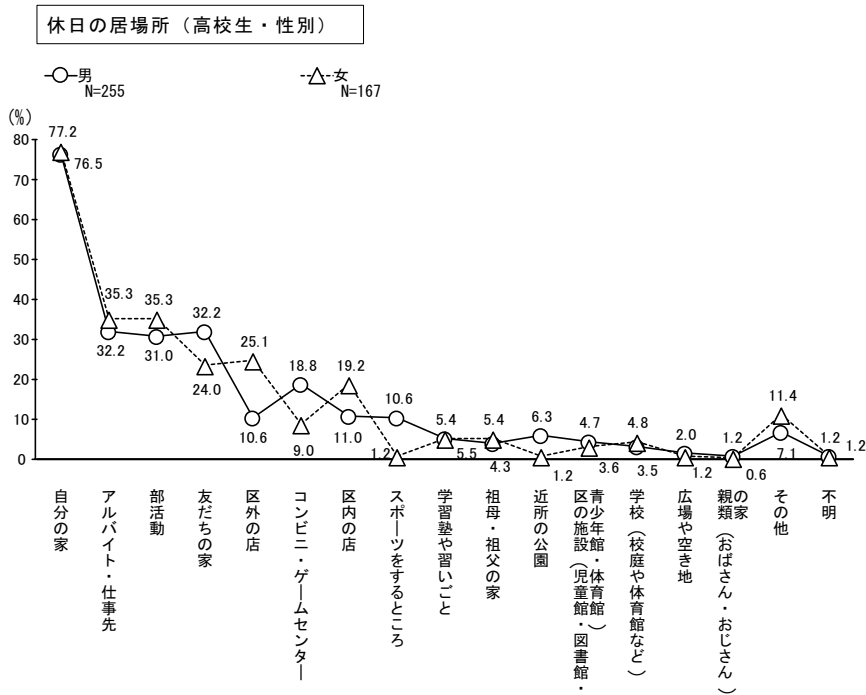
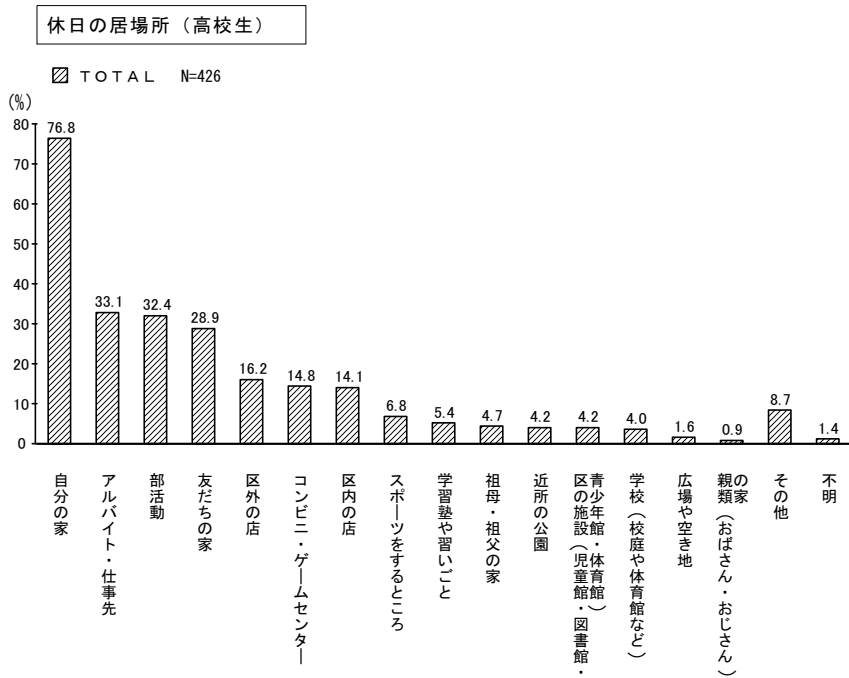


コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(中学生)



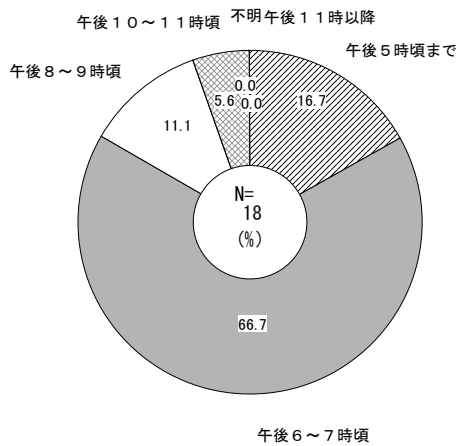
休日の放課後の居場所について高校生に聞いたところ、「自分の家」が76.8%で最も多く、続いて「アルバイト・仕事先」が33.1%、「部活動」が32.4%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「友だちの家」については男子生徒、「区外の店」については女子生徒が多くなっている。

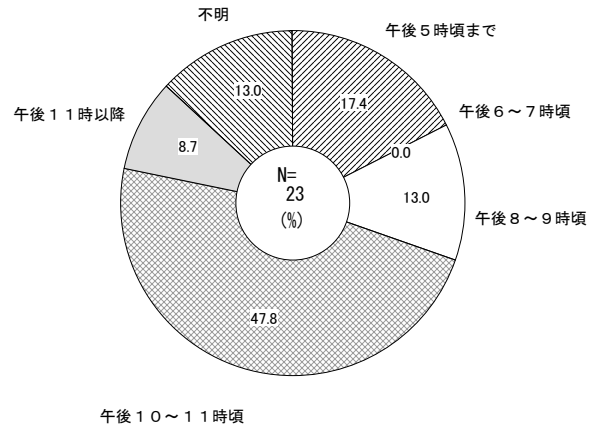


『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、『アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時、午後10～11時が多くなっている。

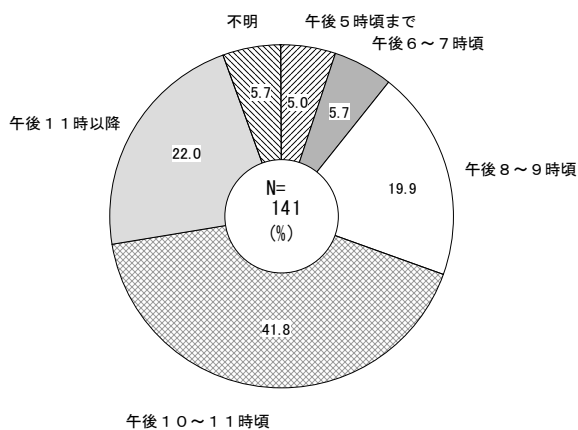
区の施設で過ごした後の帰宅時間(高校生)



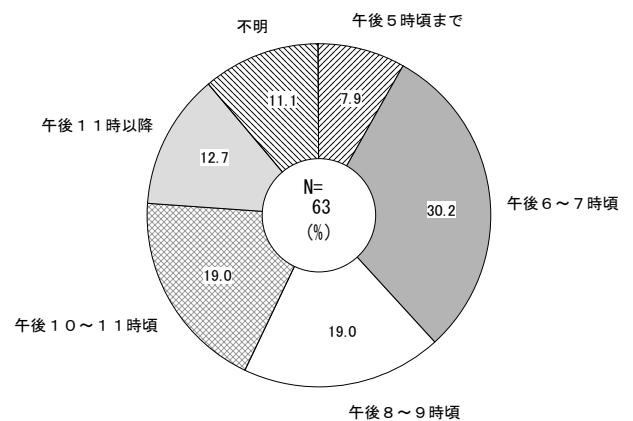
学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(高校生)



アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間(高校生)



コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(高校生)

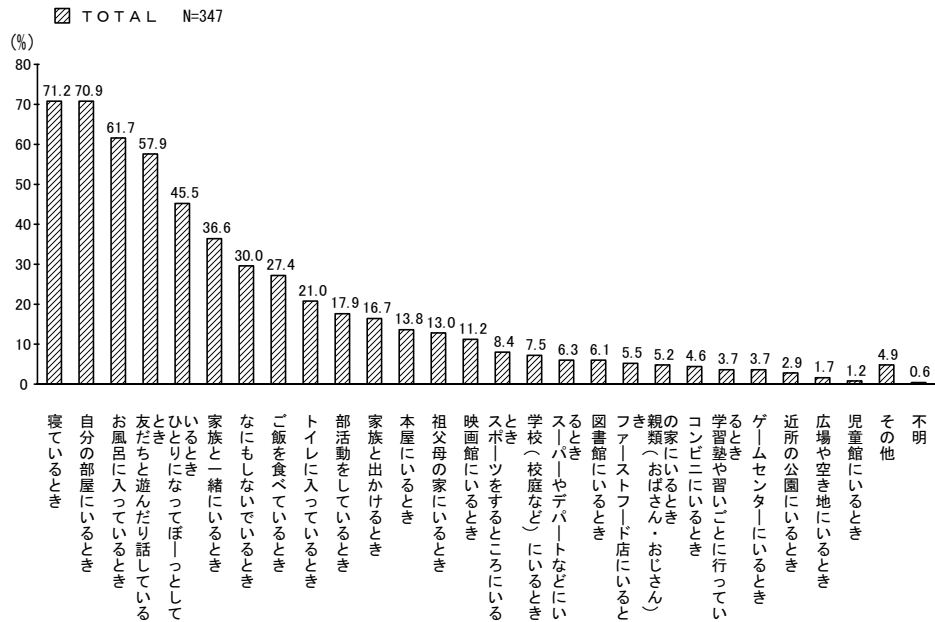


問8 あなたはほっとできるときは、どんなときですか。(複数回答)

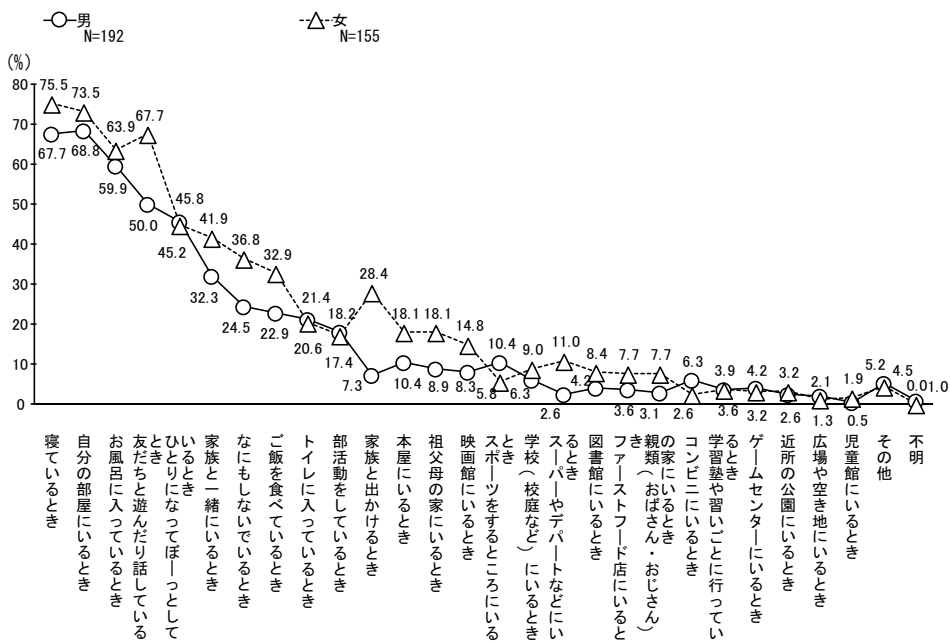
ほっとできる時について中学生に聞いたところ、「寝ているとき」が71.2%で最も多く、続いて「自分の部屋にいるとき」が70.9%、「お風呂に入っているとき」が61.7%となっている。

性別で見ると、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択しており、特に「友だちと遊んだり話しているとき」などは男子生徒と比べて多くなっている。

ほっとできるとき (中学生)

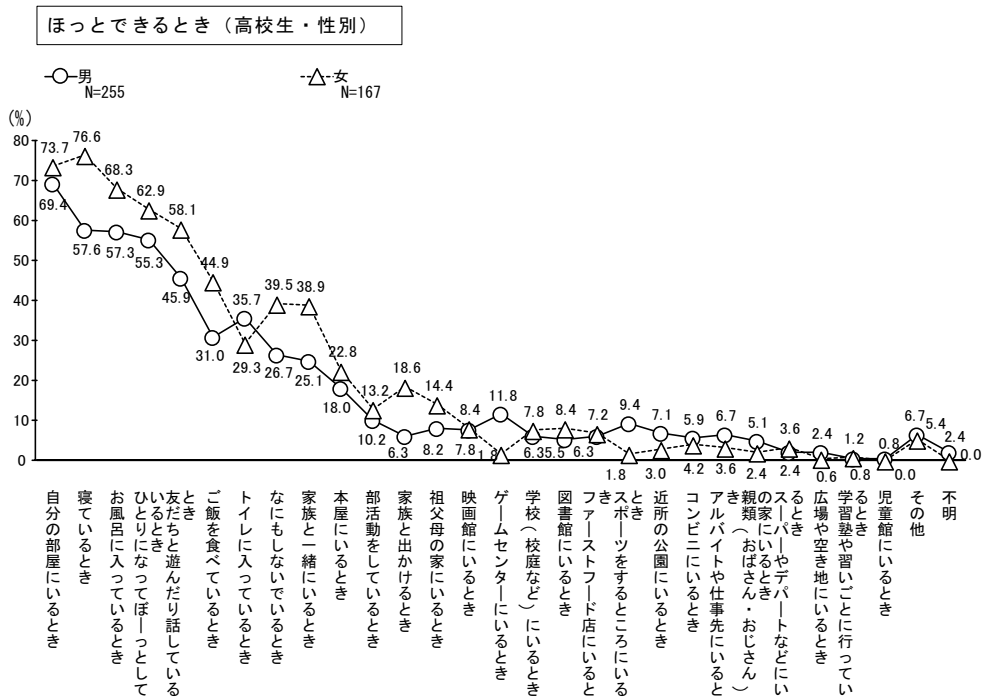
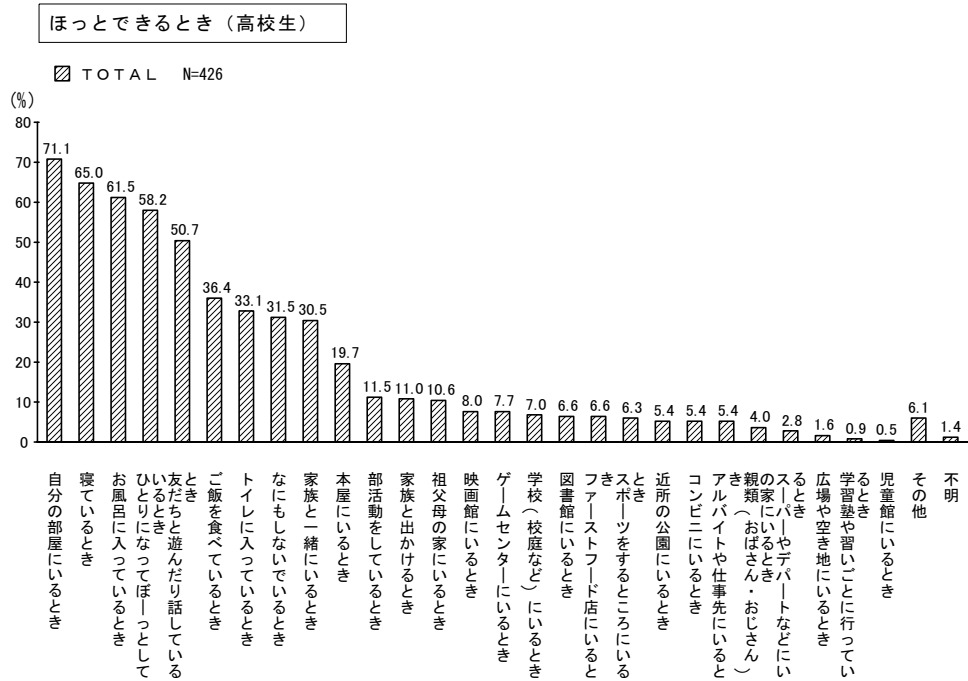


ほっとできるとき (中学生・性別)



ほっとできる時について高校生に聞いたところ、「自分の部屋にいるとき」が71.1%で最も多く、続いて「寝ているとき」が65.0%、「お風呂に入っているとき」が61.5%となっている。

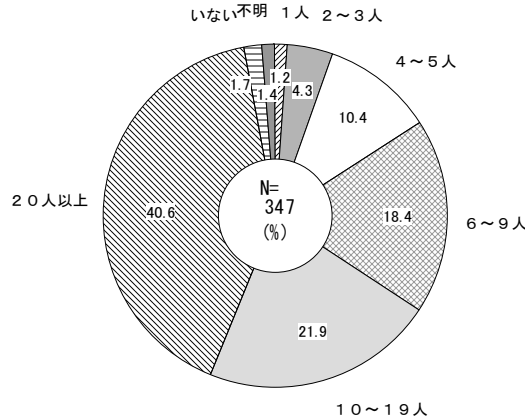
性別で見ると、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択しており、特に「寝ているとき」「家族と一緒にいるとき」などは男子生徒と比べて多くなっている。



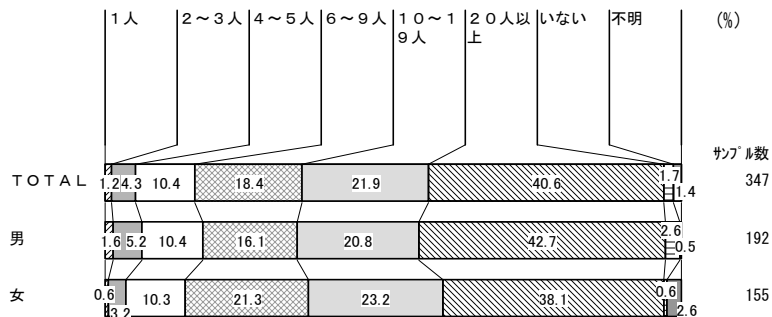
**問9 あなたと一緒に遊んだり話したりする友だちが何人くらいいますか。**

一緒に遊んだり話したりする友人の数について中学生に聞いたところ、「20人以上」が40.6%、「10～19人」が21.9%で、性別、居住地区別で見ると、いずれも同じ傾向となっている。

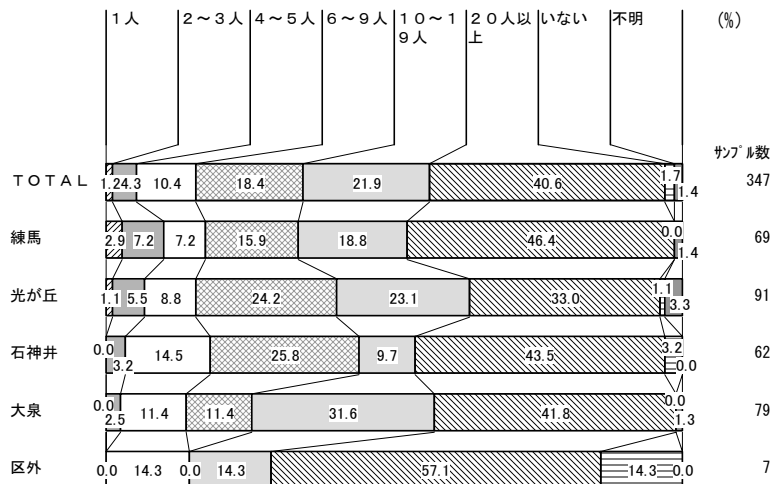
友人の数(中学生)



友人の数(中学生・性別)



友人の数(中学生・居住地区別)



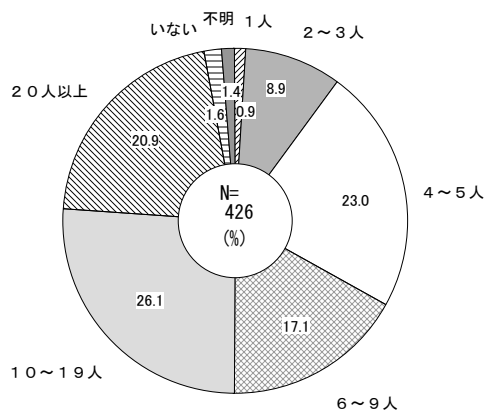


一緒に遊んだり話したりする友人の数について高校生に聞いたところ、「20人以上」が20.9%、「10～19人」が26.1%で、中学生と比較すると少ない。

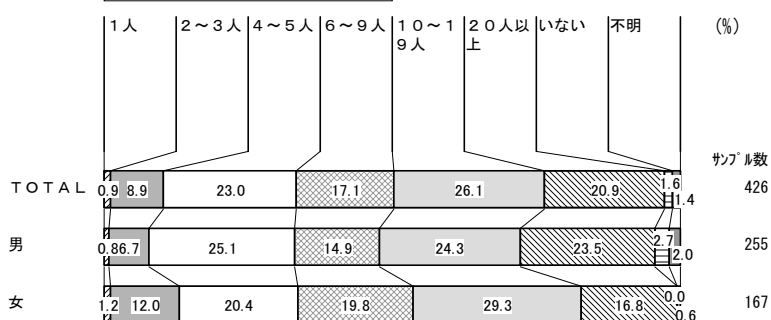
性別で見ると、いずれも同じ傾向となっており、女子生徒の「2～3人」がやや多い。

居住地区別に見ると、いずれの場合もおよそ「10～19人」と「4～5人」が多くなっているが、「板橋区・豊島区」「その他」ではやや少なく、「中野区・杉並区」ではやや多くなっている。

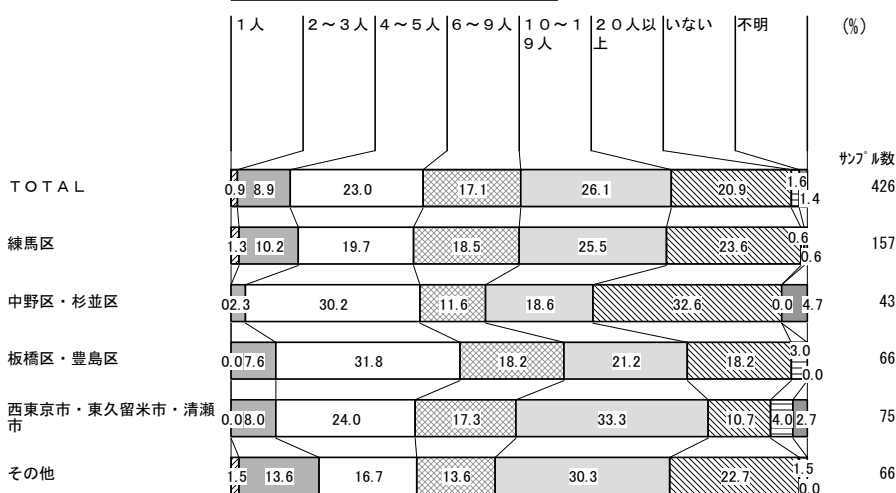
友人の数(高校生)



友人の数(高校生・性別)



友人の数(高校生・居住地別)



問10 あなたは、学校に行きたくないときがありますか。

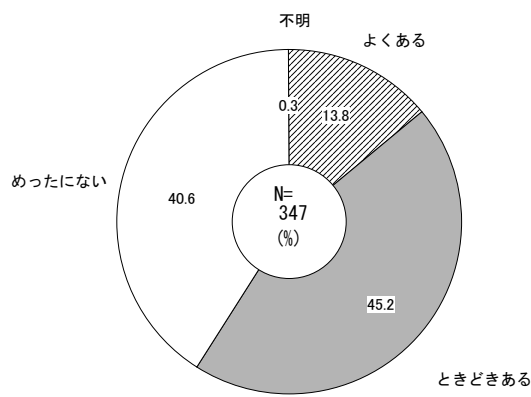
問10(1) どんなときにそうなりますか。(複数回答) (2) そうなったときはどうしましたか。(複数回答)

学校に行きたくなくなる時について中学生に聞いたところ、「よくある」が13.8%、「ときどきある」が45.2%となっており、合計すると59.0%が「ある」と回答している。

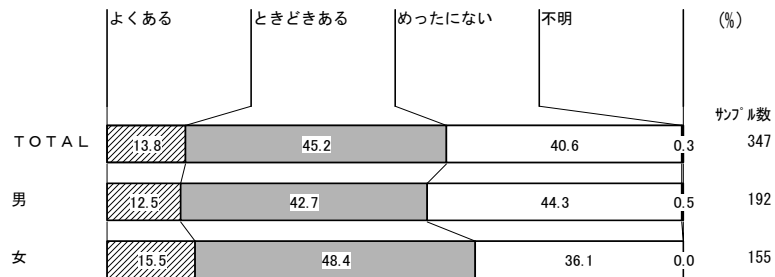
性別で見ると、「女子生徒」が行きたくなくなる時がある割合がやや大きい。

居住地区別に見ると、「区外」と「光が丘」で行きたくなくなる時がある割合がやや大きい。

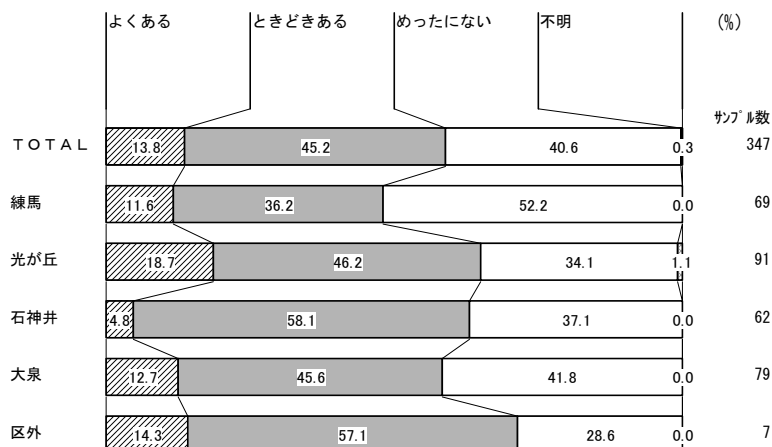
学校に行きたくなくなる時(中学生)



学校に行きたくなくなる時(中学生・性別)

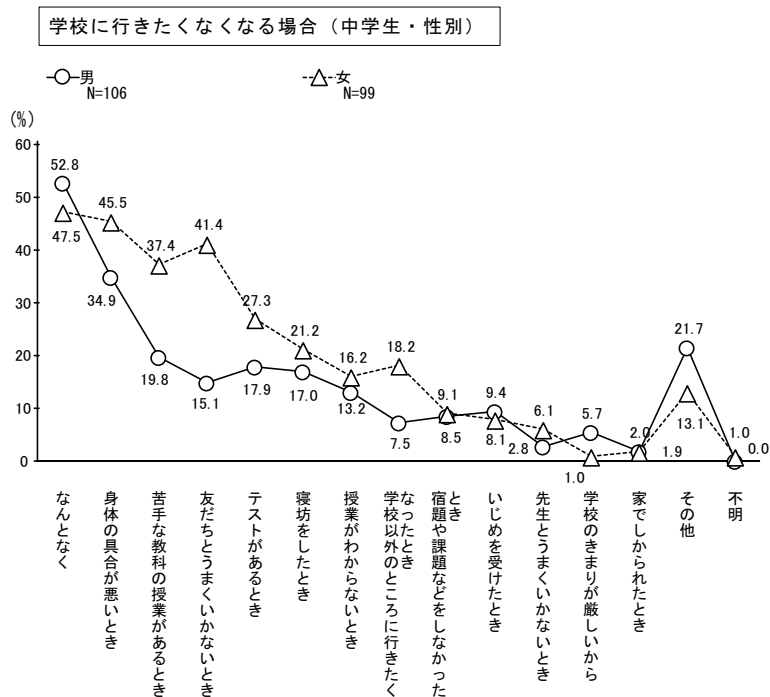
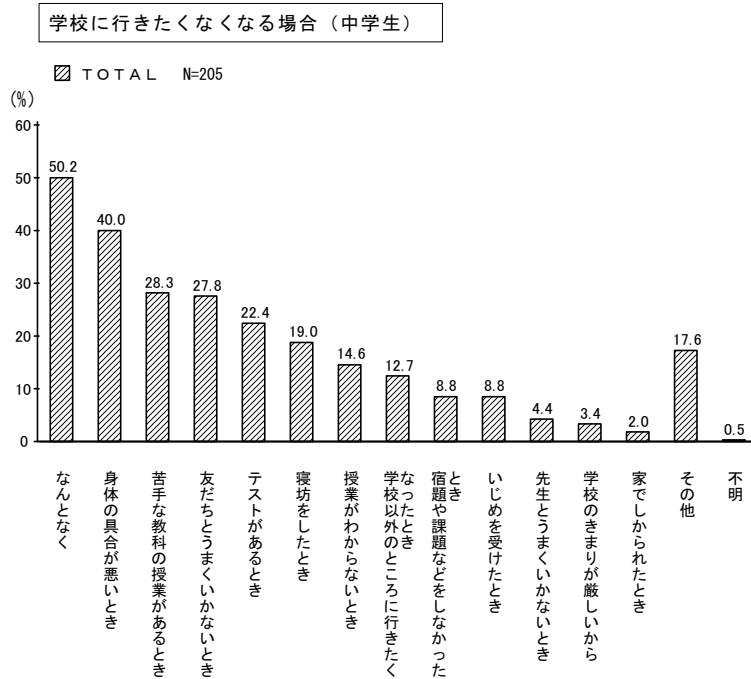


学校に行きたくなくなる時(居住地区別)



学校に行きたくなくなるのが「ある」と回答した人に、どのような場合かについて聞いたところ、「なんとなく」が 50.2%で最も多く、続いて「身体の具合が悪いとき」が 40.0%、「苦手な教科の授業があるとき」が 28.3%となっている。

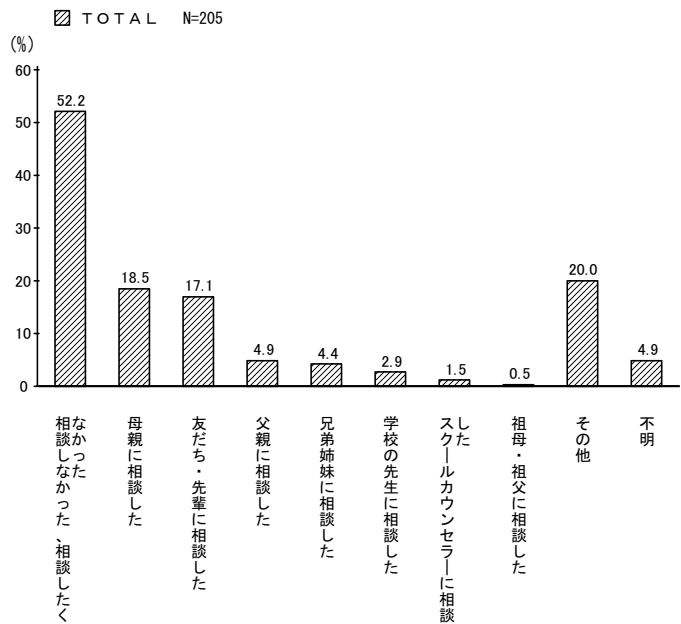
性別で見ると、全体的には女子生徒の回答が多く、「なんとなく」と「身体の具合が悪いとき」以外にも「友だちとうまくいかないとき」についても多くなっている。



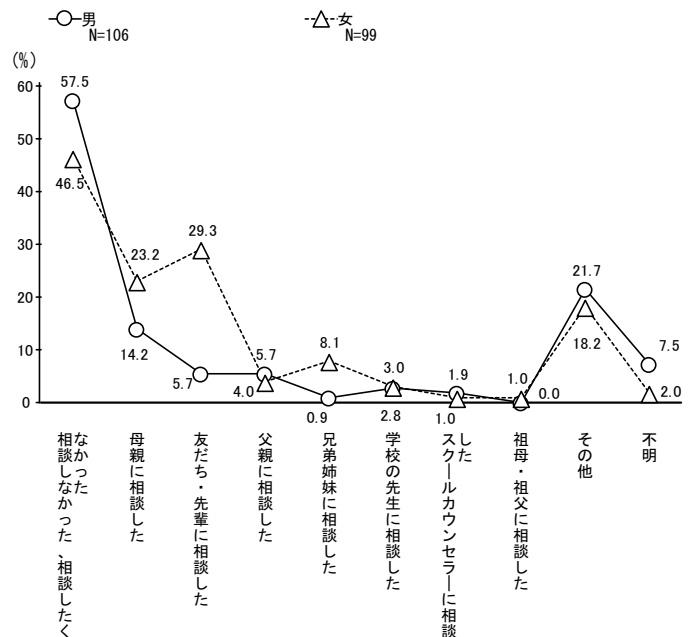
さらに学校に行きたくなくなる時の対処法について聞いたところ、「相談しなかった、相談しなかった」が 52.2%で最も多く、続いて「その他」が 20.0%、「母親に相談した」が 18.5%となっている。なお、『その他』の内容としては「我慢して行った」との回答が多くなっている。

性別で見ると、男女共に「相談しなかった、相談しなかった」が最も多い。「友だち・先輩に相談した」では女子生徒が多いことが分かる。

学校に行きたくなくなる時の対処法（中学生）



学校に行きたくなくなる時の対処法（中学生・性別）

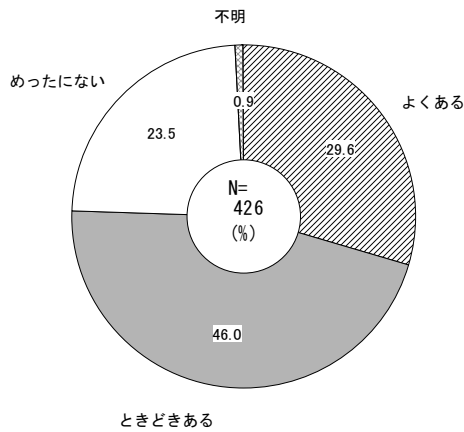


学校に行きたくなくなるタイミングについて高校生に聞いたところ、「よくある」が 29.6%、「ときどきある」が 46.0%となっており、合計すると 75.6%が「ある」と回答している。

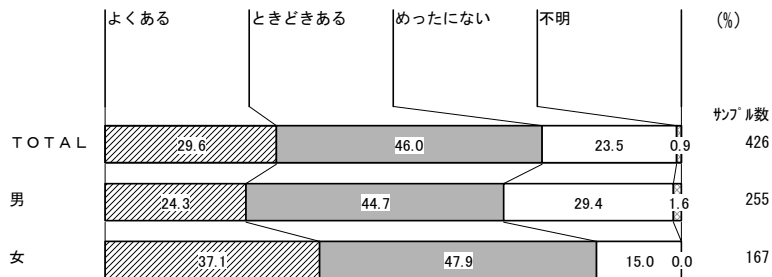
性別で見ると「女子学生」が行きたくなくなることがある割合がやや大きい。

居住地区別に見ると、「西東京市・東久留米市・清瀬市」と「中野区・杉並区」などで行きたくなくなることがある割合がやや大きい。

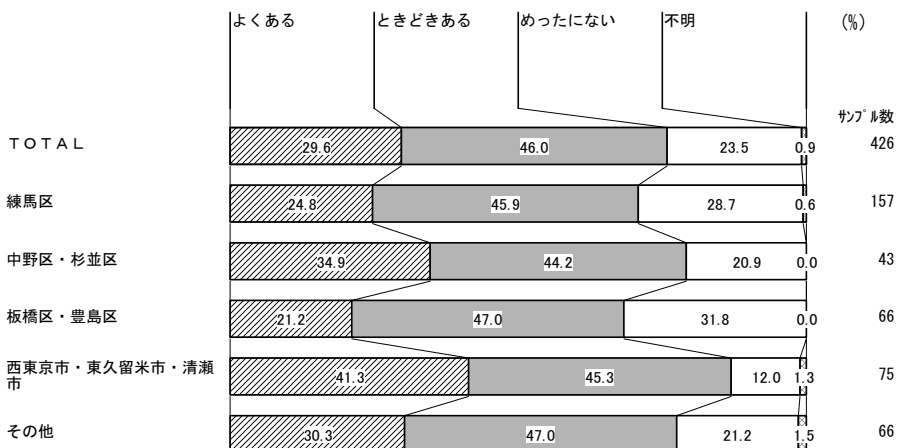
学校に行きたくなくなる時(高校生)



学校に行きたくなくなる時(高校生・性別)

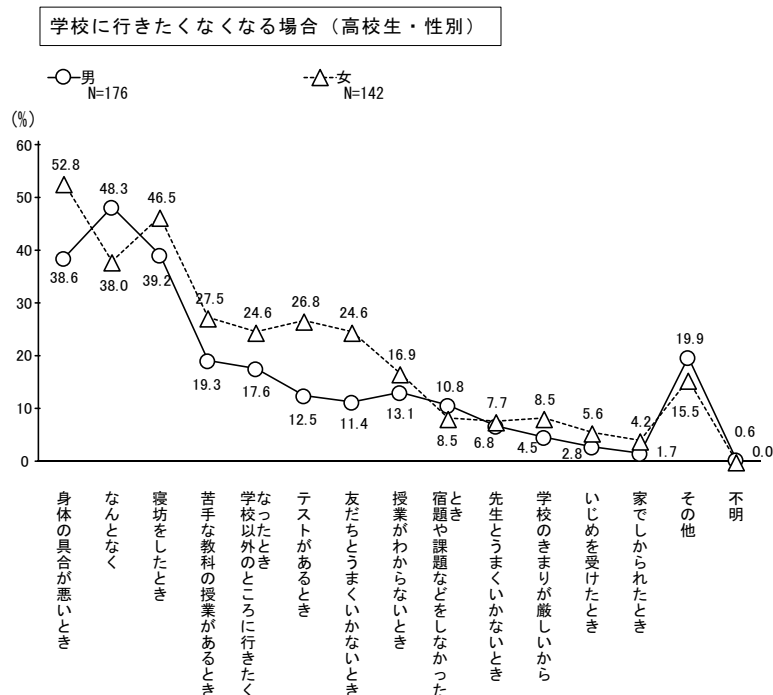
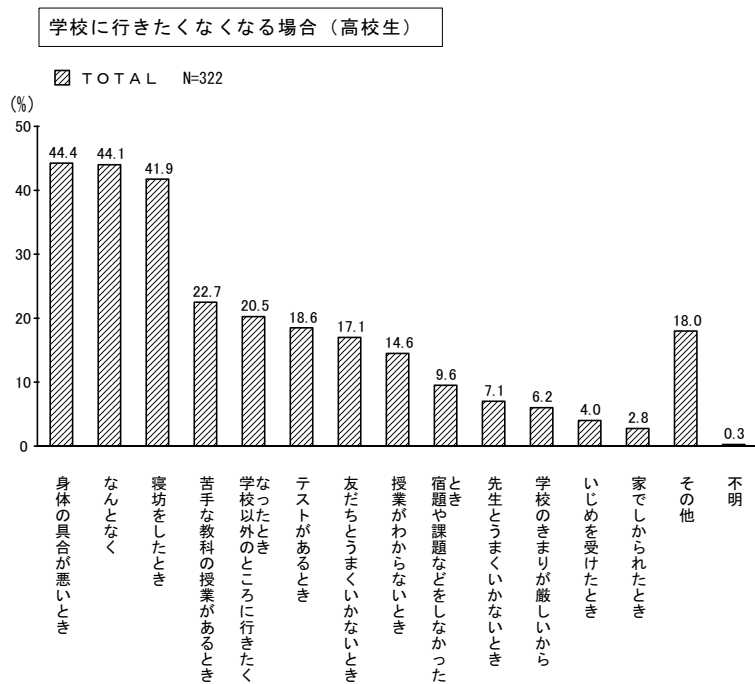


学校に行きたくなくなる時(高校生・居住地別)



学校に行きたくなくなる場合が「ある」と回答した人に、どのような場合かについて聞いたところ、「身体の具合が悪いとき」が44.4%で最も多く、続いて「なんとなく」が44.1%、「寝坊をしたとき」が41.9%となっている。

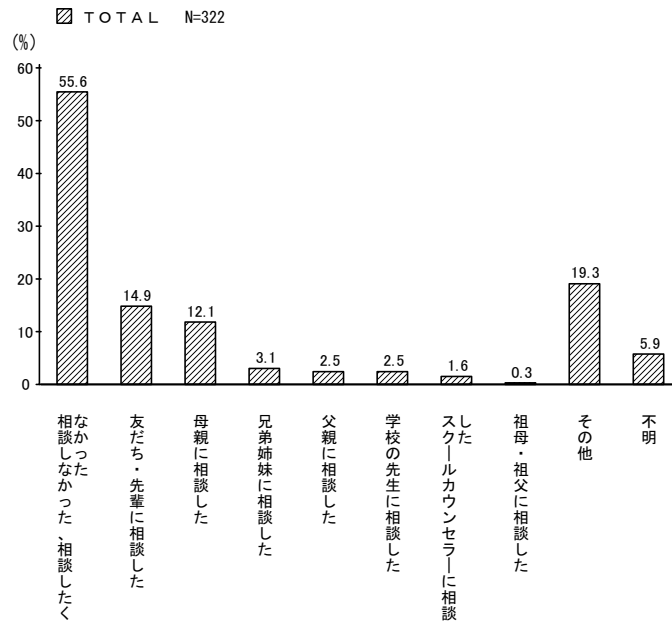
性別で見ると、「なんとなく」以外は全体的には女子生徒の回答が多くなっており、「身体の具合が悪いとき」「寝坊をしたとき」以外にも「テストがあるとき」「友だちとうまくいかないとき」についてもやや多くなっている。



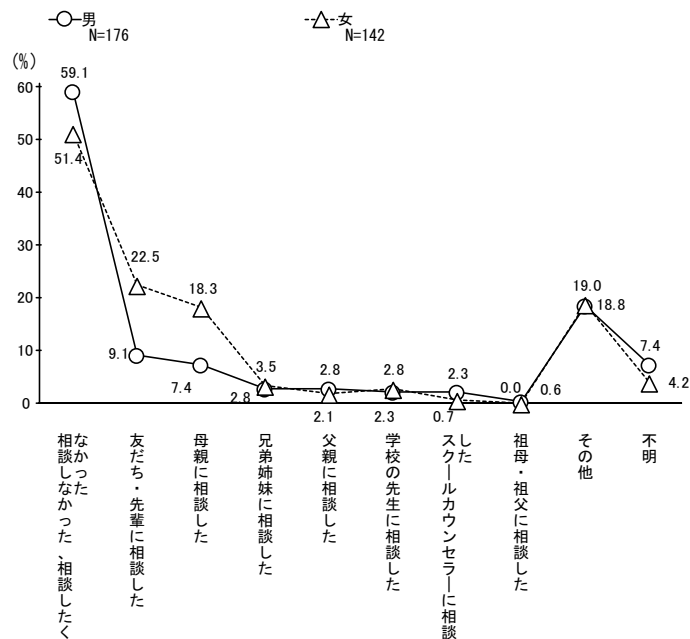
さらに学校に行きたくなくなる時の対処法について聞いたところ、「相談しなかった、相談しなかった」が 55.6%で最も多く、続いて「その他」が 19.3%、「友だち・先輩に相談した」が 14.9%となっている。

性別で見ると、男女共に「相談しなかった、相談しなかった」が最も多い。「友だち・先輩に相談した」では女子生徒が多いことが分かる。

学校に行きたくなくなる時の対処法（高校生）



学校に行きたくなくなる時の対処法（高校生・性別）

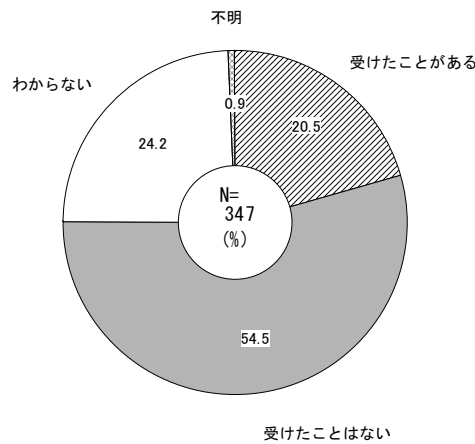


問11 あなたはいじめを受けたことがありますか。

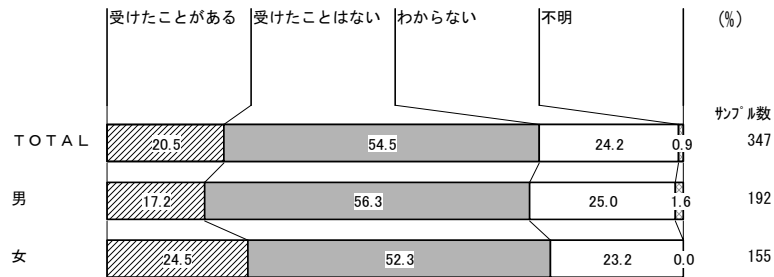
問11 (1) いじめを受けたときはどうしましたか。また、いじめを受けたらどうしますか。(複数回答)

いじめを受けた経験について中学生に聞いたところ、「受けたことがある」は20.5%となっている。性別で見ると、女子生徒がいじめを受けた割合(24.5%)がやや大きくなっている。居住地区別に見ると、「光が丘」で「受けたことがある」がやや多く、「石神井」で少なくなっている。

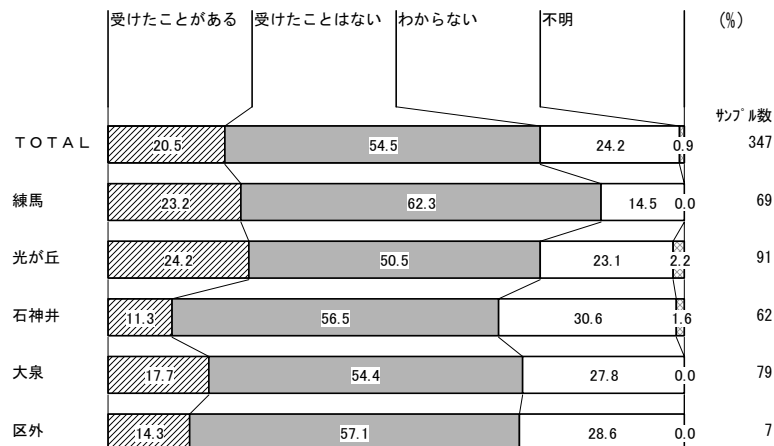
いじめを受けた経験(中学生)



いじめを受けた経験(中学生・性別)



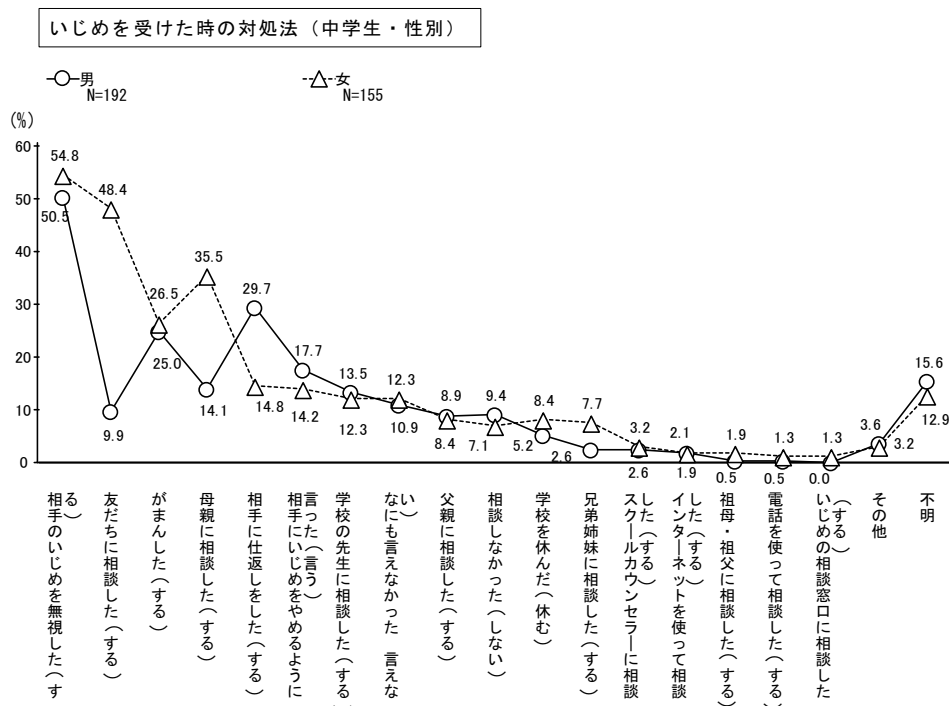
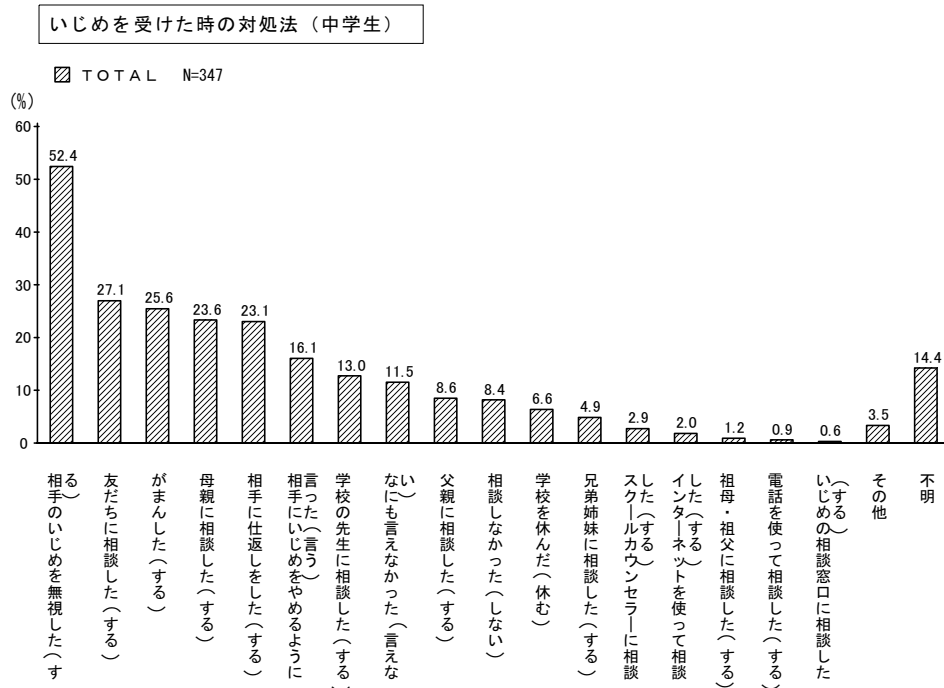
いじめを受けた経験(中学生・居住地区別)





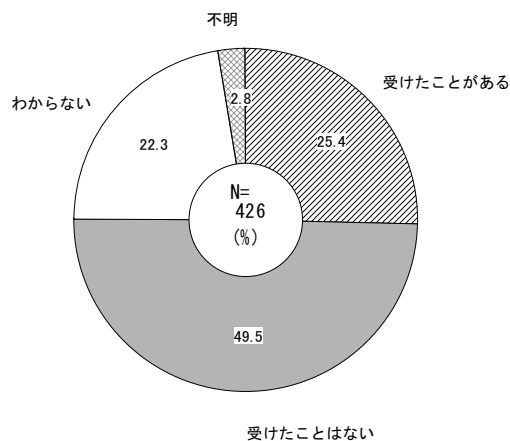
いじめを受けたときの対処法について見てみると、「相手のいじめを無視した（する）」が 52.4%で最も多く、続いて「友だちに相談した（する）」が 27.1%、「がまんした（する）」が 25.6%となっている。

性別で見ると、いずれも「相手のいじめを無視した（する）」が最も多く、男子生徒は続いて「相手に仕返しをした（する）」となっているが、女子生徒では続いて「友だちに相談した（する）」「母親に相談した（する）」となっており、2 番目の対処法には大きな差がある。

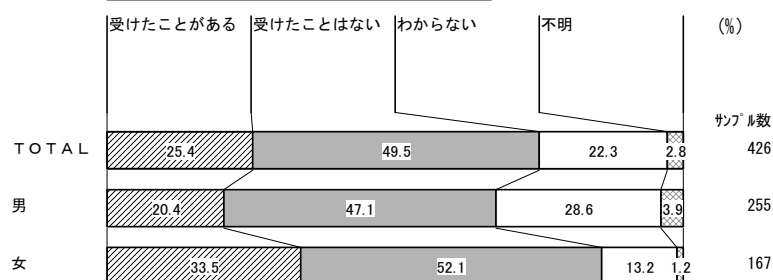


いじめを受けた経験について高校生に聞いたところ、「受けたことがある」は25.4%となっている。性別で見ると、女子生徒がいじめを受けた割合（33.5%）がやや大きくなっている。居住地区別で見ると、地域による大きな違いはない。

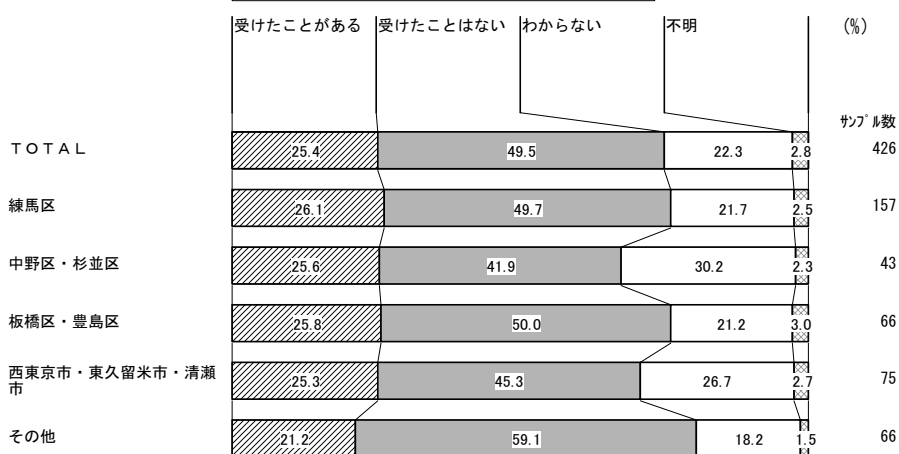
いじめを受けた経験(高校生)



いじめを受けた経験(高校生・性別)

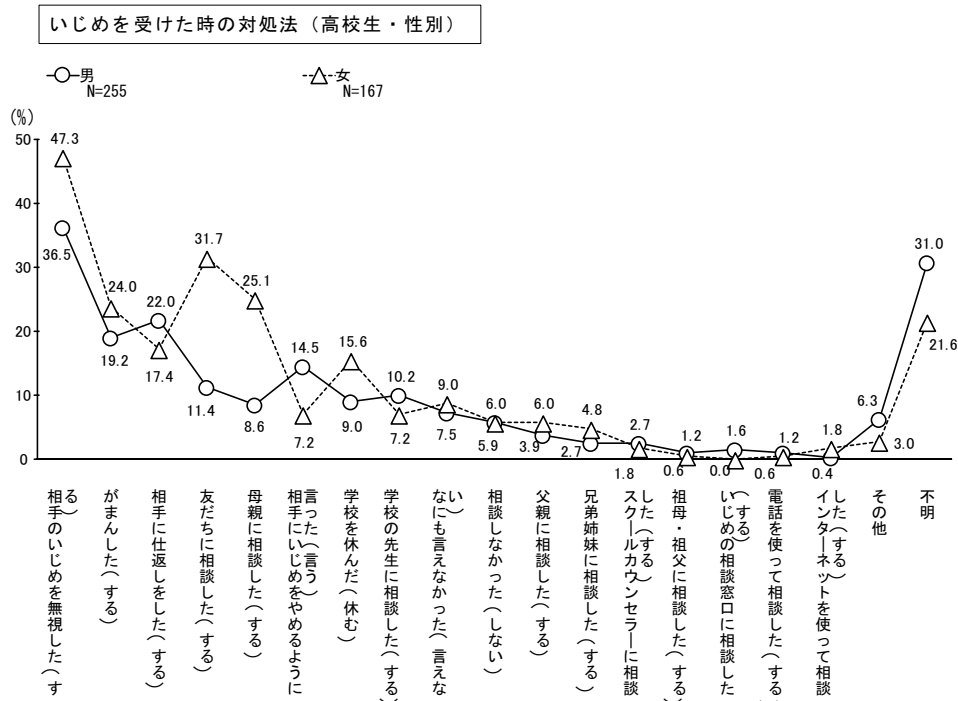
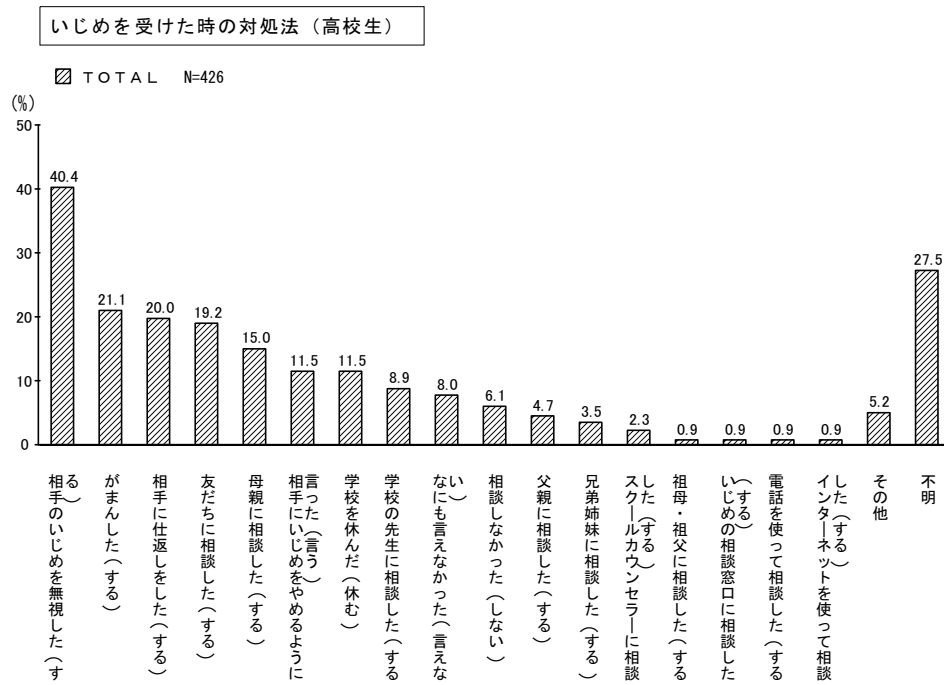


いじめを受けた経験(高校生・居住地別)



いじめを受けたときの対処法について見てみると、「相手のいじめを無視した（する）」が 40.4%で最も多く、続いて「がまんした（する）」が 21.1%、「相手に仕返しをした（する）」が 20.0%となっている。また「不明（無回答）」も多くなっている。

性別で見ると、男女共に「相手のいじめを無視した（する）」が最も多く、女子生徒では「友だちに相談した（する）」「母親に相談した（する）」が男子生徒より多い。



問12 あなたはいじめをしたことがありますか。

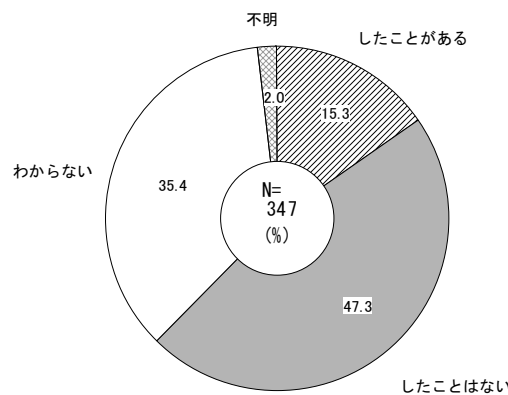
問12 (1) いじめをしたとき(した後)はどんな気分がしましたか。(複数回答)

いじめをした経験について中学生に聞いたところ、「したことがある」は15.3%、また「わからない」も35.4%となっている。

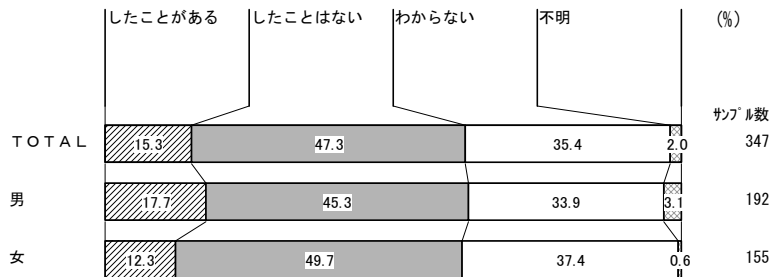
性別で見ると男子生徒がいじめをした経験(17.7%)がやや多くなっている。

居住地区別で見ると、「大泉」と「光が丘」でいじめをした経験がやや大きくなっている。

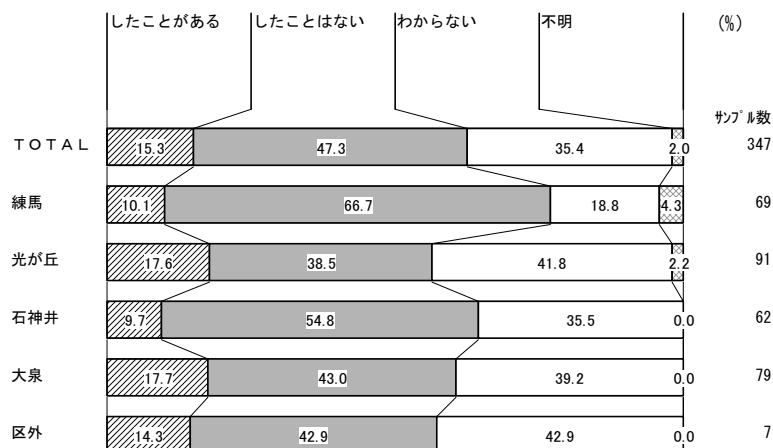
いじめの経験(中学生)



いじめの経験(中学校・性別)

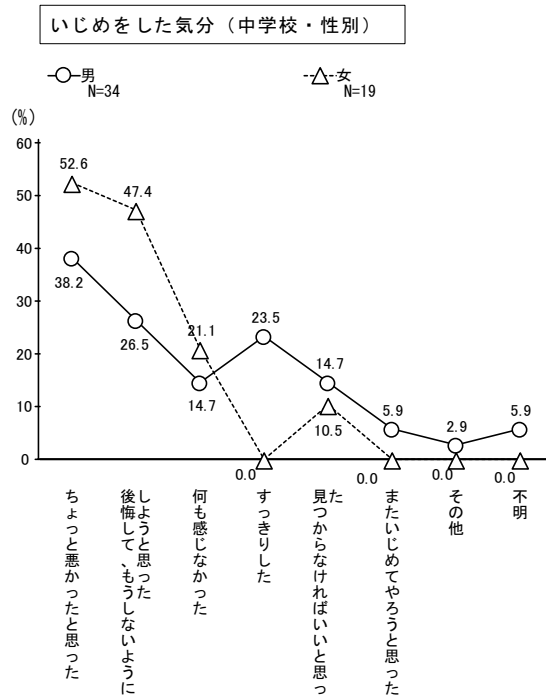
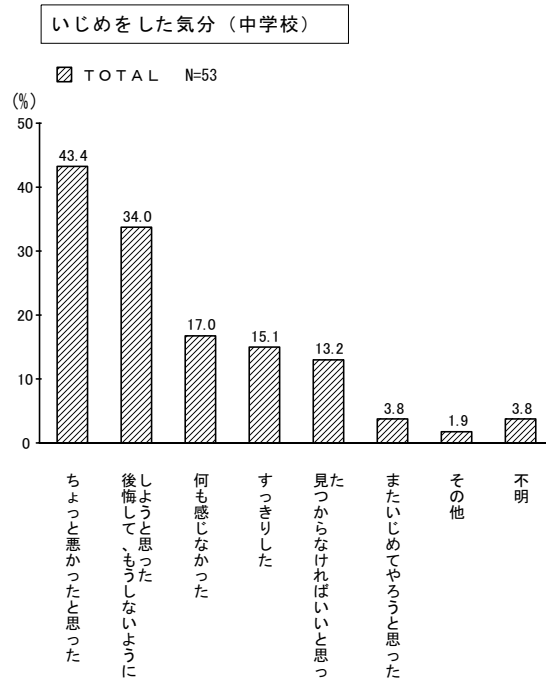


いじめの経験(中学校・居住地区別)



いじめを「したことがある」と回答した人に、その気分を聞いたところ、「ちょっと悪かったと思った」が43.4%で最も多く、続いて「後悔して、もうしないようにしようと思った」が34.0%となっている。

ただし性別で見ると、「すっきりした」なども男子生徒で多くなっている。

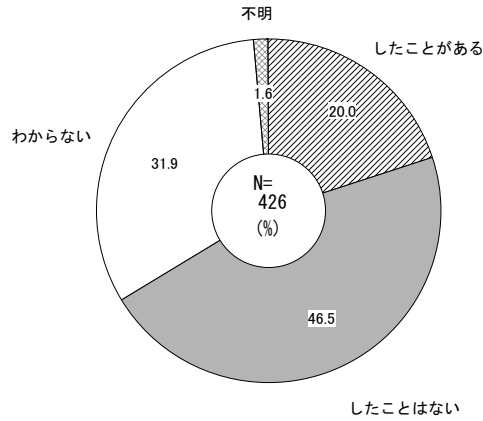


いじめをした経験について高校生に聞いたところ、「したことがある」は20.0%、また「わからない」も31.9%となっている。

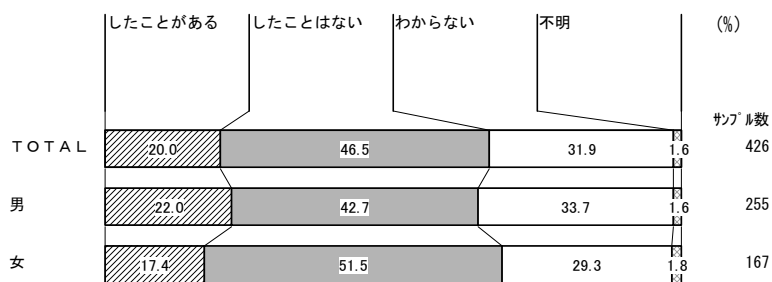
性別で見ると男子生徒がいじめをした経験(22.0%)がやや多くなっている。

居住地区別に見ると、「西東京市・東久留米市・清瀬市」と「中野区・杉並区」などでいじめをしたことがある割合がやや大きい。

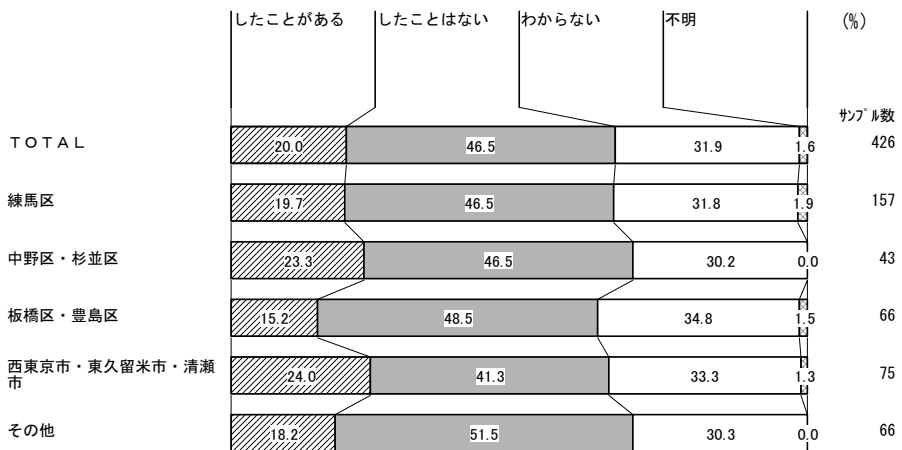
いじめの経験(高校生)



いじめの経験(高校生・性別)

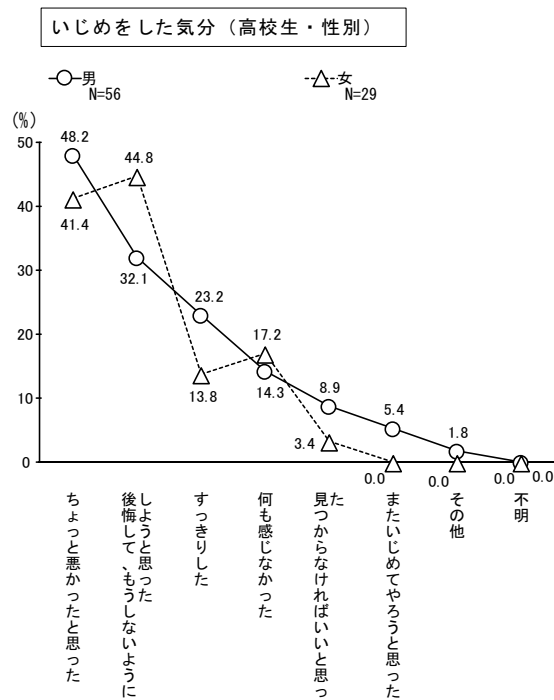
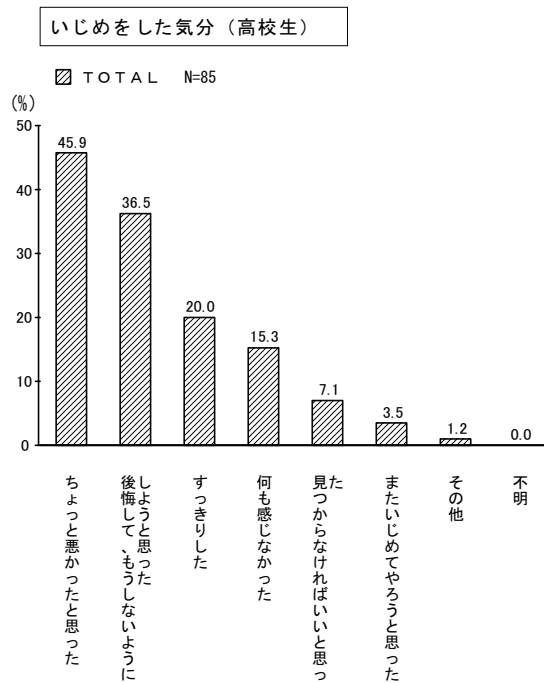


いじめの経験(高校生・居住地別)



いじめを「したことがある」と回答した人に、その気分を聞いたところ、「ちょっと悪かったと思った」が 45.9%で最も多く、続いて「後悔して、もうしないようにしようと思った」が 36.5%となっている。

ただし性別で見ると、「すっきりした」なども男子生徒でやや多くなっている。

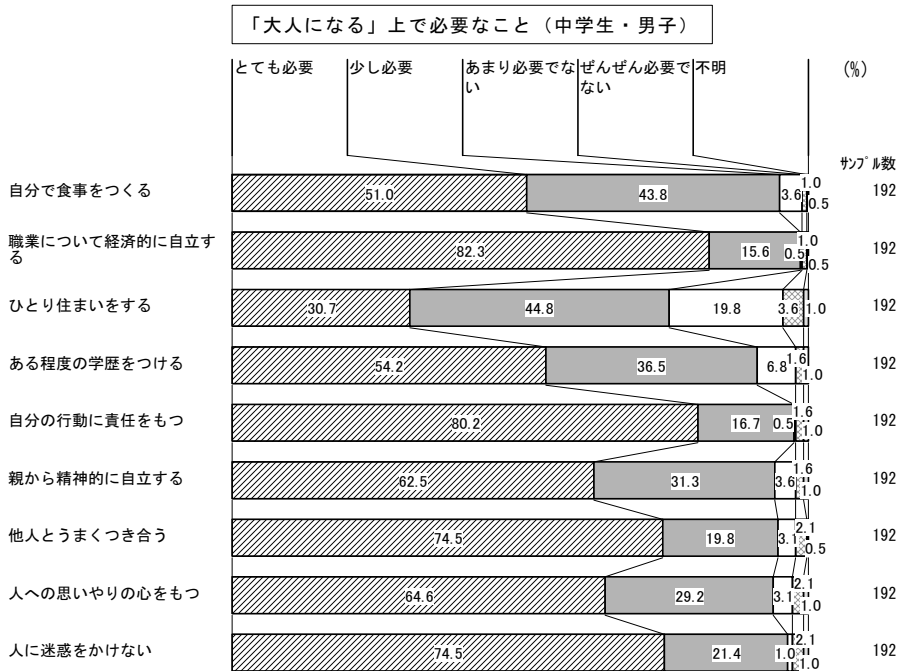
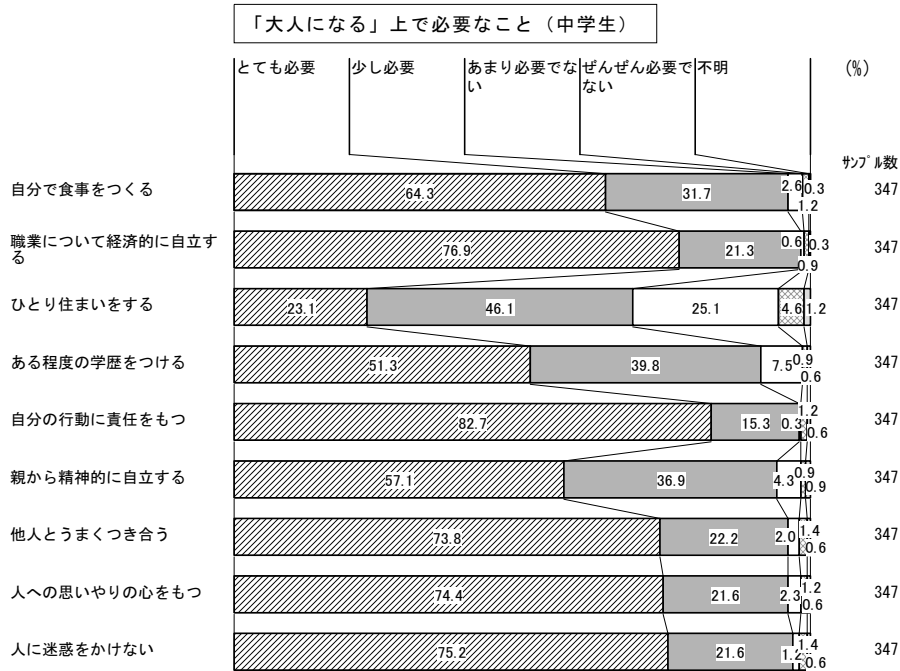


## (2) 就労・結婚・育児に関する意識について

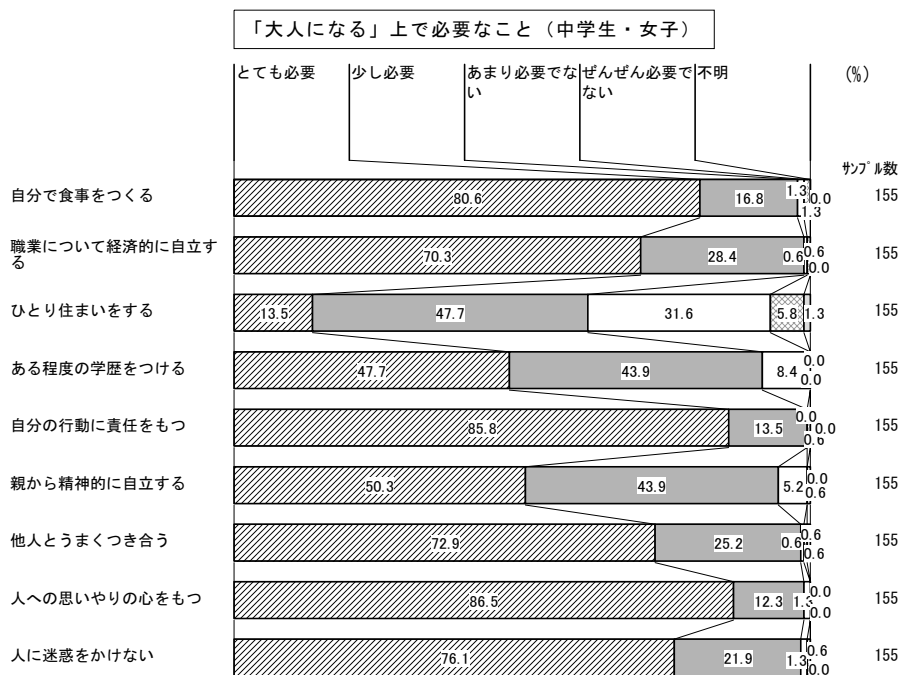
**問13** あなたは「大人になる」のに、次のようなことはどれくらい必要だと思いますか。最も近いと思うものを1つずつ選んでください。

「大人になる」上で必要なことについて様々な視点から中学生に聞いたところ、「自分の行動に責任を持つ」「職業について経済的に自立する」について「とても必要」の割合が大きくなっている。

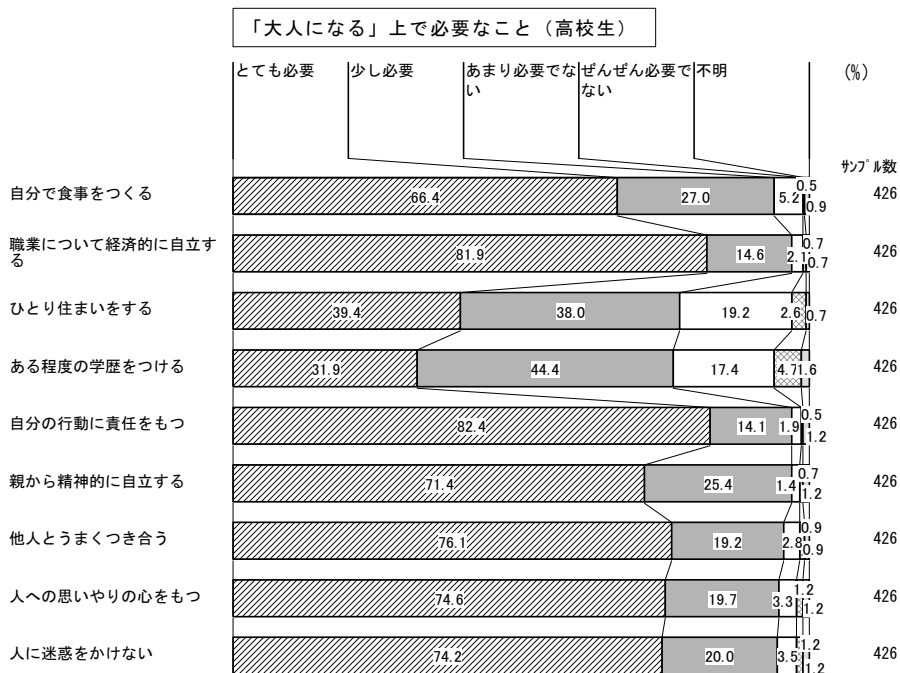
性別で見ると、男子生徒は「職業について経済的に自立する」「自分の行動に責任を持つ」が多く、女子生徒は「人への思いやりの心をもつ」「自分の行動に責任を持つ」が多くなっている。



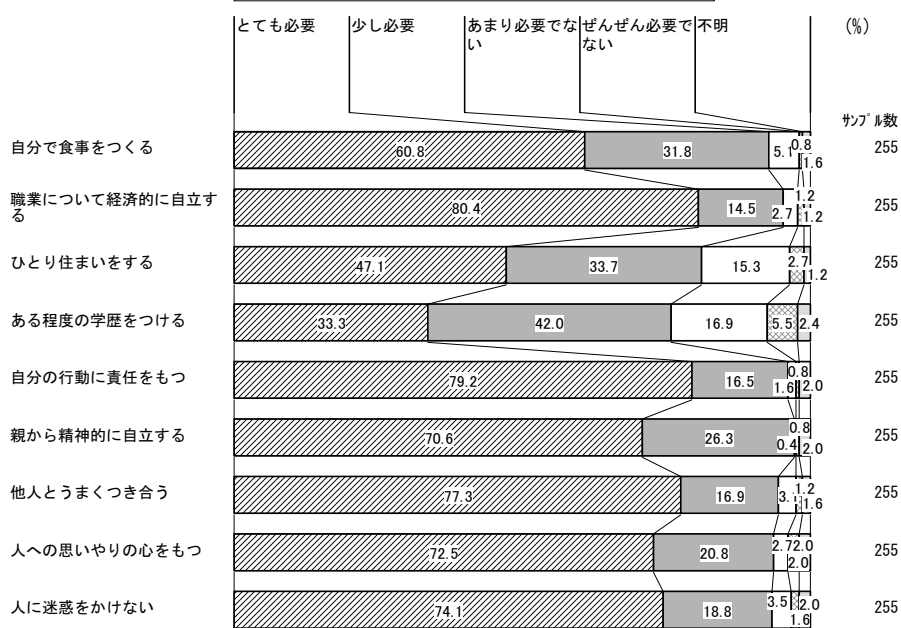




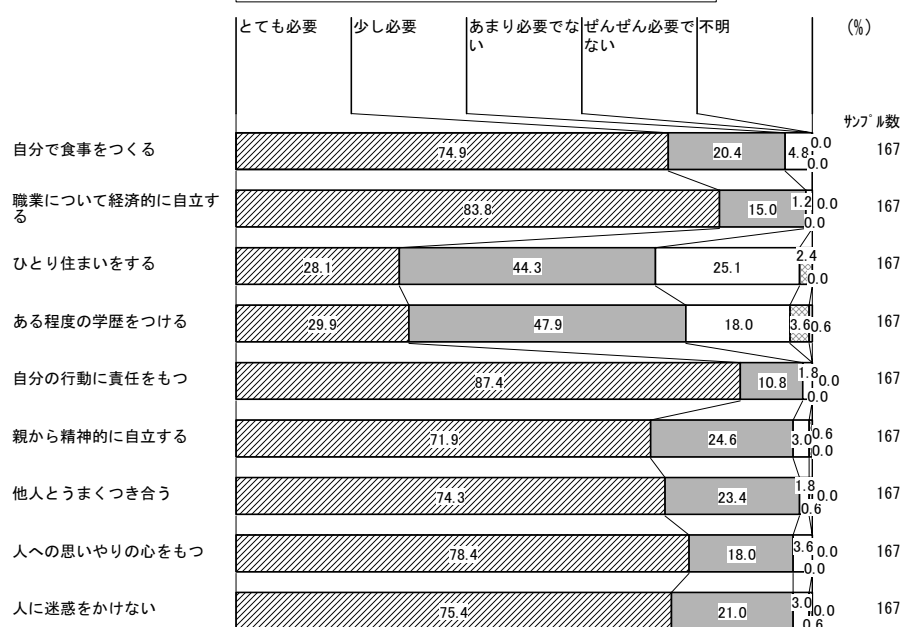
「大人になる」上で必要なことについて様々な視点から高校生に聞いたところ、「自分の行動に責任を持つ」「職業について経済的に自立する」などについて「とても必要」の割合が大きくなっている。性別で見ると、男女共に「職業について経済的に自立する」「自分の行動に責任を持つ」が多くなっている。



「大人になる」上で必要なこと（高校生・男性）



「大人になる」上で必要なこと（高校生・女性）



**問 1 4 あなたは将来どんな仕事につきたいですか。**

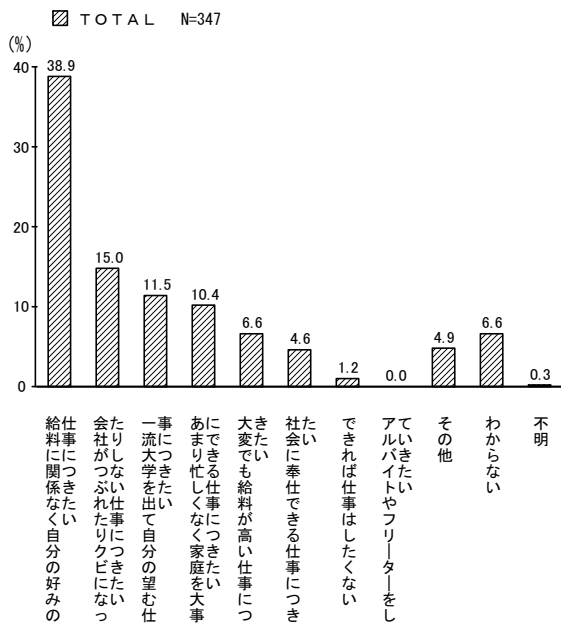
将来つきたい仕事について中学生に聞いたところ、「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が38.9%で最も多くなっている。

性別で見ると、いずれも「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が最も多く、男子生徒は「会社がつぶれたりクビになったりしない仕事につきたい」なども、女子生徒と比べて多くなっている。

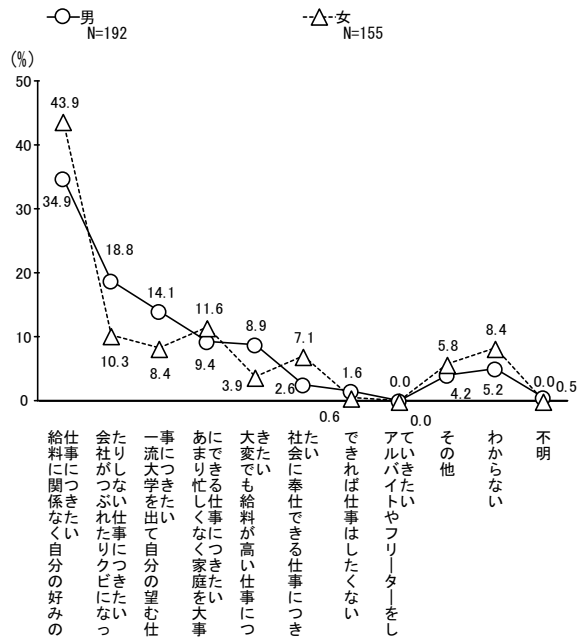
将来つきたい仕事について高校生に聞いたところ、「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が37.6%で最も多くなっている。

性別で見ると、いずれも「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が最も多くなっており、性別による大きな違いはない。

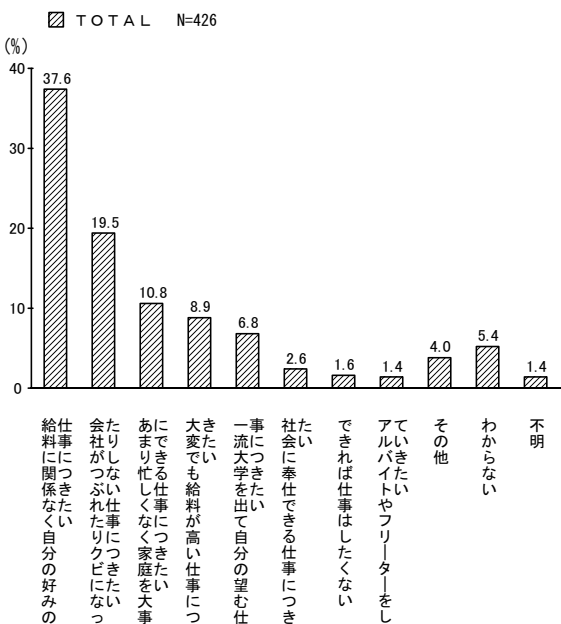
将来つきたい仕事（中学生）



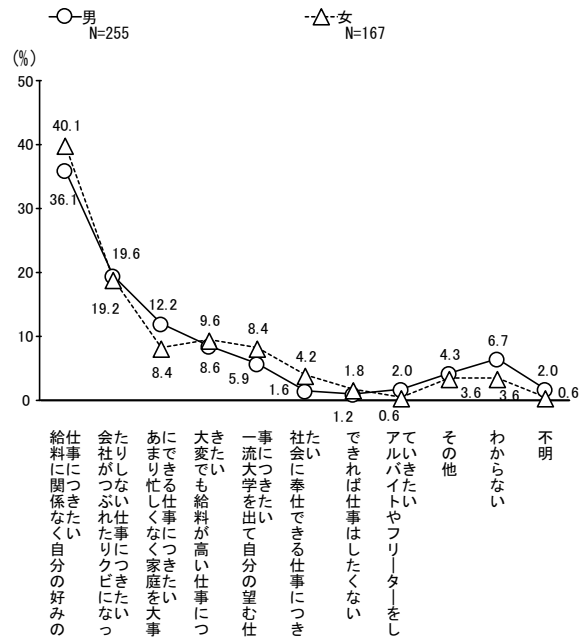
将来つきたい仕事（中学生・性別）



将来つきたい仕事（高校生）

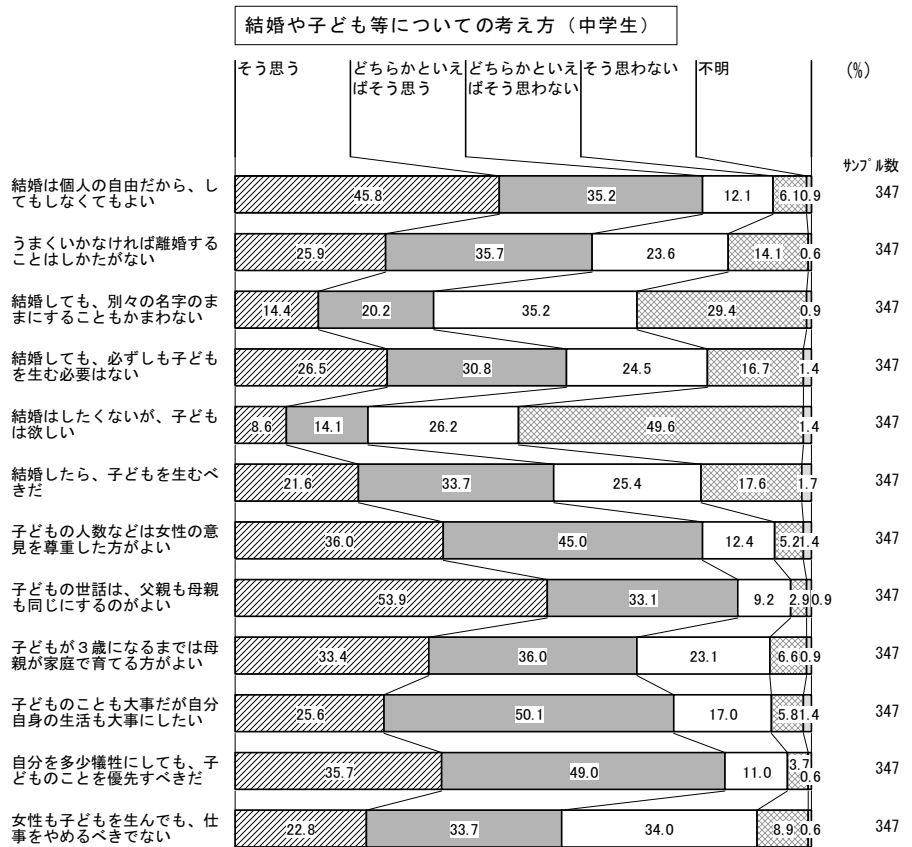


将来つきたい仕事（高校生・性別）

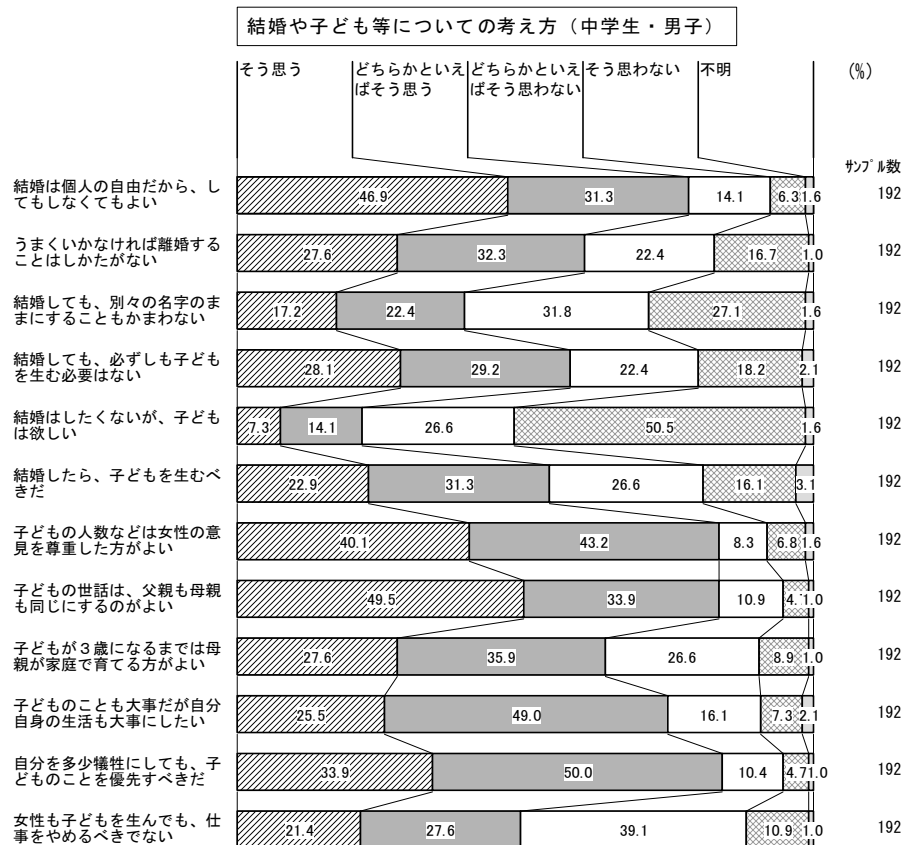


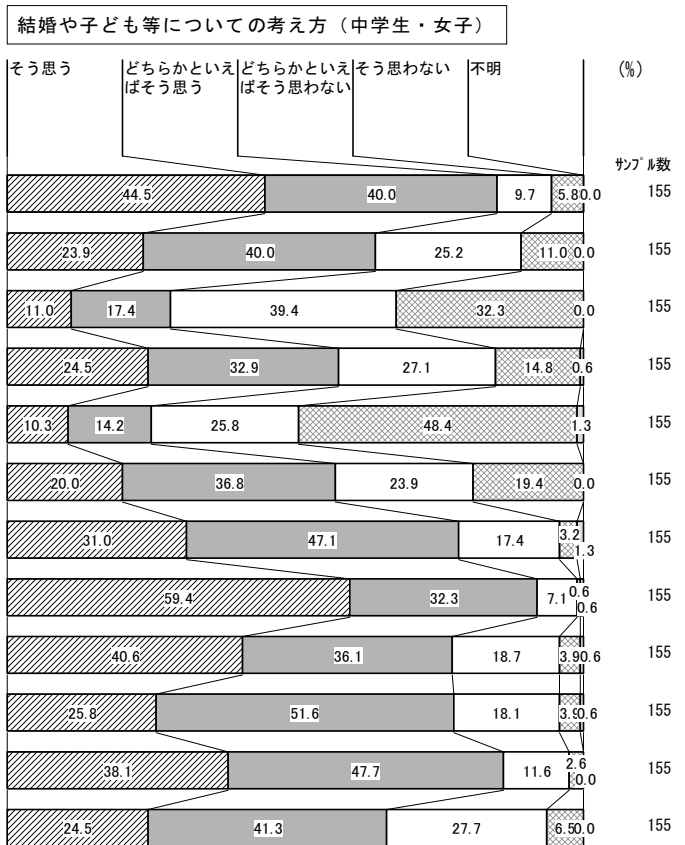
問 15 あなたは次のような考え方について、どう思いますか。

結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から中学生に聞いたところ、「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」の「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。

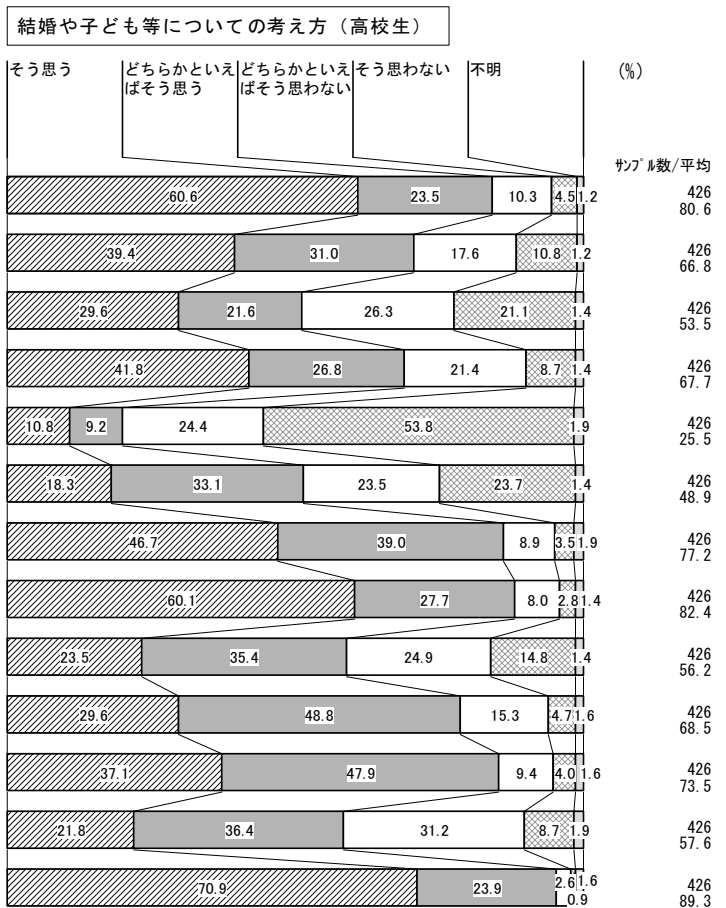


性別で見ると、男女共に「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」の「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。





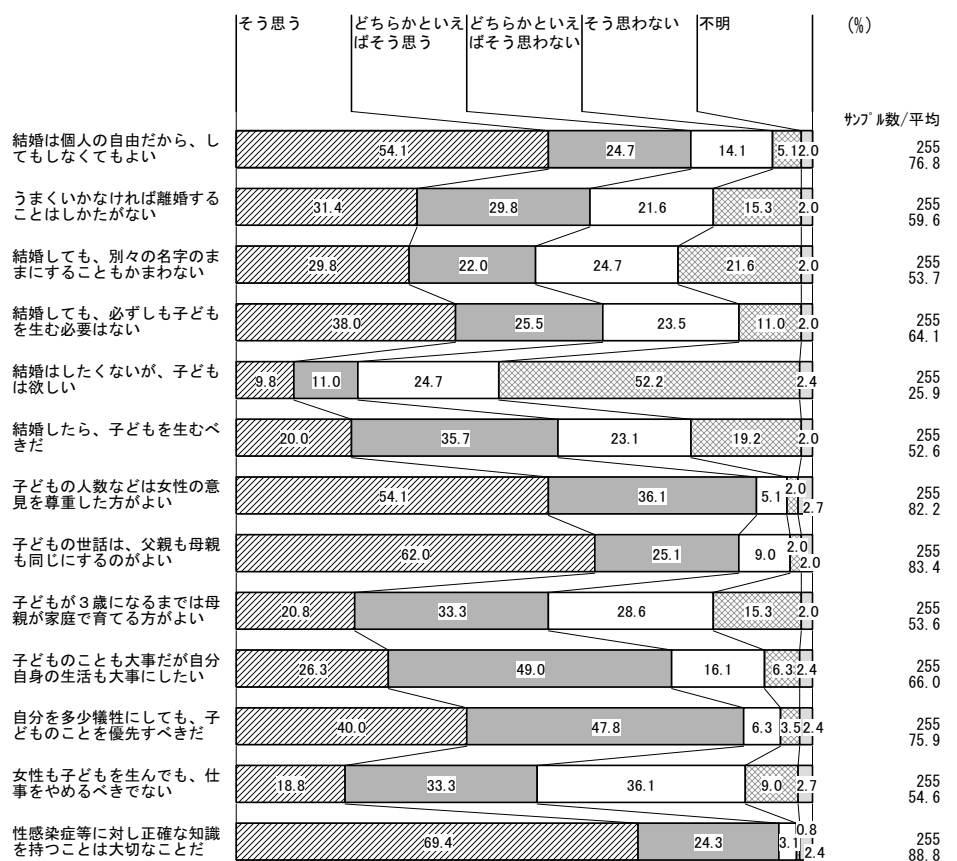
結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から高校生に聞いたところ、「性感染症等に対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」、そして「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい」についての「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。



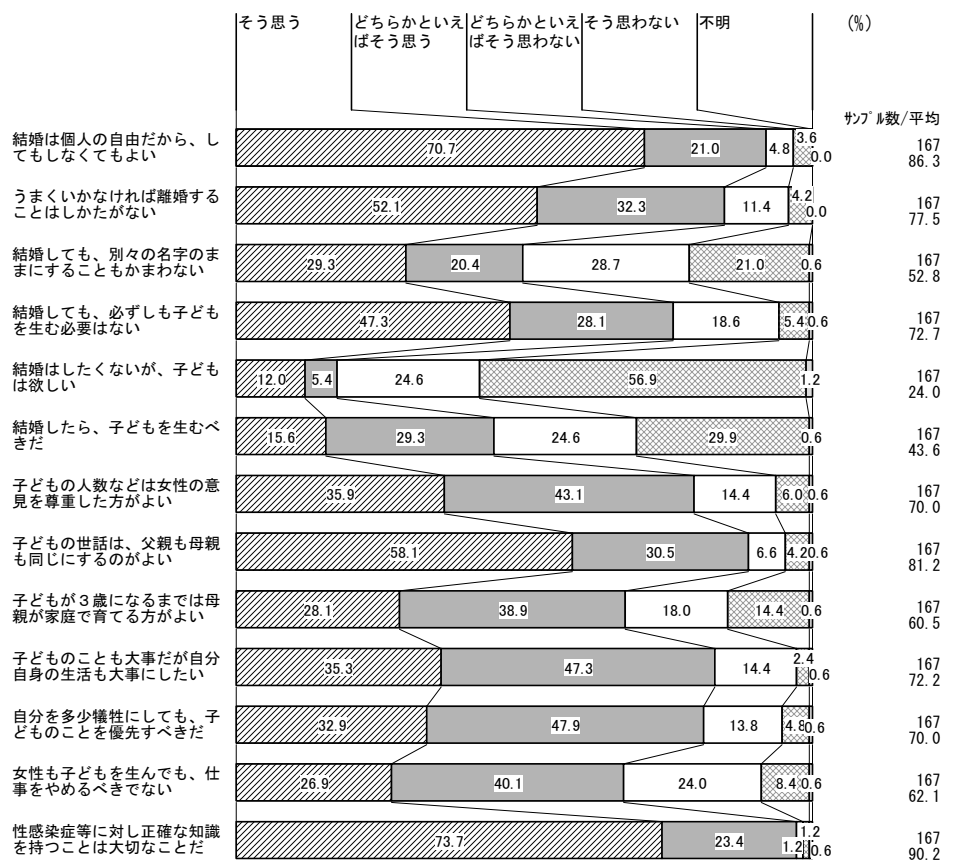
性別で見ると、男女共に「性感染症等に対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」の「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。

また男子生徒は「子どもの人数などは女性の意見を尊重したほうがよい」についても「そう思う」の割合が大きくなっている。

結婚や子ども等についての考え方（高校生・男子）



結婚や子ども等についての考え方（高校生・女子）



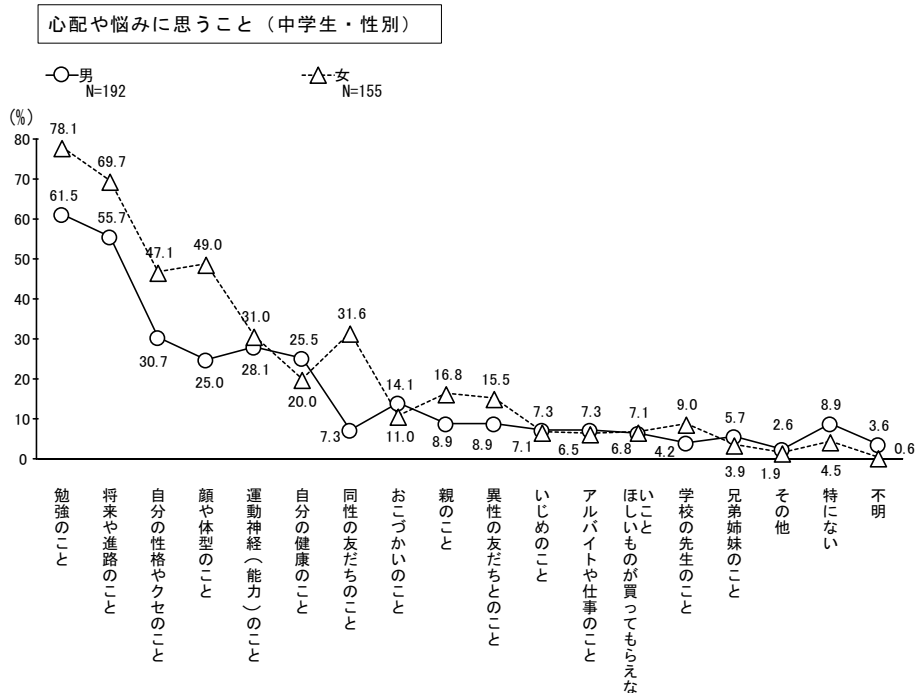
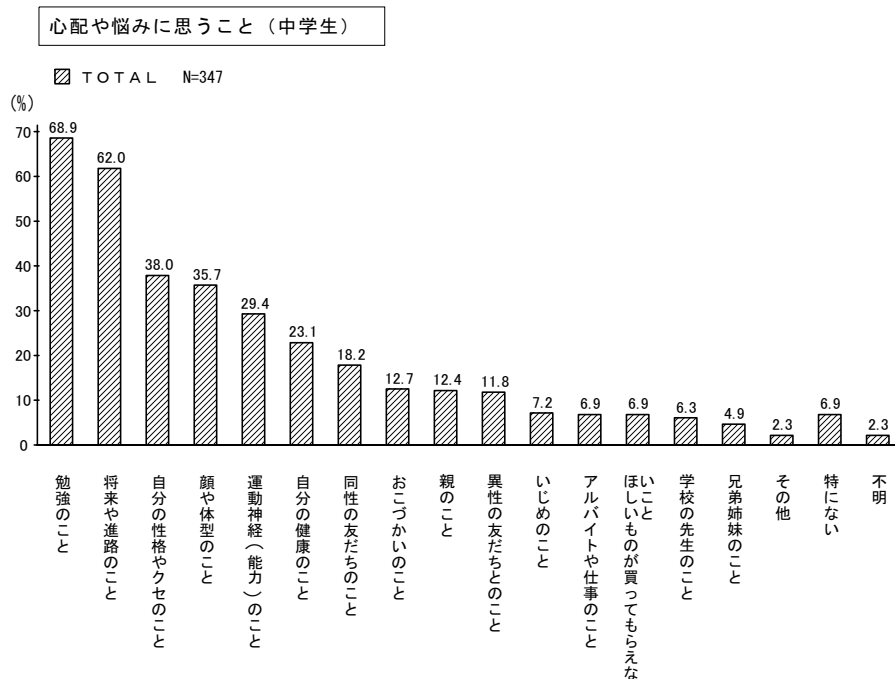
### (3) 心配、悩みについて

問16 あなたは心配や悩みに思うことは、どのようなことですか。(複数回答)

問17 あなたは、これまで心配や悩みがあったときに、誰に相談しましたか。(複数回答)

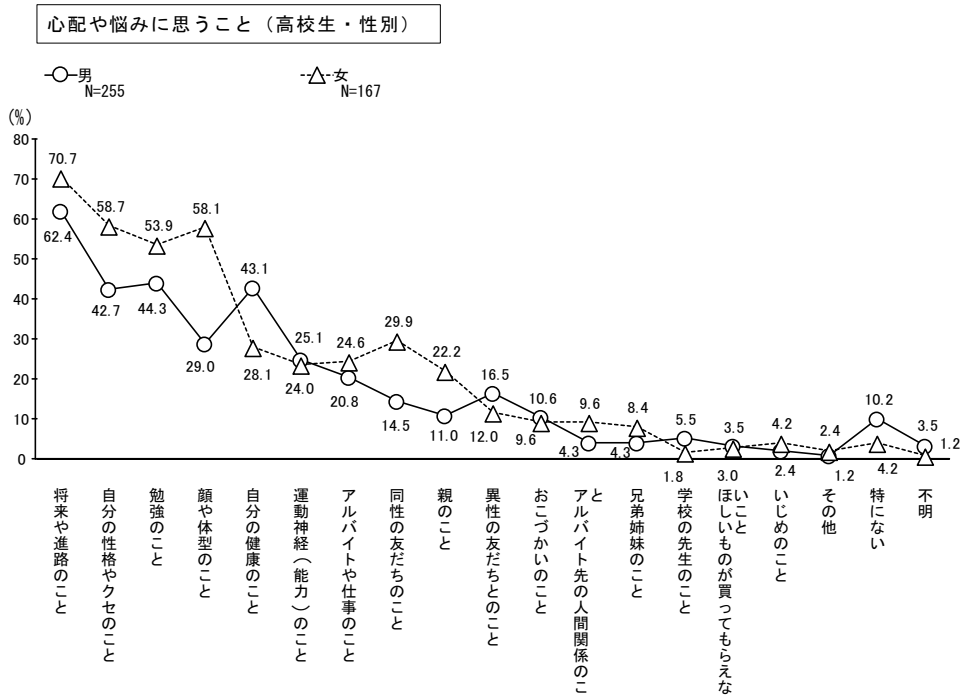
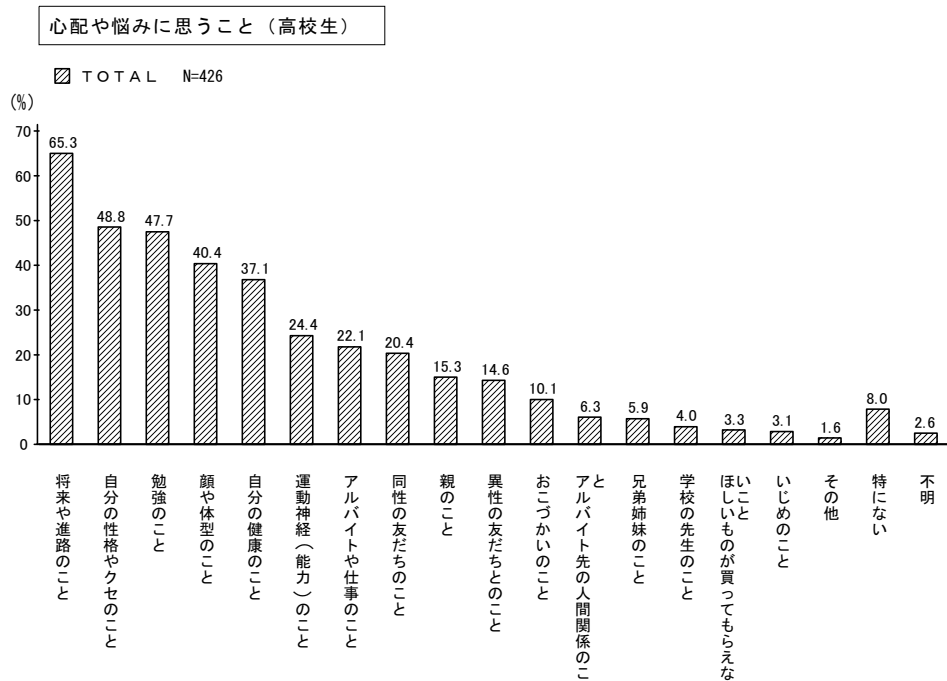
心配な悩みに思うことについて中学生に聞いたところ、「勉強のこと」が68.9%で最も多く、続いて「将来や進路のこと」が62.0%、「自分の性格やクセのこと」が38.0%となっている。

性別に見てみると、男女共に「勉強のこと」が最も多く、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択している。特に「顔や体型のこと」「自分の性格やクセのこと」「同性の友だちとのこと」については男子生徒と比べて多くなっている。



心配な悩みに思うことについて高校生に聞いたところ、「将来や進路のこと」が 65.3%で最も多く、続いて「自分の性格やクセのこと」が 48.8%、「勉強のこと」が 47.7%となっている。

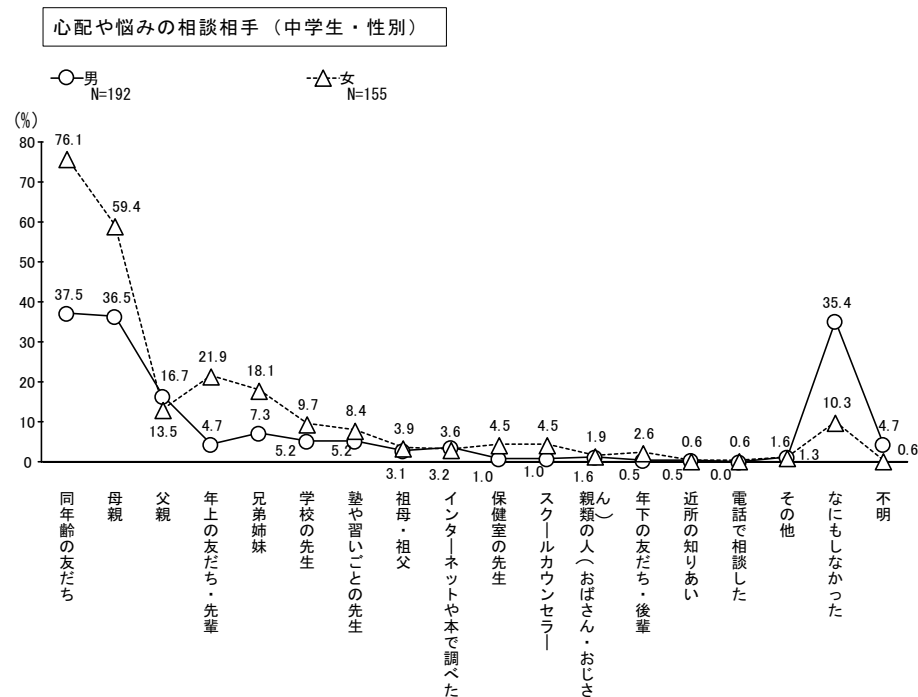
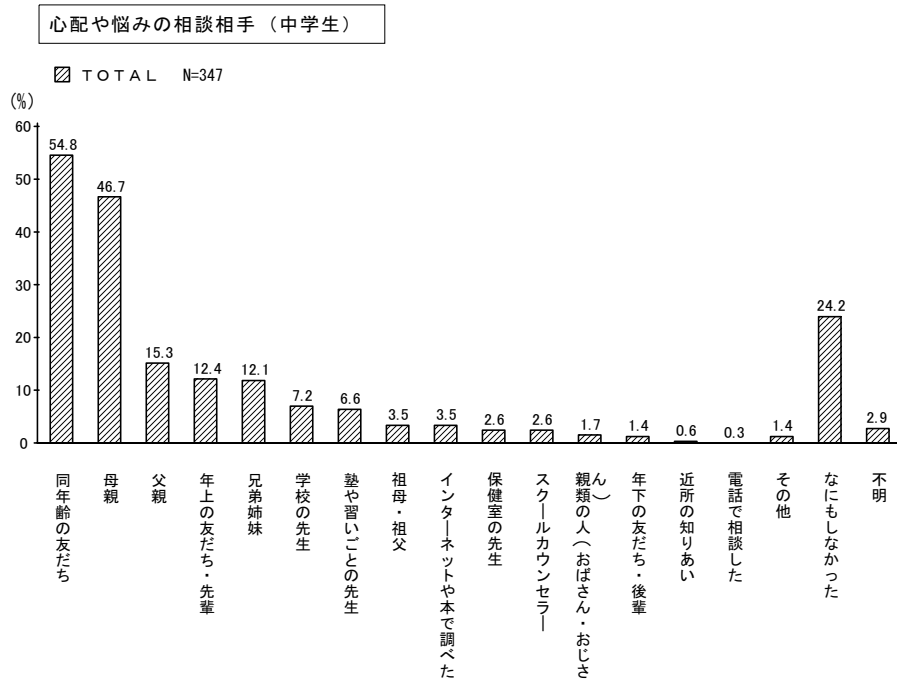
性別に見てみると、男女共に「将来や進路のこと」が最も多く、女子生徒の方がより多くの項目を選択している。特に「自分の性格やクセのこと」「顔や体型のこと」「同性の友だちとのこと」については男子生徒と比べて多くなっている。





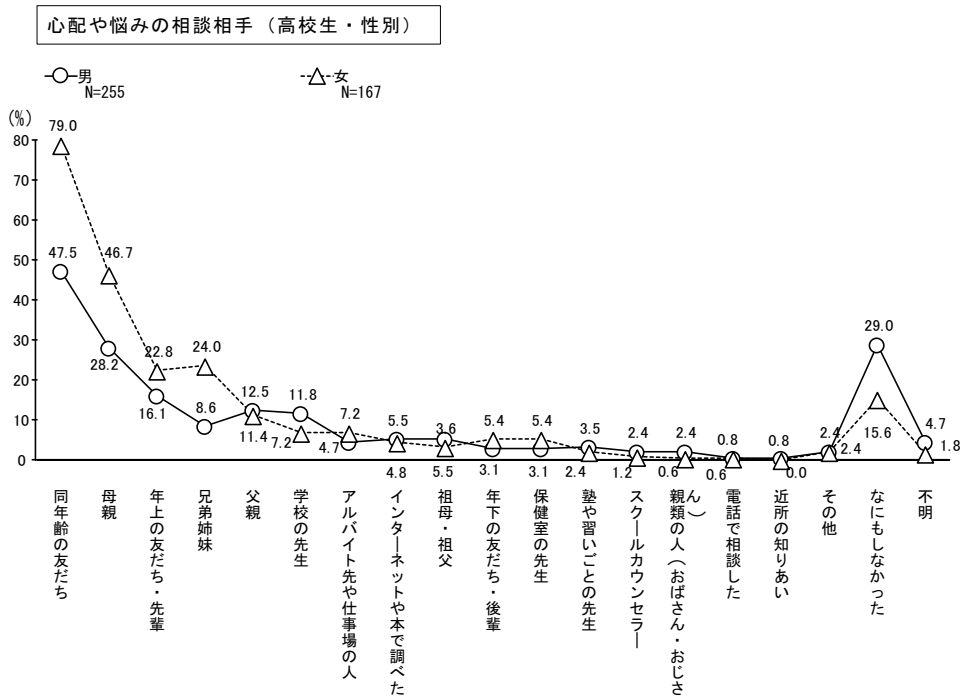
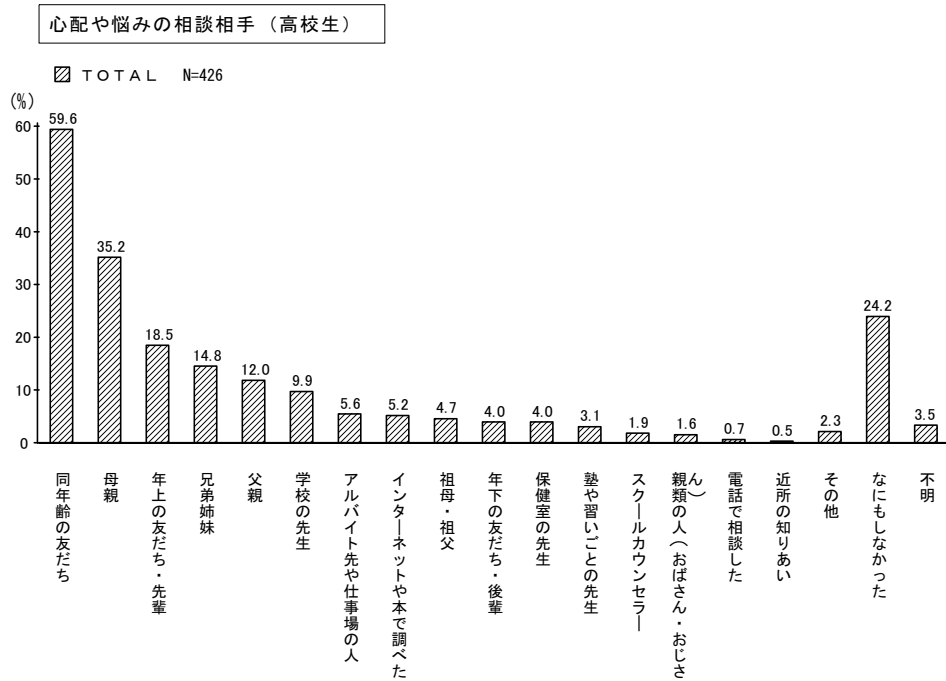
心配や悩みの相談相手について中学生に聞いたところ、「同年齢の友だち」が54.8%で最も多く、続いて「母親」が46.7%となっている。

性別で見ると、男女共に「同年齢の友だち」が最も多く、女子生徒の方がより多くの項目を選択している。一方「なにもしなかった」については男子生徒の方が多くなっている。



心配や悩みの相談相手について高校生に聞いたところ、「同年齢の友だち」が59.6%で最も多くなっており、続いて「母親」が35.2%、「年上の友だち・先輩」が18.5%となっている。

性別で見ると、男女共に「同年齢の友だち」が最も多くなっているが、全体的には女子生徒の回答の方が多くなっている。一方「なにもしなかった」については男子生徒の方が多くなっている。



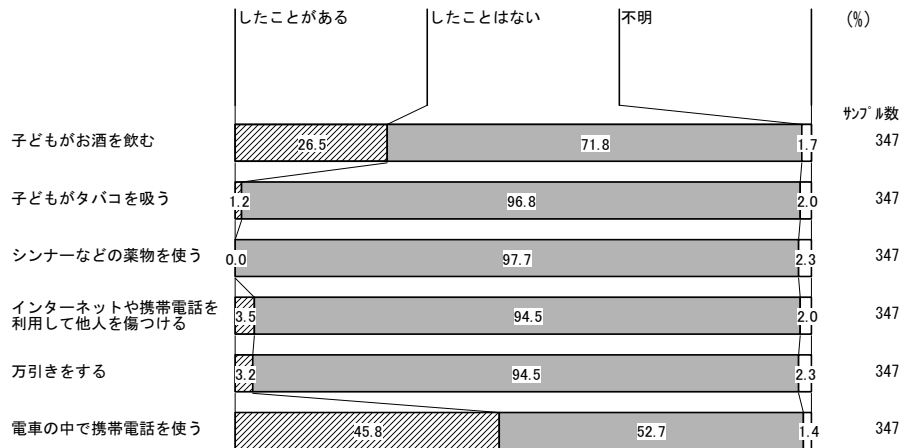
#### (4) 社会道徳、交通道徳について

問18 (1) あなたは、次のようなことをしたことがありますか。

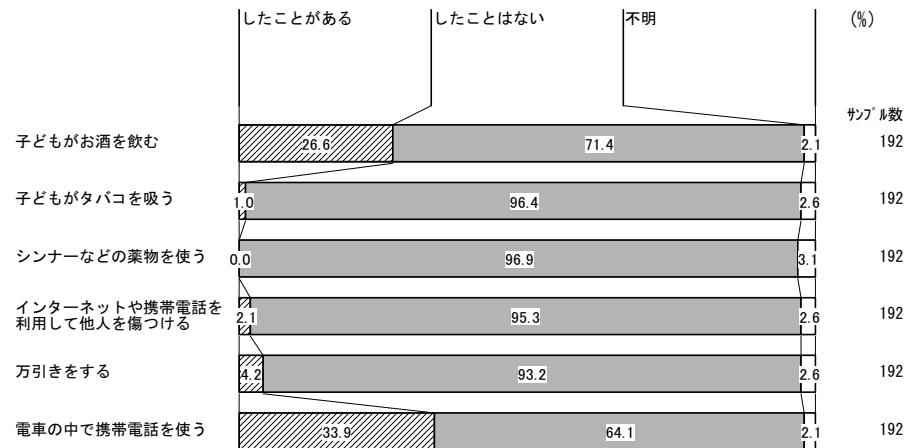
問18 (2) また、どのくらいいけないと思いますか。

中学生にお酒やタバコ等の経験について聞いたところ、「電車の中で携帯電話を使う」そして「子どもがお酒を飲む」については「したことがある」割合が大きくなっている。性別で見ると、男女共に「電車の中で携帯電話を使う」そして「子どもがお酒を飲む」が多くなっており、特に『電車の中で携帯電話を使う』については女子生徒が多くなっている。

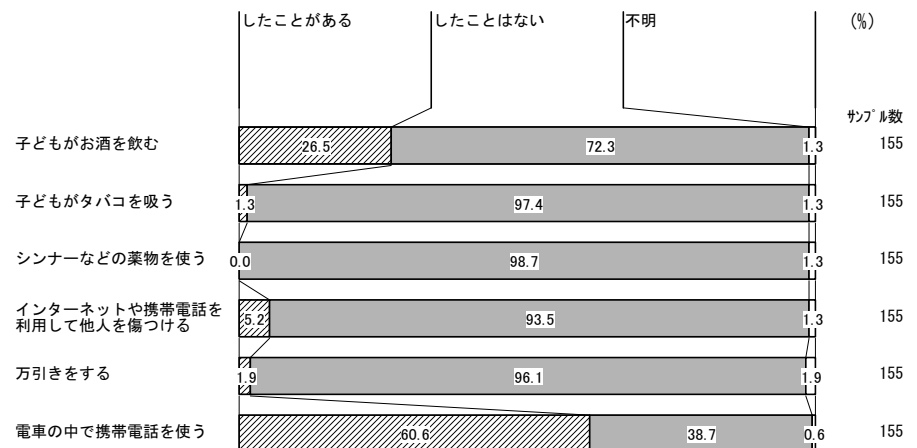
お酒やタバコ等の経験（中学生）



お酒やタバコ等の経験（中学生・男子）

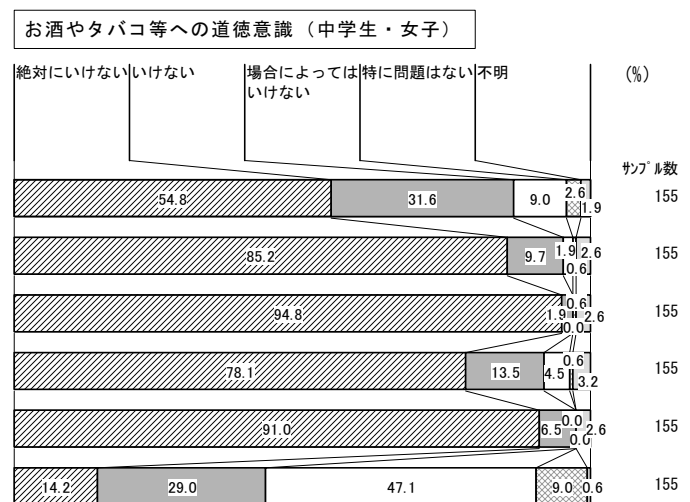
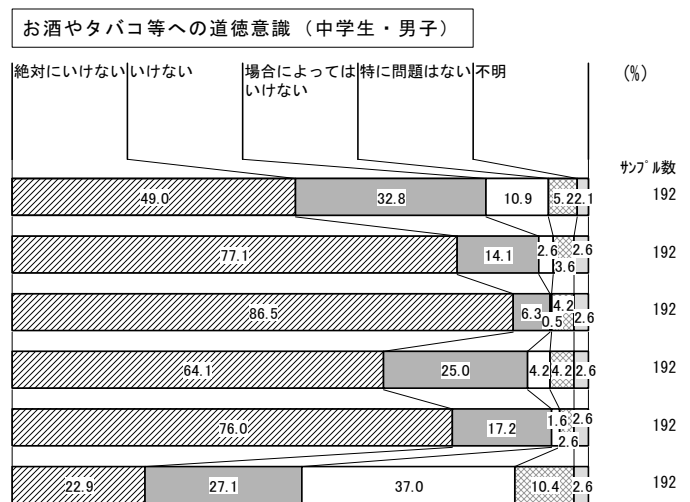
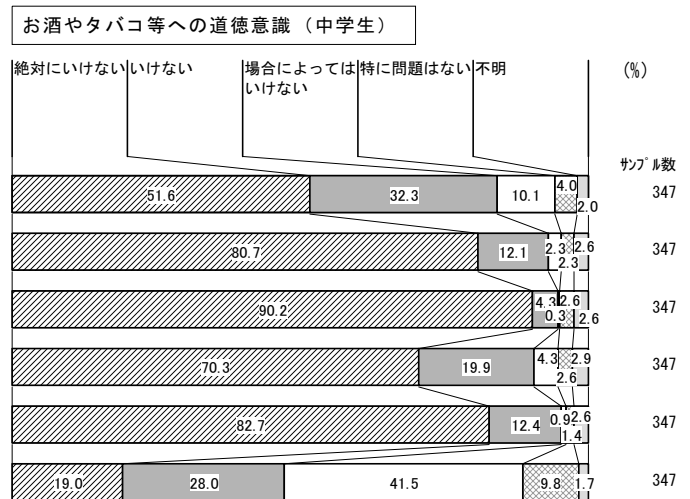


お酒やタバコ等の経験（中学生・女子）



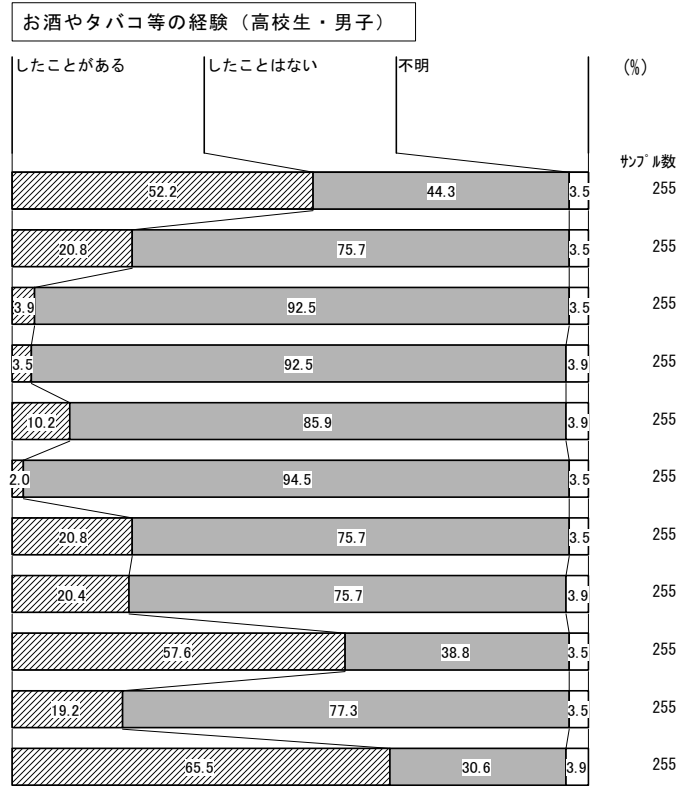
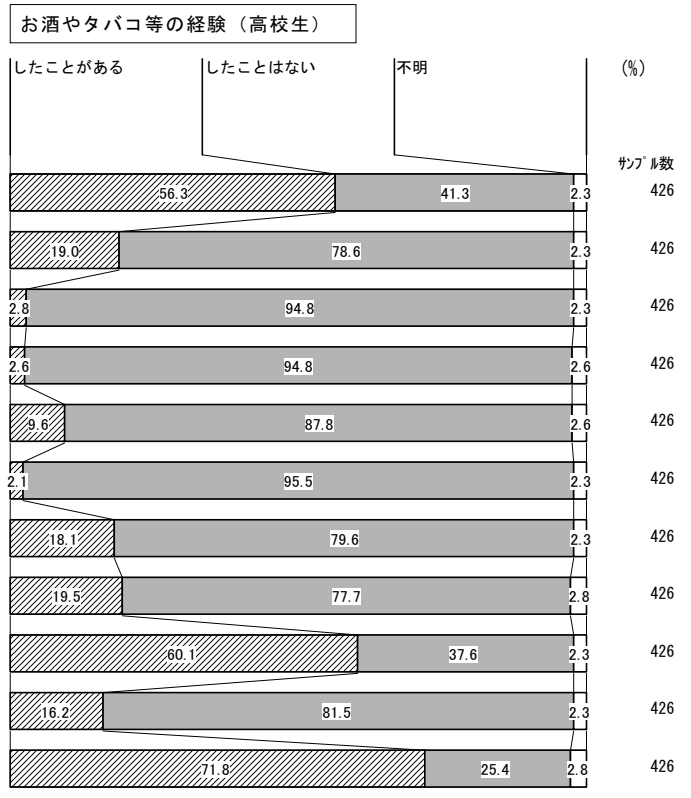
そこで同じ項目でお酒やタバコ等への道徳意識について聞いてみたところ、「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「子どもがタバコを吸う」などについては「絶対にいけない」の割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「子どもがタバコを吸う」などか多くなっているが、特に女子生徒の意識が高くなっている。

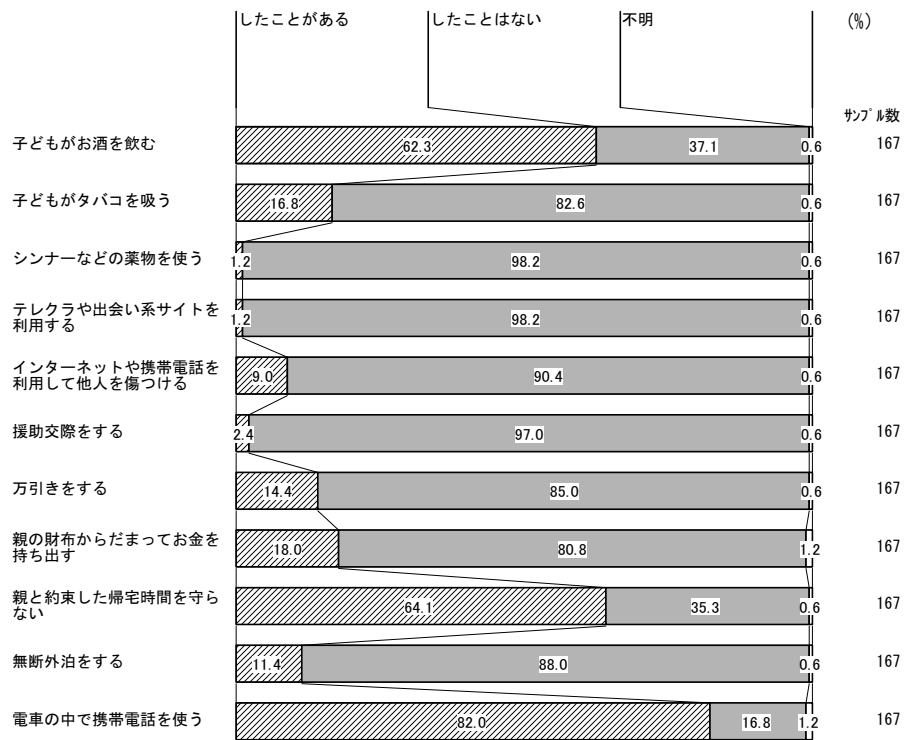


高校生にお酒やタバコ等の経験について聞いたところ、「電車の中で携帯電話を使う」「親と約束した帰宅時間を守らない」、そして「子どもがお酒を飲む」というのは「したことがある」割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「電車の中で携帯電話を使う」「親と約束した帰宅時間を守らない」、そして「子どもがお酒を飲む」が多くなっており、特に「電車の中で携帯電話を使う」については女子生徒が多くなっている。



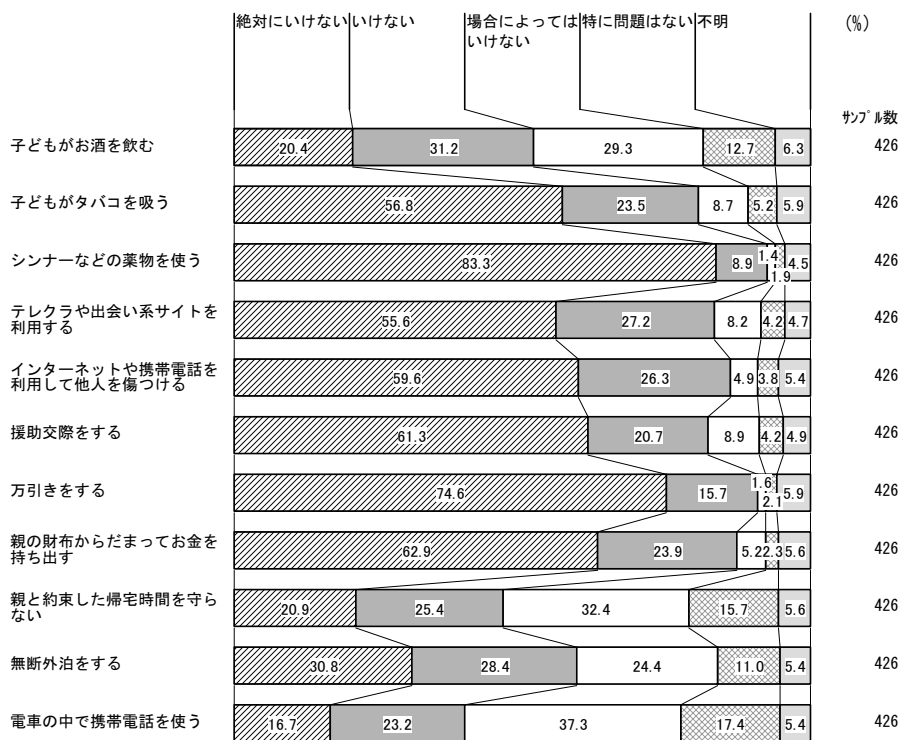
お酒やタバコ等の経験（高校生・女子）



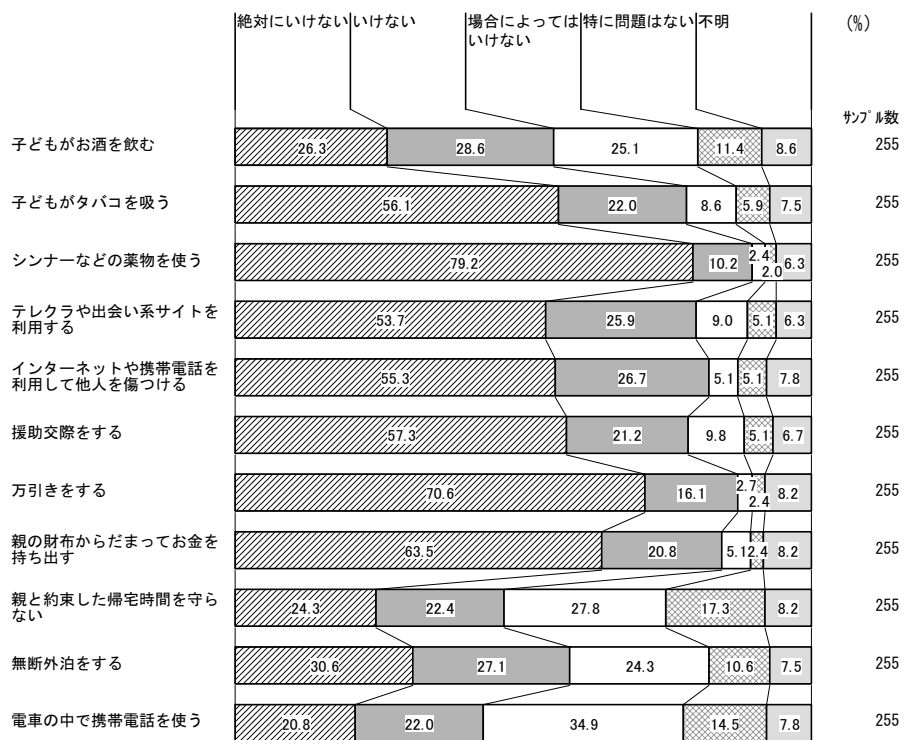
そこで同じ項目でお酒やタバコ等への道徳意識について聞いてみたところ、「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「親の財布からだまってお金を持ち出す」などについては「絶対にいけない」の割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」などが多くなっているが、特に女子生徒の意識が高くなっている。

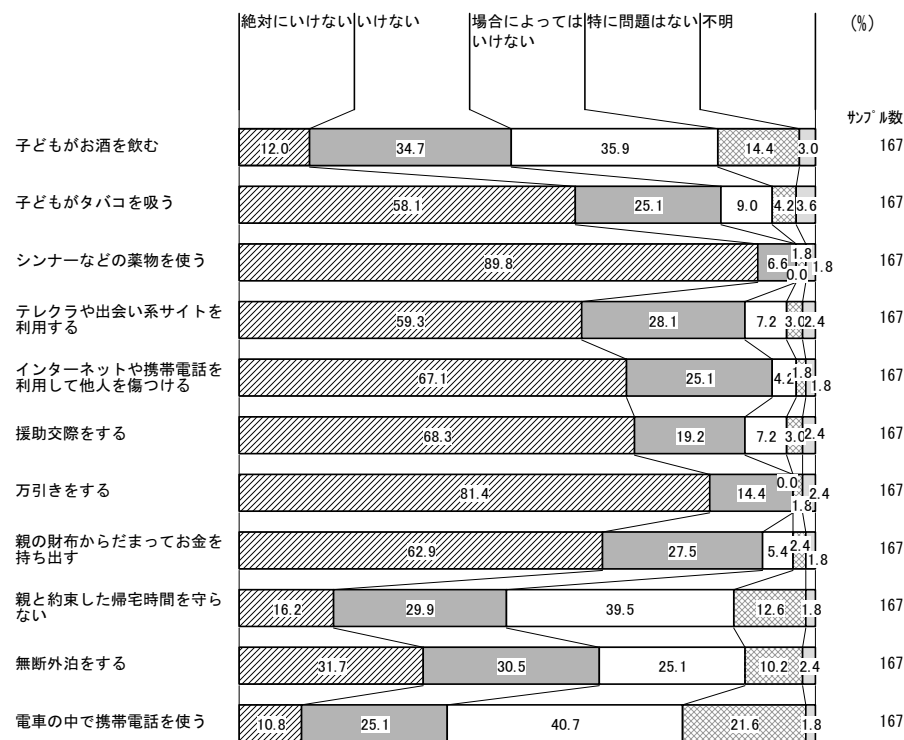
お酒やタバコ等への道徳意識（高校生）



お酒やタバコ等への道徳意識（高校生・男子）

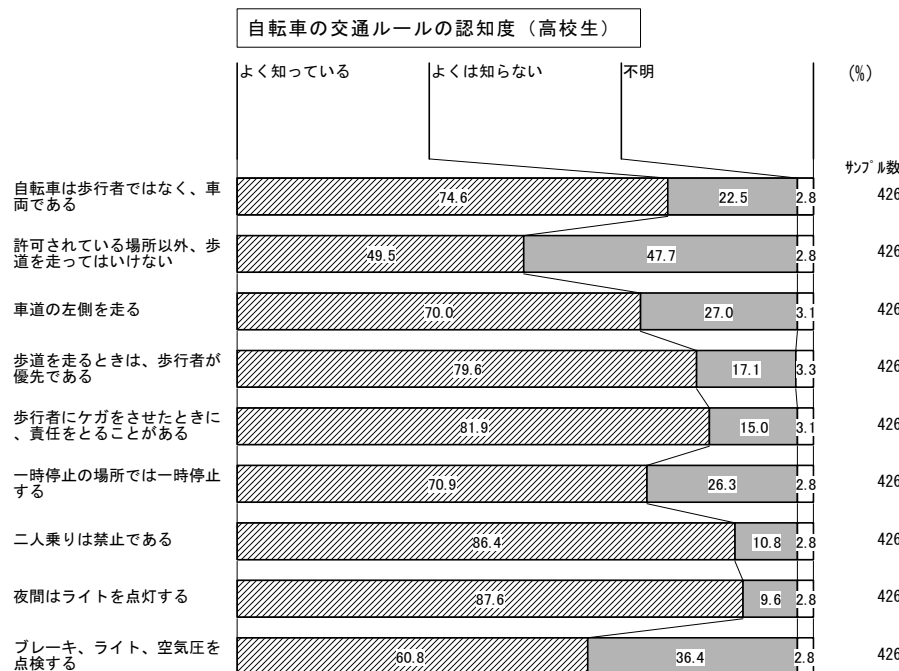
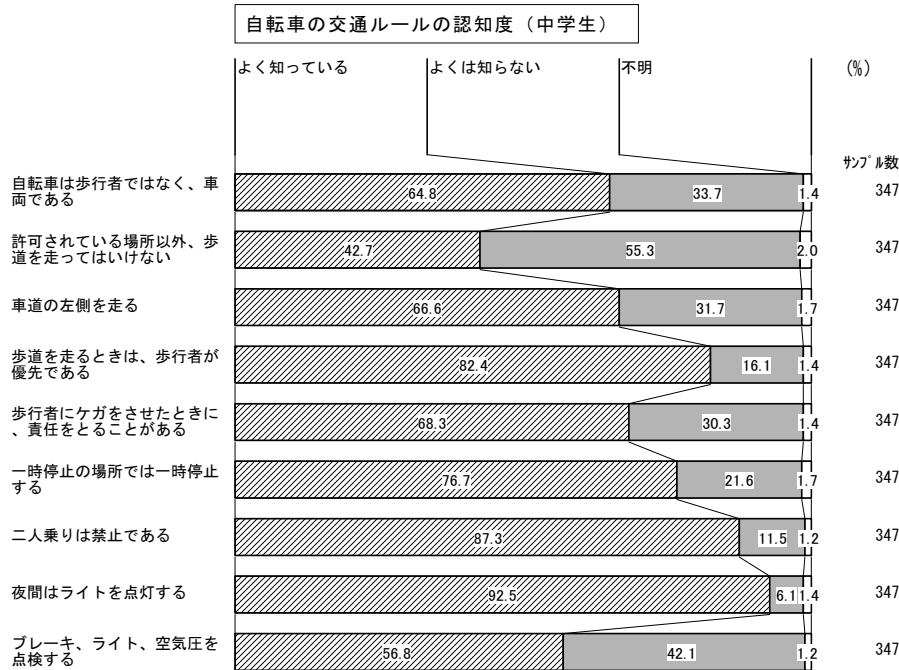


お酒やタバコ等への道徳意識（高校生・女子）



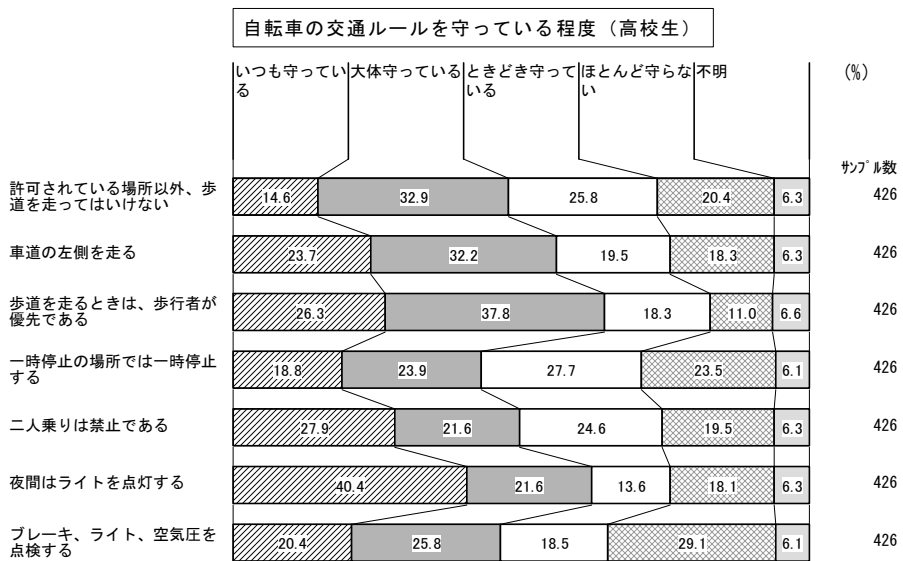
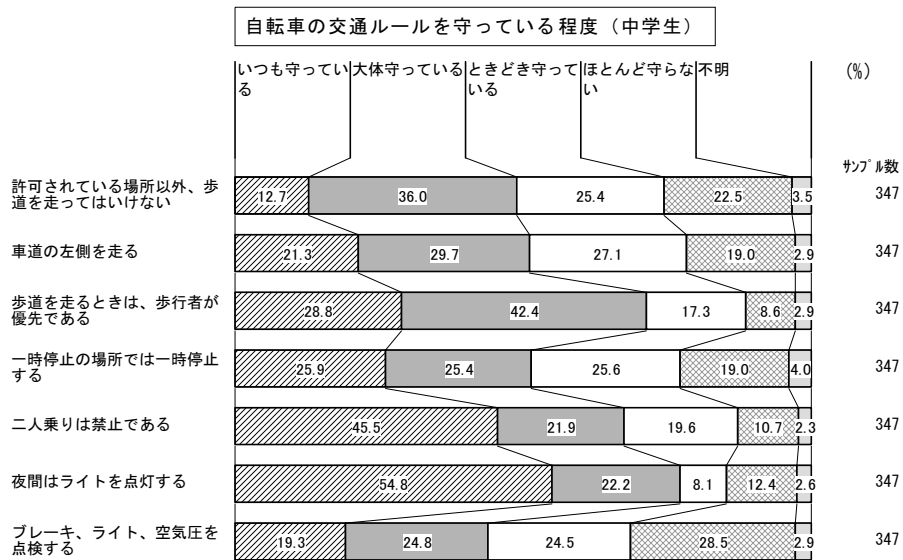
問19(1) あなたは、次の自転車の交通ルールを、よく知っていますか。  
 問19(2) また、どのくらい守っていますか。

自転車の各交通ルールの認知度について聞いたところ、中学生、高校生共に「二人乗りは禁止である」「夜間はライトを点灯する」などのルールをよく知っているが、「許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない」などは認知が不足している。





自転車の各交通ルールを守っている状況についてそれぞれ聞いたところ、中学生、高校生共に「歩道を走るときは、歩行者が優先である」や「夜間はライトを点灯する」などについては比較的守っているが、「ブレーキ、ライト、空気圧を点検する」「許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない」などはあまり守っていない。



(5) 性感染症・薬物について (高校生のみ)

問20 次の性感染症で、あなたが正しく知っているもの(どのような病気で、かかるとどのようなになるか知っているもの)はどれですか。(複数回答)

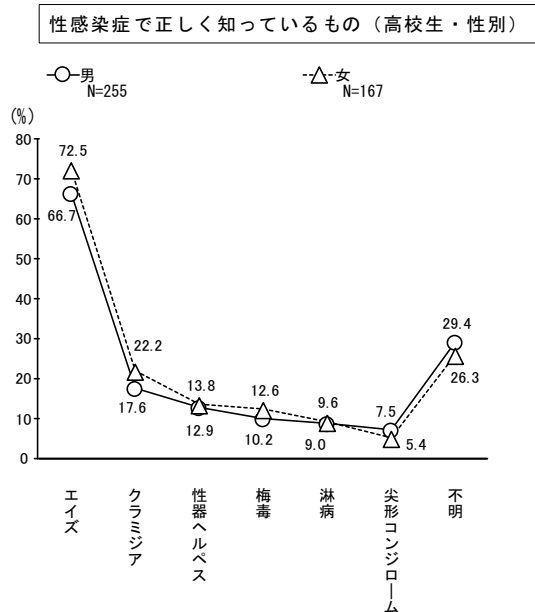
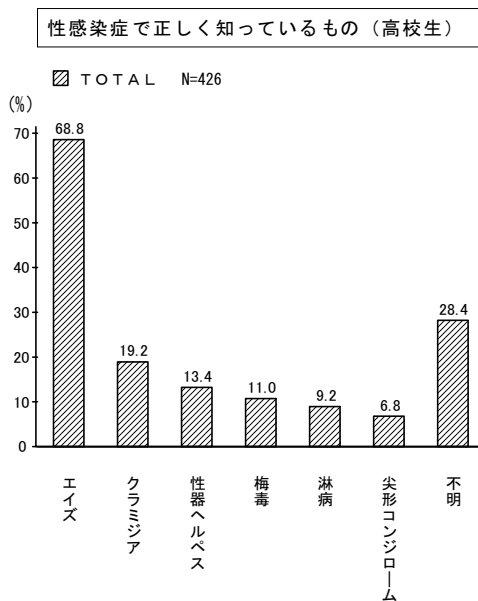
問21 あなたは、性感染症の予防法を知っていますか。

問21(1) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どんな予防法を知っていますか。

問21(2) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どこで情報を得ましたか。(複数回答)

性感染症について正しく知っているものについて聞いたところ、「エイズ」が68.8%で最も多く、続いて「クラミジア」が19.2%となっている。

性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向となっているが、女子生徒のほうがやや認知度が高くなっている。



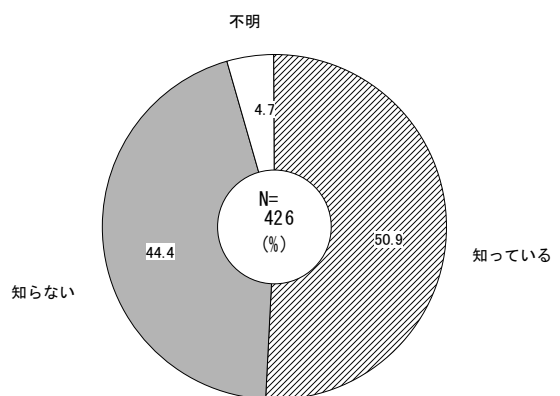
そこで性感染症の予防策について聞いたところ、「知っている」が50.9%となっており、性別では女子生徒の認知度がやや高くなっている。

性感染症の予防策について「知っている」と回答した人に自由回答で具体的に聞いたところ、「コンドーム」が最も多く、続いて「ピル」などとなっており、一部避妊と混同していることが伺える。また「セックスをしない」という回答もいくつか見られた。

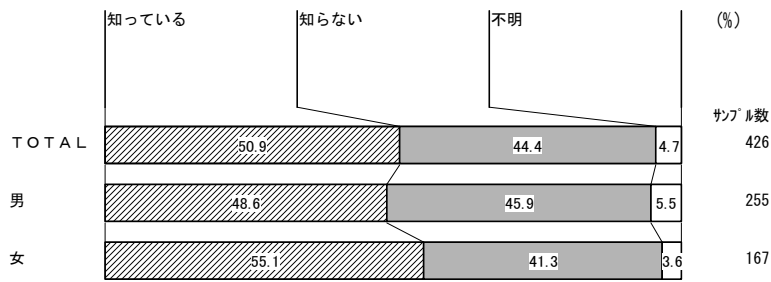
予防法の情報源については「学校の授業」が80.2%で、続いて「本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど」が28.6%となっている。

これらの傾向も男女共にほぼ同じであるが、「学校の授業」は女子生徒、「本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど」は男子生徒の方が全体的にやや高くなっている。

性感染症の予防策(高校生)

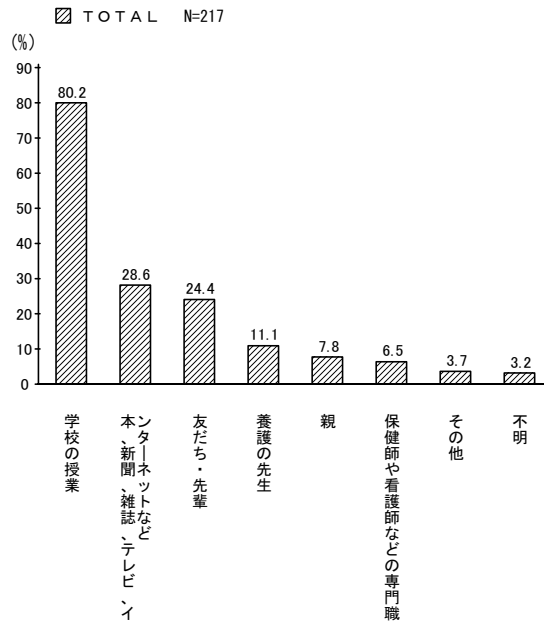


性感染症の予防策（高校生・性別）

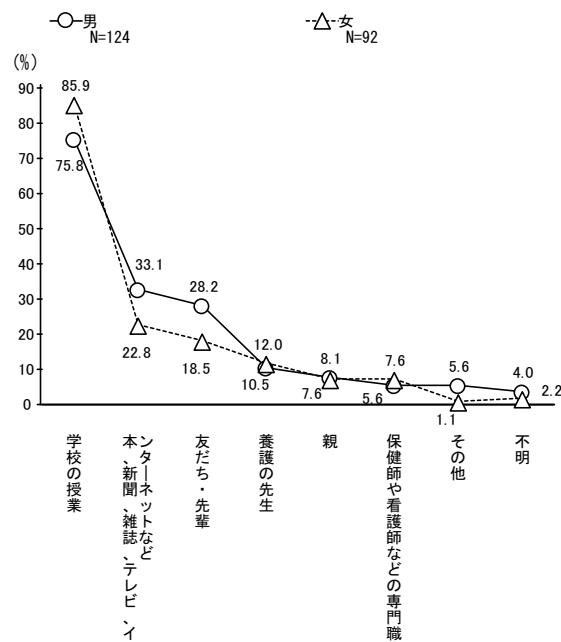


(注) 不明は除く。

予防法の情報源（高校生）



予防法の情報源（高校生・性別）



**問 2 2** あなたは、シンナー遊びなど薬物乱用によって、次のようなことが起こることを知っていますか。知っているものをすべて教えてください。(複数回答)

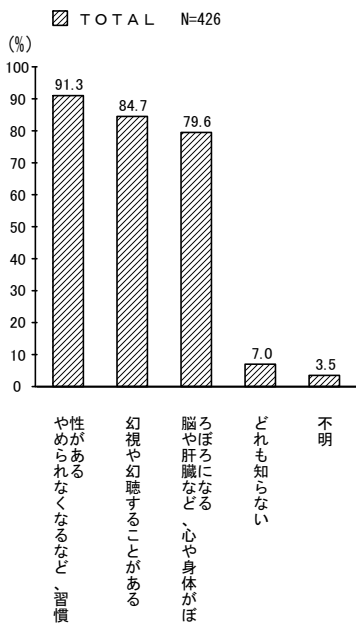
**問 2 3** シンナー以外で乱用すると有害な薬物であるとあなたが知っているものは、次のどれですか。(複数回答)

薬物乱用により生ずることについて聞いたところ、「やめられなくなるなど、習慣性がある」「幻視や幻聴することがある」「脳や肝臓など、心や身体がぼろぼろになる」のいずれもが8～9割前後となっており、知識の「正確さ」が伺える。性別で見てもいずれも多く、特に女子生徒が多くなっている。

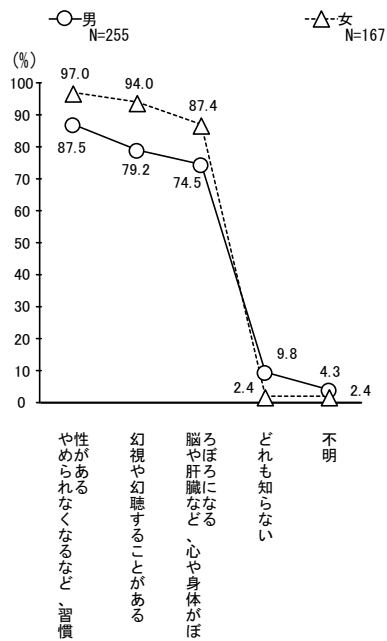
そこで有害な薬物の知識について聞いたところ、「大麻」が88.0%で最も多くなっており、続いて「コカイン」が66.0%、「マジックマッシュルーム」が61.3%となっている。

なお、いずれも性別で見ても同様の傾向となっているが、「エス」などは男子生徒の方が多くなっている。

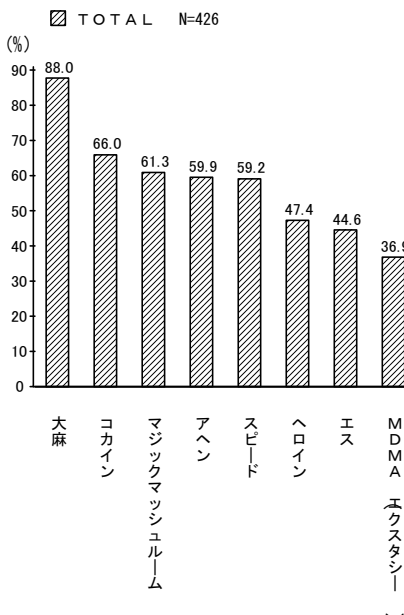
薬物乱用により生ずることの知識 (高校生)



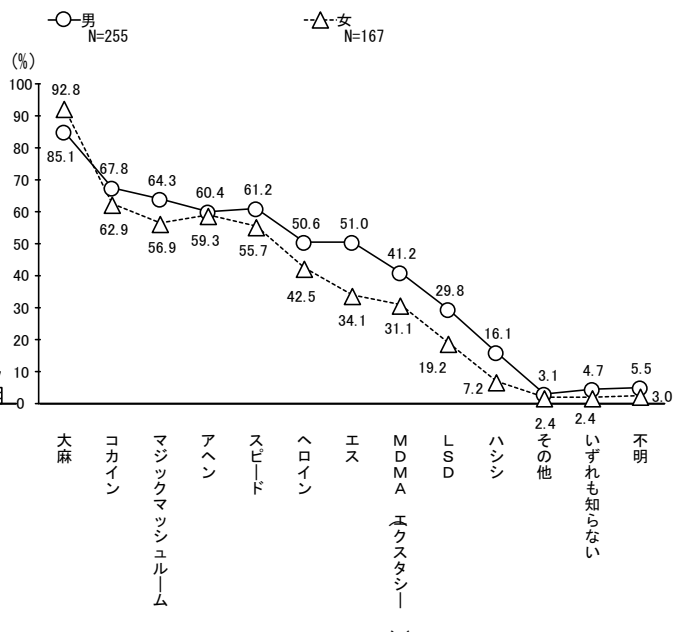
薬物乱用により生ずることの知識 (高校生・性別)



有害な薬物の知識 (高校生)



有害な薬物の知識 (高校生・性別)



## (6) 地域との交流について

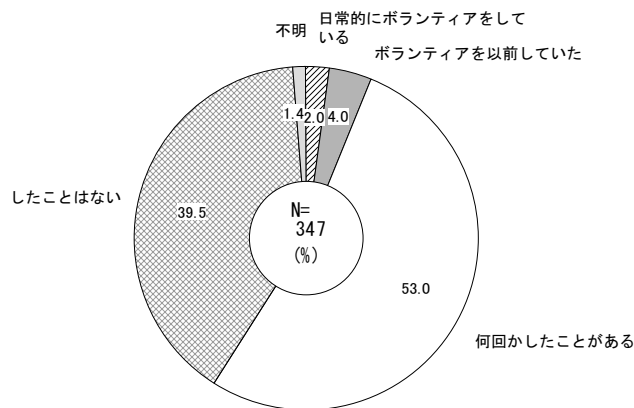
**問24** あなたはボランティア活動をしたことがありますか。  
**問25** あなたが参加したボランティア活動は何ですか。(複数回答)

ボランティア経験について中学生に聞いたところ、「何回かしたことがある」が53.0%、「したことはない」が39.5%となっている。

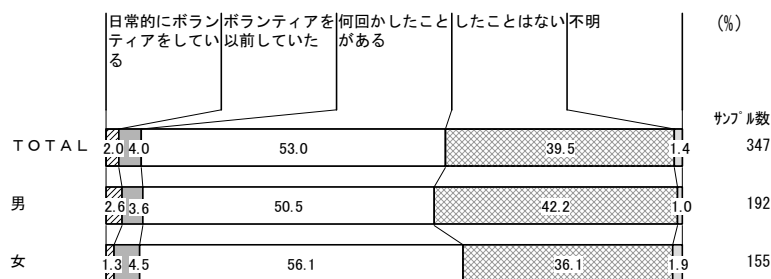
性別で見ると女子生徒の方がやや経験者が多く、男子生徒については「したことはない」が42.2%となっている。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区でも「何回かしたことがある」が多くなっているが、「大泉」地区では未経験者がやや多くなっている。

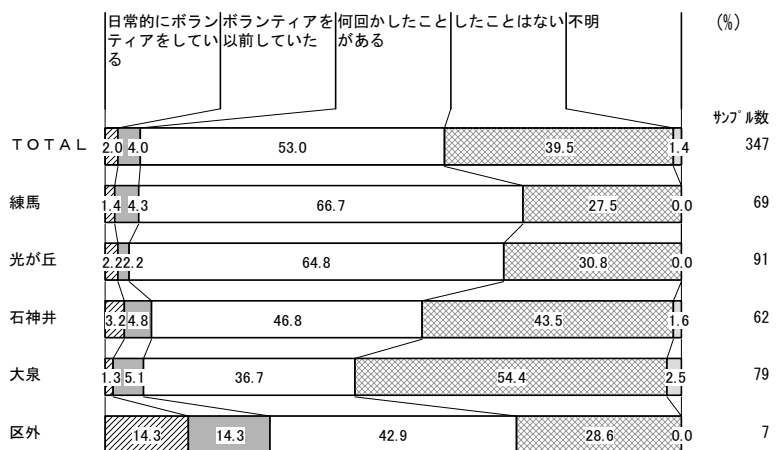
ボランティア経験(中学生)



ボランティア経験(中学生・性別)



ボランティア経験(中学生・居住地区別)



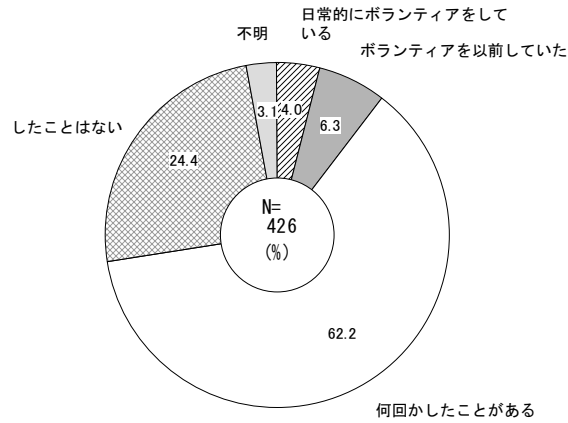
(注) 不明は除く。

ボランティア経験について高校生に聞いたところ、「何回かしたことがある」が62.2%で最も多くなっている。

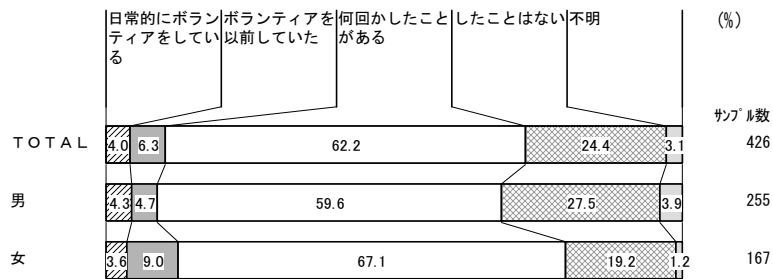
性別で見ると女子生徒の方が経験者が多く、男子生徒については「したことはない」が27.5%となっている。

居住地区別で見ると、「中野区・杉並区」からの生徒は経験者が多くなっているが、「板橋区・豊島区」からの生徒は未経験者がやや多くなっている。

ボランティア経験(高校生)

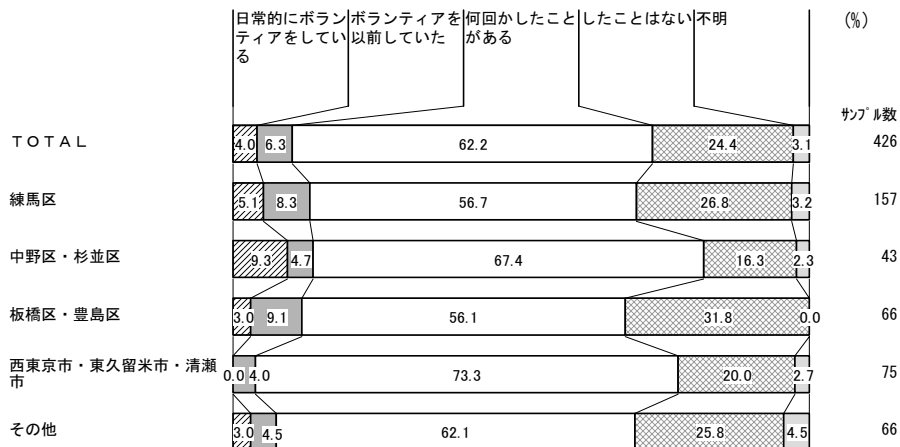


ボランティア経験(高校生・性別)



(注) 不明は除く。

ボランティア経験(高校生・居住地別)



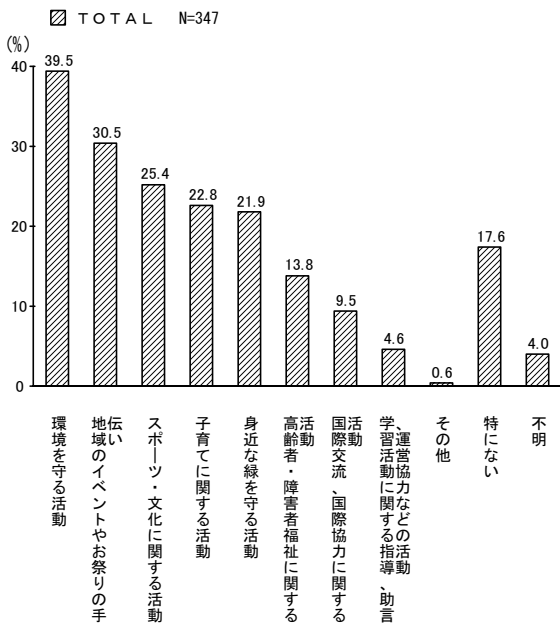
(注) 不明は除く。

参加したいボランティア活動について中学生に聞いたところ、「環境を守る活動」が39.5%で最も多く、続いて「地域のイベントやお祭りの手伝い」が30.5%となっている。

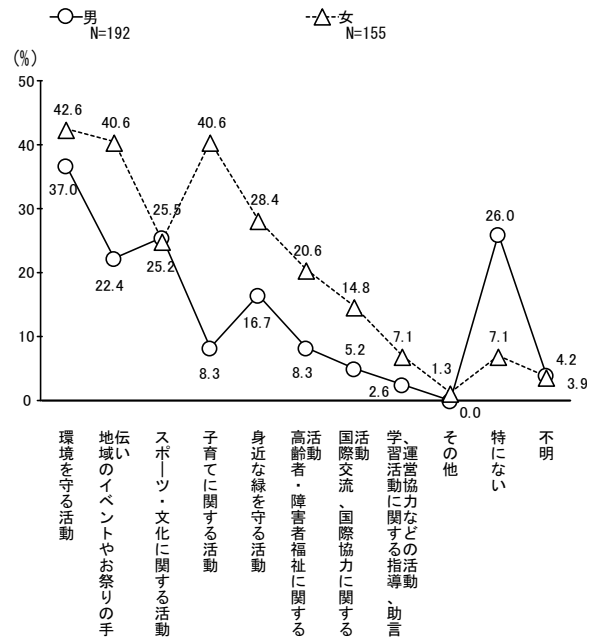
性別で見ると、男女共に「環境を守る活動」が多く、女子生徒については「子育てに関する活動」が2番目に多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「環境を守る活動」の希望が最も多い。練馬地区では「スポーツ・文化に関する活動」などについての希望も、他の地区よりやや多くなっている。

参加したいボランティア活動（中学生）



参加したいボランティア活動（中学生・性別）



参加したいボランティア活動（中学生・居住地区別）

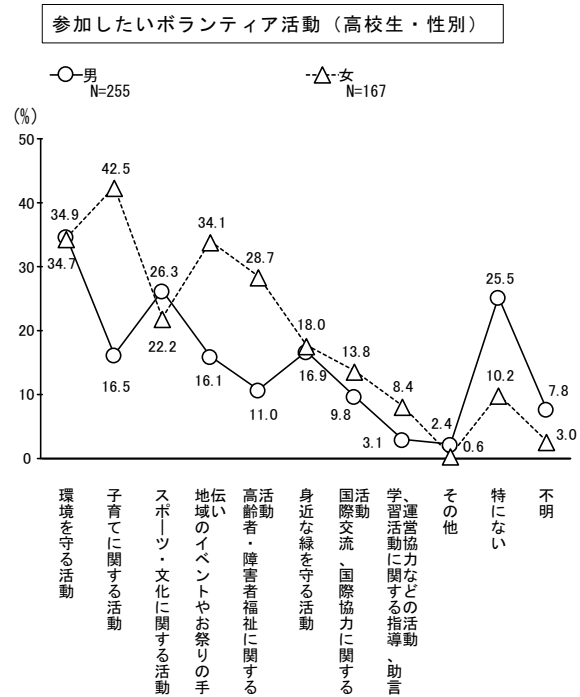
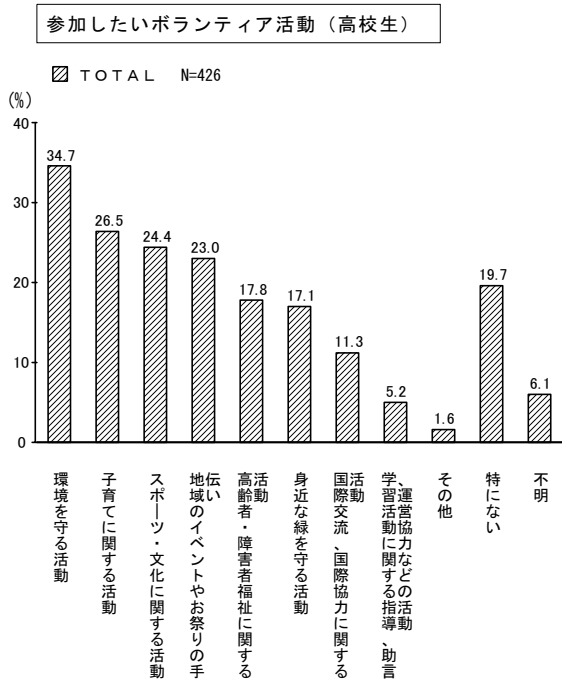
	TOTAL	環境を守る活動	地域のイベントやお祭りの手伝い	スポーツ・文化に関する活動	子育てに関する活動	身近な緑を守る活動	高齢者・障害者福祉に関する活動	国際交流、国際協力に関する活動	学習活動に関する指導、助言などの活動	その他	特にない	不明
TOTAL	347	39.5	30.5	25.4	22.8	21.9	13.8	9.5	4.6	0.6	17.6	4.0
練馬	69	42.0	23.2	39.1	21.7	21.7	13.0	14.5	8.7	0.0	15.9	4.3
光が丘	91	44.0	30.8	19.8	28.6	23.1	15.4	9.9	3.3	0.0	17.6	0.0
石神井	62	40.3	27.4	19.4	27.4	16.1	16.1	9.7	4.8	1.6	14.5	4.8
大泉	79	36.7	36.7	26.6	20.3	25.3	13.9	6.3	2.5	1.3	17.7	5.1
区外	7	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

参加したいボランティア活動について高校生に聞いたところ、「環境を守る活動」が34.7%で最も多く、続いて「子育てに関する活動」が26.5%となっている。

性別で見ると、男子生徒は「環境を守る活動」が最も多く、女子生徒については「子育てに関する活動」が最も多くなっている。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区でも「環境を守る活動」の希望が多い。中野区・杉並区からの生徒は「地域のイベントやお祭りの手伝い」などについての希望も、他の地区よりやや多くなっている。



参加したいボランティア活動（高校生・居住地区別）

	TOTAL	環境を守る活動	子育てに関する活動	スポーツ・文化に関する活動	祭りのイベントやお祭りの手伝い	地域に関する活動	高齢者・障害者福祉に関する活動	身近な縁を守る活動	国際交流、国際協力に関する活動	学、習活動に関する指導、助言	その他	特になし	不明
TOTAL	426	34.7	26.5	24.4	23.0	17.8	17.1	11.3	5.2	1.6	19.7	6.1	
練馬区	157	35.0	31.2	26.8	21.7	22.3	18.5	13.4	7.0	1.9	18.5	7.6	
中野区・杉並区	43	20.9	27.9	27.9	32.6	14.0	20.9	9.3	7.0	0.0	23.3	4.7	
板橋区・豊島区	66	34.8	22.7	18.2	21.2	18.2	16.7	9.1	3.0	3.0	18.2	7.6	
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	48.0	22.7	21.3	20.0	16.0	20.0	9.3	2.7	0.0	20.0	2.7	
その他	66	28.8	24.2	25.8	28.8	12.1	13.6	12.1	6.1	1.5	21.2	4.5	

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。



問26 あなたのとなり近所とのつきあいはどうですか。

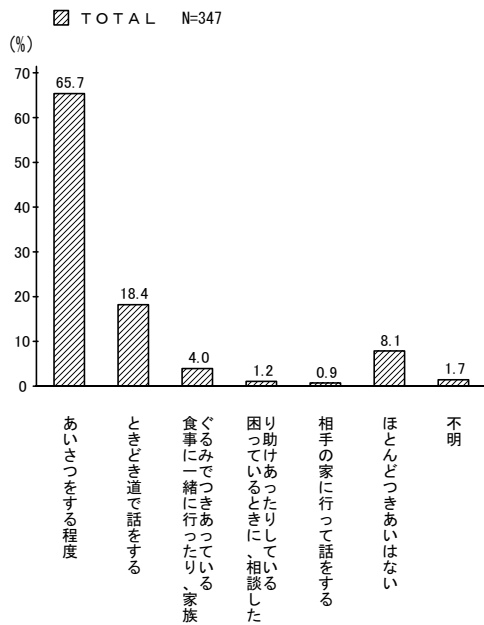
問27 あなたがとなり近所や地域の人たちに特にしてもらいたいことは、どのようなことですか。(3つまで)

となり近所とのつきあいについて中学生に聞いたところ、「あいさつをする程度」が65.7%で最も多く、続いて「ときどき道で話をする」が18.4%となっている。

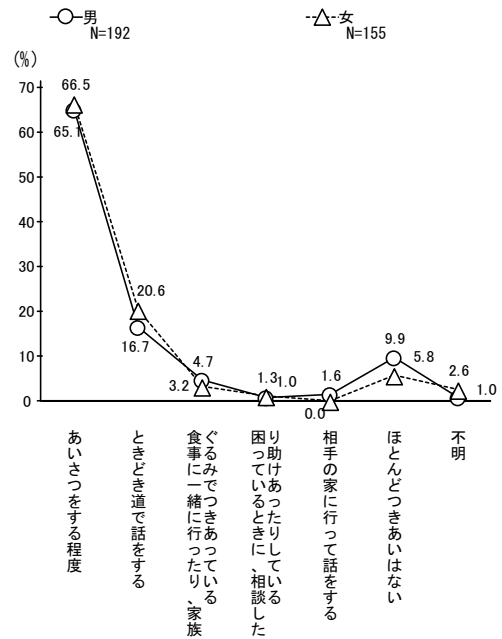
性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向になっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「あいさつをする程度」が最も多く、地区による大きな差は見られない。

近所づきあい（中学生）



近所づきあい（中学生・性別）



近所づきあい(中学生・居住地区別)

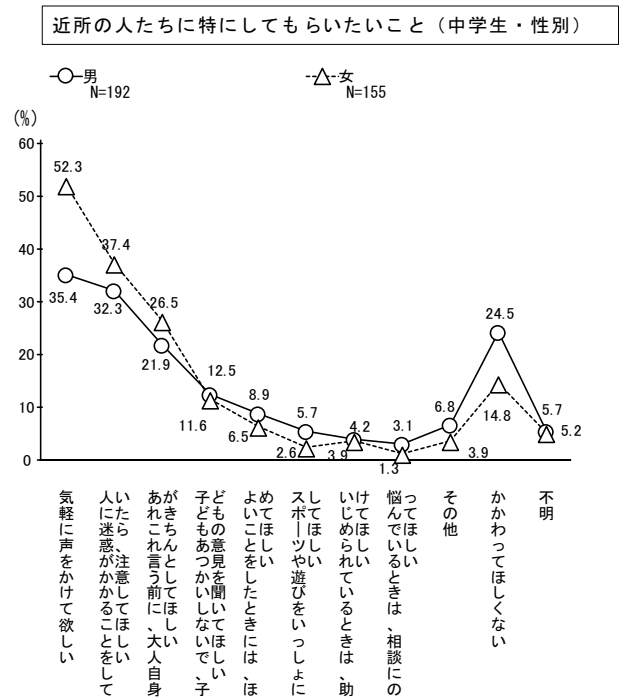
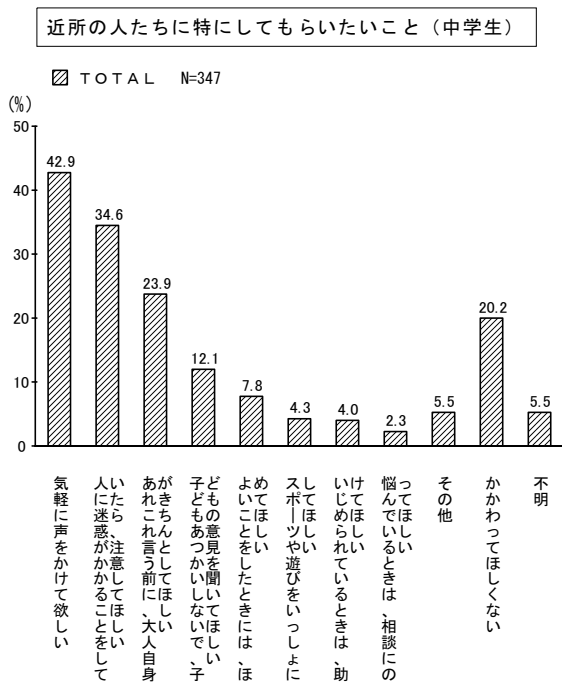
	TOTAL	あいさつをする程度	ときどき道で話をする	あり、家族ぐるみで行った食事に行ったり、相談したりしている	困っているときに、相談したり助けあったりしている	相手の家に行って話をする	いほとんどつきあいはない	不明
TOTAL	347	65.7	18.4	4.0	1.2	0.9	8.1	1.7
練馬	69	65.2	18.8	1.4	0.0	1.4	10.1	2.9
光が丘	91	67.0	20.9	3.3	2.2	1.1	5.5	0.0
石神井	62	62.9	19.4	4.8	0.0	1.6	8.1	3.2
大泉	79	72.2	19.0	2.5	1.3	0.0	5.1	0.0
区外	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

近所の人たちに特にしてもらいたいことについて聞いたところ、「気軽に声をかけて欲しい」が42.9%で最も多く、続いて「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」が34.6%、「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」が23.9%となっている。また「かかわってほしくない」も20.2%でやや多くなっている。

性別で見ると、上位3項目についてはなどでは女子生徒の回答が多く、特に「気軽に声をかけて欲しい」「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」については男子生徒と比べて多くなっている。「かかわってほしくない」は男子生徒の方がやや多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも上位3項目が多く、光が丘地区、大泉地区では「かかわってほしくない」も多くなっている。



近所の人たちに特にしてもらいたいこと(中学生・居住地区別)

	TOTAL	気軽に声をかけて欲しい	人に迷惑がかかることをしていたら、注意して欲しい	あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい	子どもの意見を聞いてほしい	よいことをしたときには、ほめてほしい	スポーツや遊びをいっしょに	してほしい	いじめられているときは、助けてほしい	悩んでいるときは、相談にのってほしい	その他	かかわってほしくない	不明
TOTAL	347	42.9	34.6	23.9	12.1	7.8	4.3	4.0	2.3	5.5	20.2	5.5	
練馬	69	55.1	33.3	20.3	8.7	13.0	8.7	2.9	1.4	2.9	15.9	2.9	
光が丘	91	40.7	36.3	18.7	14.3	6.6	3.3	3.3	2.2	5.5	29.7	5.5	
石神井	62	38.7	30.6	30.6	12.9	4.8	3.2	3.2	3.2	6.5	12.9	9.7	
大泉	79	39.2	41.8	25.3	10.1	3.8	3.8	6.3	1.3	6.3	21.5	1.3	
区外	7	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	

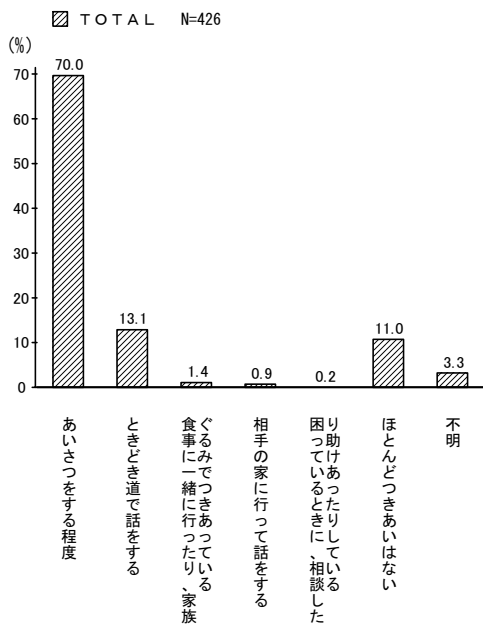
(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

となり近所とのつきあいについて高校生に聞いたところ、「あいさつをする程度」が70.0%で最も多く、続いて「ときどき道で話をする」が13.1%となっている。

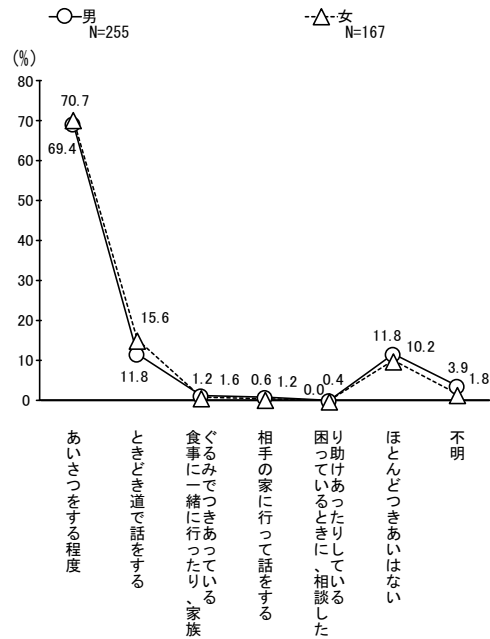
性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向になっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「あいさつをする程度」が最も多く、地区による大きな差は見られない。

近所づきあい（高校生）



近所づきあい（高校生・性別）



近所づきあい（高校生・居住地区別）

	TOTAL	あいさつをする程度	ときどき道で話をする	食事、家族、ぐるみで行つたり、家族	相手の家に行つて話をする	困り助けあつたりしているときに、相談した	ほとんどつきあいはない	不明
TOTAL	426	70.0	13.1	1.4	0.9	0.2	11.0	3.3
練馬区	157	74.5	10.8	1.9	0.6	0.0	8.9	3.2
中野区・杉並区	43	79.1	7.0	0.0	2.3	0.0	11.6	0.0
板橋区・豊島区	66	71.2	13.6	3.0	0.0	0.0	12.1	0.0
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	68.0	16.0	1.3	1.3	1.3	8.0	4.0
その他	66	59.1	16.7	0.0	0.0	0.0	18.2	6.1

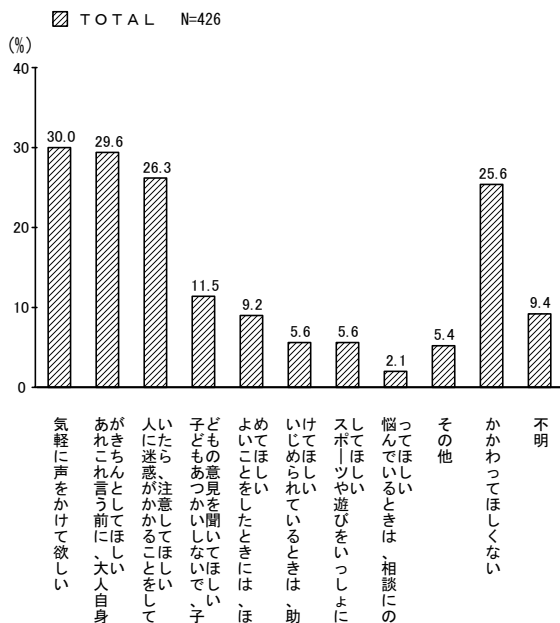
(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

近所の人たちに特にしてもらいたいことについて聞いたところ、「気軽に声をかけて欲しい」が30.0%で最も多く、続いて「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」が29.6%、「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」が26.3%となっている。また「かかわってほしくない」も25.6%でやや多くなっている。

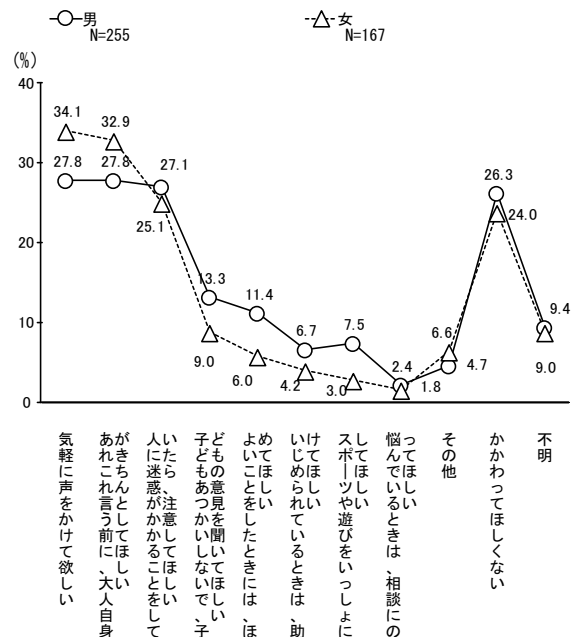
性別で見ると、上位2項目については女子生徒の回答が多くなっている。また「かかわってほしくない」についても男女共に多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも上位3項目が多く、「中野区・杉並区」からの生徒は「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」、「板橋区・豊島区」からの生徒は「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」についても、他の地区よりやや多くなっている。

近所の人たちに特にしてもらいたいこと（高校生）



近所の人たちに特にしてもらいたいこと（高校生・性別）



近所の人たちに特にしてもらいたいこと(高校生・居住地区別)

	TOTAL	気軽に声をかけて欲しい	あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい	人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい	子どもあつかいしないで、子どもあつかいしないで、子どもあつかいしないで	よいことをしたときには、ほめてほしい	いじめられているときは、助け	スポーツや遊びをいっしょに	悩んでいるときは、相談の	その他	かかわってほしくない	不明
TOTAL	426	30.0	29.6	26.3	11.5	9.2	5.6	5.6	2.1	5.4	25.6	9.4
練馬区	157	29.3	31.2	29.3	15.9	7.6	7.6	5.1	2.5	5.7	24.2	9.6
中野区・杉並区	43	25.6	25.6	30.2	14.0	14.0	7.0	9.3	0.0	11.6	32.6	2.3
板橋区・豊島区	66	31.8	36.4	27.3	12.1	9.1	6.1	4.5	3.0	4.5	22.7	7.6
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	29.3	28.0	21.3	6.7	10.7	2.7	6.7	2.7	1.3	25.3	10.7
その他	66	31.8	22.7	24.2	7.6	4.5	1.5	4.5	1.5	6.1	30.3	10.6

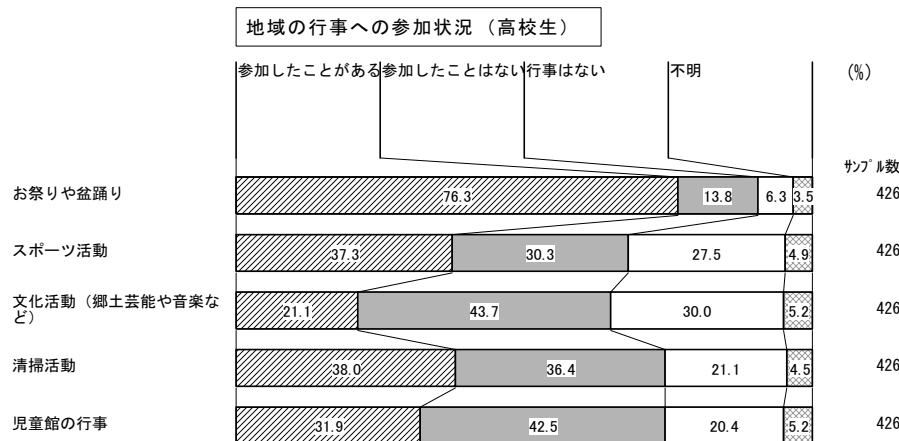
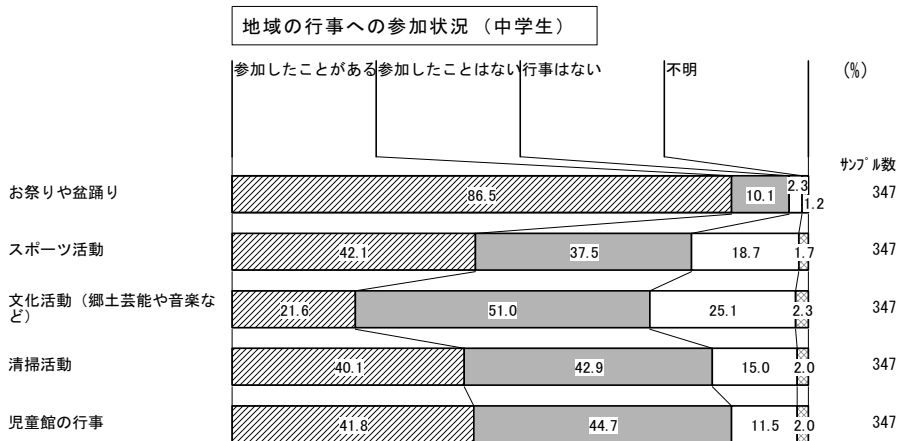
(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

**問 2 8** 地域で行っている行事への参加についてお聞きします。

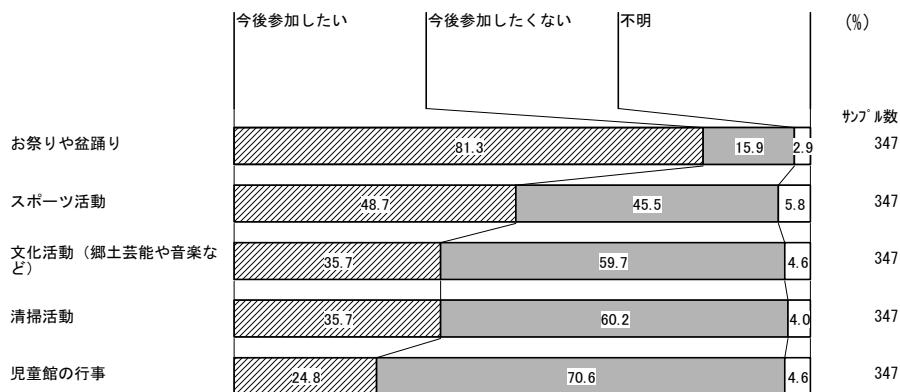
地域で行っている行事への参加状況を聞いたところ、中学生、高校生共に「お祭りや盆踊り」への参加が多くなっている。

地域の行事への今後の参加意向については、中学生、高校生共に「お祭りや盆踊り」への意向が多く、中学生については「スポーツ活動」への意向もやや多くなっている。

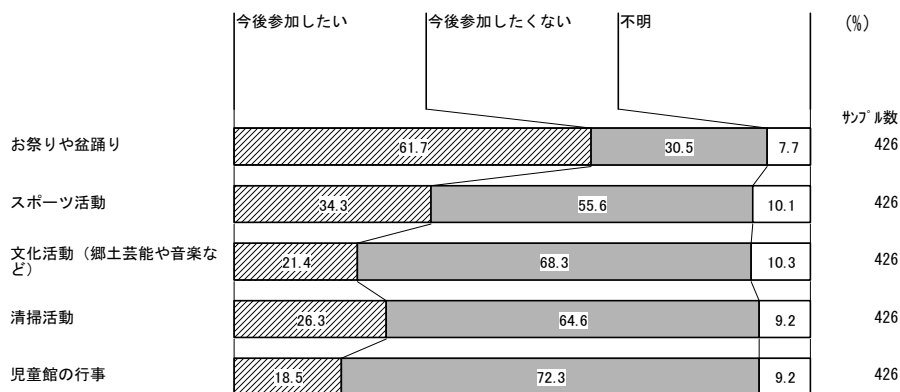
一方、地域の行事へ参加したくないと回答した人（今後の参加希望で1つでも「参加したくない」と回答した生徒）にその理由を聞いたところ、中学生、高校生共に「めんどくさい」が最も多く、続いて「行ってもつまらないから」となっている。



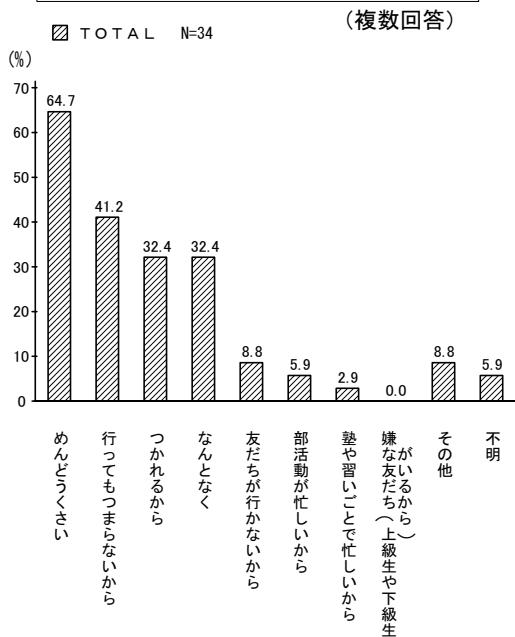
地域の行事への今後の参加意向（中学生）



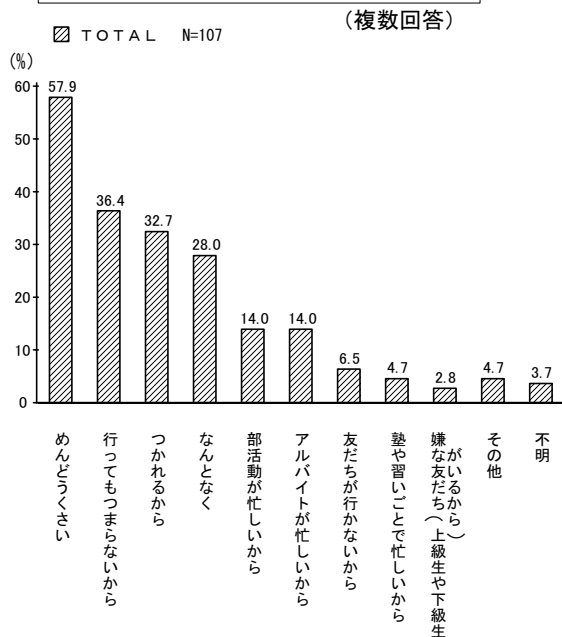
地域の行事への今後の参加意向（高校生）



地域の行事へ参加したくない理由（中学生）



地域の行事へ参加したくない理由（高校生）



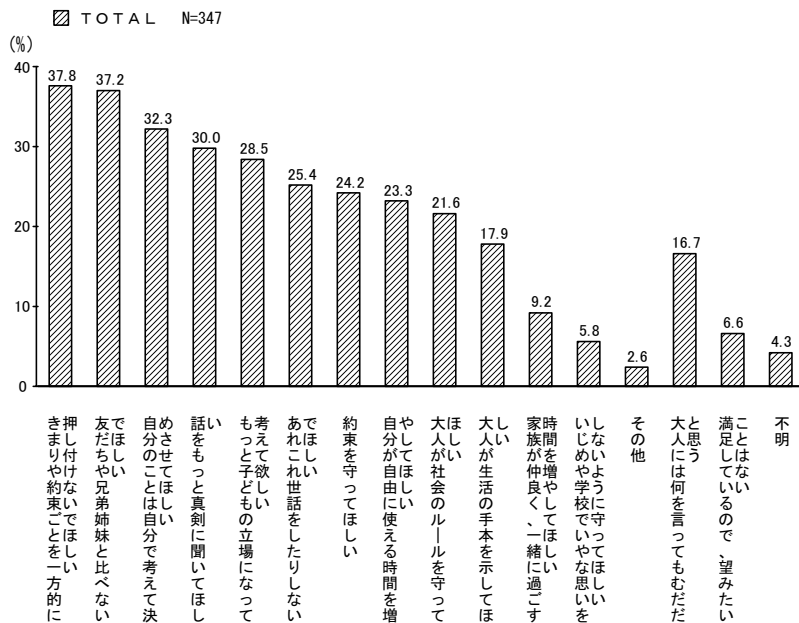
## (7) 子どもの権利について

問29 あなたが、子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことを選んでください。(5つまで)  
 問30 あなたが、子どもがいやな思いをしないために、特に大切だと思うことは何ですか。(5つまで)

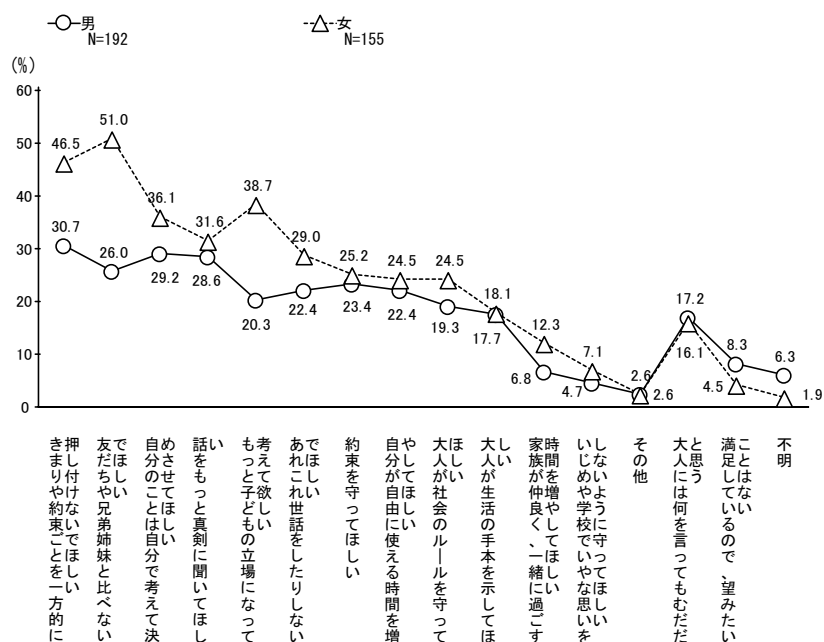
子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことについて中学生に聞いたところ、「きまりや約束事を一方的に押し付けないでほしい」が37.8%で最も多く、続いて「友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい」が37.2%、「自分のことは自分で考えて決めさせてほしい」が32.3%となっている。

性別で見ると、全体的に女生徒からの意向が強く、「友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい」が最も多く、続いて「きまりや約束事を一方的に押し付けないでほしい」が多くなっている。

子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（中学生）



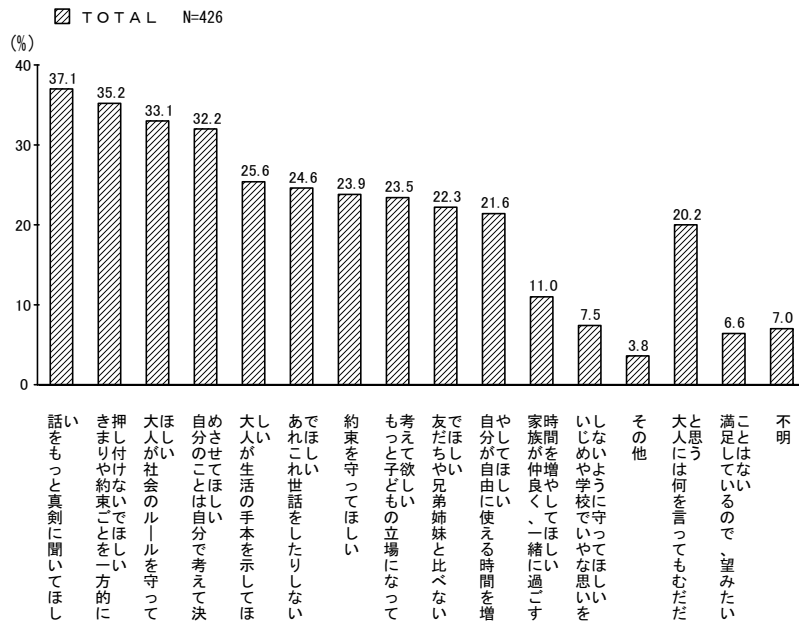
子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（中学生・性別）



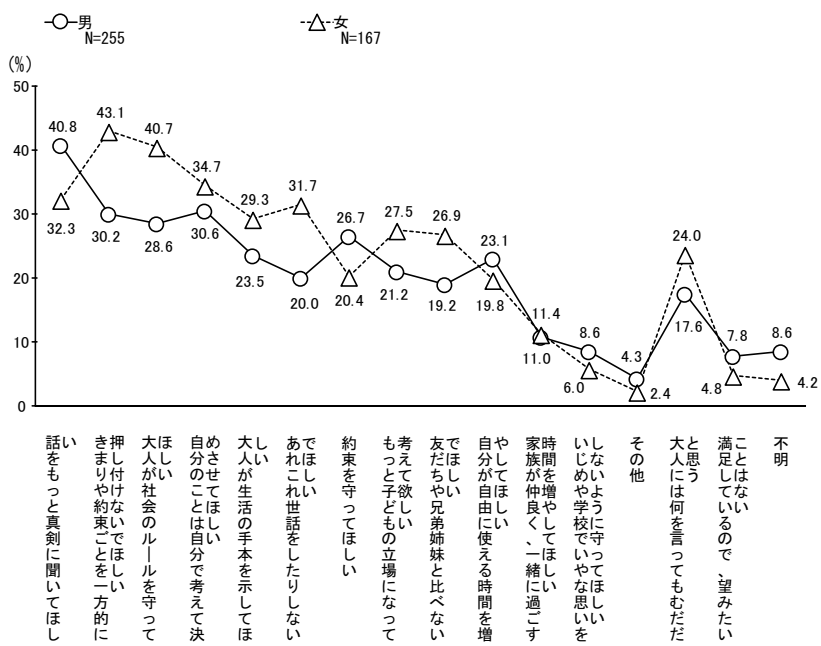
子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことについて高校生に聞いたところ、「話をもっと真剣に聞いてほしい」が37.1%で最も多く、続いて「きまりや約束事を一方的に押し付けしないでほしい」が35.2%、「大人が社会のルールを守ってほしい」が33.1%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒からの要望が多く、「きまりや約束事を一方的に押し付けしないでほしい」「大人が社会のルールを守ってほしい」が多くなっている。

子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（高校生）



子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（高校生・性別）

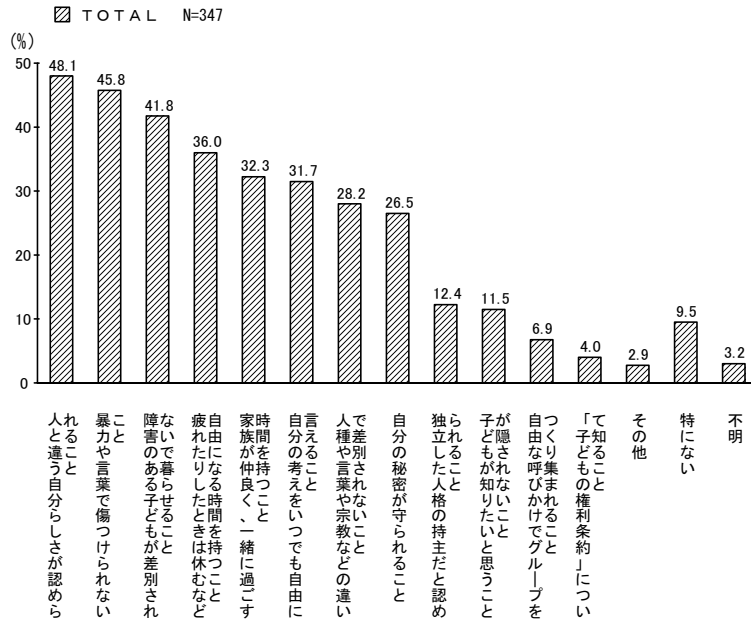




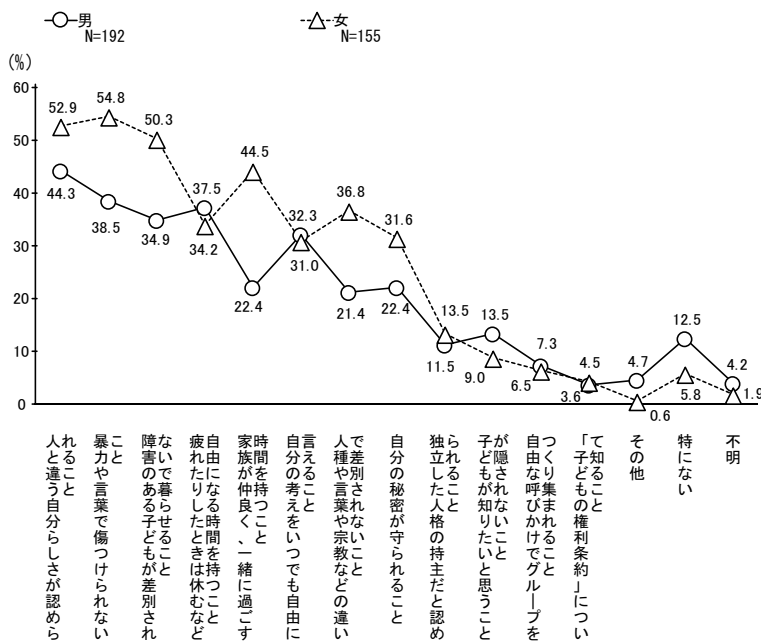
次に子どもがいやな思いをしないために必要なことについて中学生に聞いたところ、「人と違う自分らしさが認められること」が48.1%で最も多く、続いて「暴力や言葉で傷つけられないこと」が45.8%、「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」が41.8%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒の回答が多くなっているが、特に「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」などについては男子生徒と比べて女子生徒の回答が多くなっている。

子どもがいやな思いをしないために必要なこと(中学生)



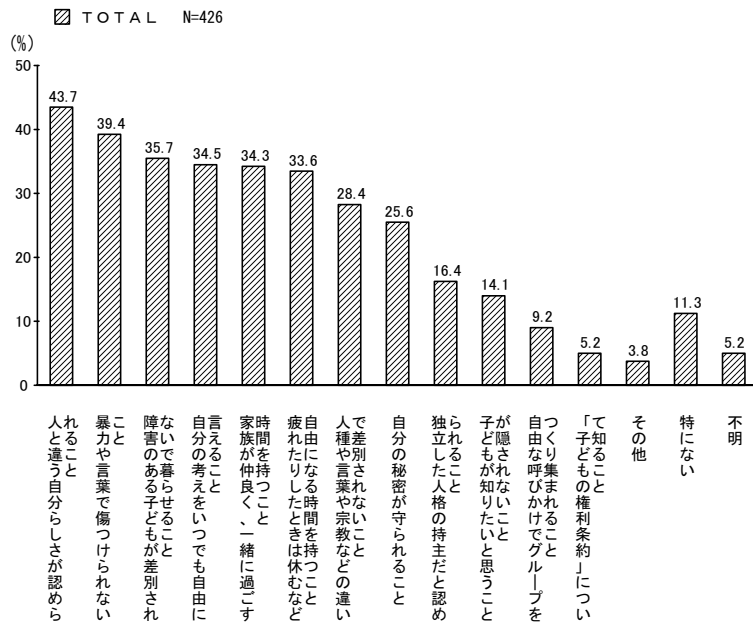
子どもがいやな思いをしないために必要なこと(中学生・性別)



次に子どもがいやな思いをしないために必要なことについて高校生に聞いたところ、「人と違う自分らしさが認められること」が43.7%で最も多く、続いて「暴力や言葉で傷つけられないこと」が39.4%、「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」が35.7%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒の回答が多く、特に「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」などについては男子生徒と比べて女子生徒の回答が多くなっている。

子どもがいやな思いをしないために必要なこと(高校生)



子どもがいやな思いをしないために必要なこと(高校生・性別)

